

令和 7 年度
町民アンケート報告書

令和 7 年 6 月
みなかみ町

目 次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	2
2.	調査の方法	2
3.	回収状況	2
4.	調査項目	2
5.	報告書の見方	3
6.	標本誤差	3
II	調査回答者の属性	4
1.	性別	5
2.	年齢	5
3.	居住地区	5
4.	職業	5
5.	就学・勤務先	6
6.	居住年数（通算）	6
7.	結婚の有無	6
8.	同居の家族構成	6
9.	同居者の属性	6
III	調査結果	7
10.	あなたは日頃、地域で支え合う福祉活動を行っていますか。	8
11.	あなたは日頃、運動やスポーツなど、身体を動かすことに取り組んでいますか。	9
12.	あなたは日頃、意識的に健康づくりに取り組んでいますか。	10
13.	あなたはどの程度、町内の公共交通(バス・新幹線・在来線・タクシーなど)を利用していますか。	11
14.	あなたは日頃、災害に対する備えをしていますか。	12
15.	あなたは日頃、省エネ・地球温暖化対策に取り組んでいますか。	13
16.	あなたは日頃、意識的にごみの減量に取り組んでいますか。	14
17.	あなたは日頃、農産物を購入する際に、各項目をどのくらい重視していますか。	
①	環境に配慮した農法（有機農法、減農薬農法、減化学肥料農法など）	15
②	地産地消（みなかみ町産、群馬県産）	16
③	見た目の良さ	17
④	味の良さ	18
⑤	価格の安さ	19
18.	あなたは、みなかみ町産や群馬県産の農産物についてどのようなイメージをお持ちですか。	20

19. 過去1年間に、地域づくり活動を行ったことがありますか。 ……	21
20. あなたは日頃、美しい景観の保全・形成へ向けた取り組みを行っていますか。 ……	22
21. あなたは心の豊かさや自他の向上のために、講座などを受講したり、自分で学習したりしていますか。 ……	23
22. あなたは、地域の歴史や伝統芸能に触れたり、関わったりしていますか。 ……	24
23. ①過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいかない思いをしたことがありますか。 ……	25
②過去1年間に、差別や虐待、名誉毀損などの人権侵害を受けたことがありますか。 ……	26
24. あなたは、今住んでいる場所に、これからも住み続けたいと思いますか。 ……	27
25. ①日常生活で生きがいを感じていますか。 ……	28
②身近で犯罪にあう不安を感じていますか。 ……	29
③町内の道路に不便を感じていますか。 ……	30
④自分の住む地域が美しい景観であると感じていますか。 ……	31
⑤自分のこどもが心身ともに健やかに育っていると感じますか。 ……	32
26. あなたはSDGs（持続可能な開発目標）という名前や内容を知っていますか。 ……	33
27. あなたは町が「ユネスコエコパーク」へ登録されたことを知っていますか。 また、「ユネスコエコパーク」の趣旨についても知っていますか。 ……	34
28. あなたは日頃、町内において自然と共生する取り組み（まもる・いかす・ひろめる） を行っていますか。 ①里山などの森林整備や野生動物・植物の保全活動をしている。 ……	35
②自然を活用したりふれあいを楽しんだりしている。 ……	36
29. ①納めた税金が、行政サービスとして十分に提供されていますか。 ……	37
②町役場職員の応対・接遇に好感が持てますか。 ……	38
30. 今後のまちづくりに対する提案(アイデア)や意見をお持ちでしたら、 どんなことでも結構ですので記入してください。 ……	39

IV 調査票 ……	45
-----------	----

I 調査概要

1. 調査の目的

町では、みなかみ町総合計画で定める将来像をめざして、まちづくりに取り組んでいます。町民アンケートは、町民のみなさんの生活習慣や日頃感じていることなどをお伺いすることで、総合計画で定めた施策の目的や目標の達成状況を把握するとともに、今後のまちづくりをより効果的に展開するために実施するものです。これまでも、平成 22 年 5 月、平成 24 年以降は毎年 4 月に行っています。

2. 調査の方法

- (1) 調査の地域 みなかみ町全域
- (2) 調査の対象者 みなかみ町在住の満 18 歳以上の男女個人
- (3) 標本の抽出 住民基本台帳より 1,600 人を無作為抽出（令和 7 年 3 月抽出）
- (4) 調査方法 郵送配布、郵送回収もしくはオンライン回収（返信用封筒同封）
- (5) 調査期間 令和 7 年 4 月 1 日（火）～4 月 14 日（月）

3. 回収状況

- (1) 配布数 1,600 件（うち有効配布数 1,579 件…A）
- (2) 回収数 843 件…B
- (3) 回収率 53.4%…B/A

■性別・年代別の回収状況

年代 性別	18～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70 歳 以上	不明	計	配布数	回収率 (%)
男性	10	23	47	72	73	135	0	360	785	45.9
女性	16	36	54	91	85	191	0	473	815	58.0
答えたくない	1	1	1	2	0	2	0	7	—	—
不明	0	1	0	1	0	1	0	3	—	—
計	27	61	102	166	158	329	0	843	1,600	52.7
配布数	104	143	215	338	275	525	—	1,600	—	—
回収率 (%)	26.0	42.7	47.4	49.1	57.5	62.7	—	52.7	—	—

4. 調査項目

調査テーマ	問番号
(1) 回答者の属性について	問 1 ～ 9
(2) 生活習慣について	問 10 ～ 22
(3) 身の回りの環境について	問 23 ～ 25
(4) 町政運営について	問 26 ～ 30

5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数 (n) は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- (5) 回答数が 30 未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

6. 標本誤差

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数 (n)、②回答の比率 (p) によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{p(1 - p)}{n}}$$

N=母集団数 (町の 18 歳以上人口)、n=比率算出の基礎 (回答者数)、p=回答の比率 (%)

■今回の調査結果の標本誤差

回答比率(p) 基数(n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
843	±2.93%	±3.90%	±4.47%	±4.78%	±4.88%
600	±3.47%	±4.62%	±5.30%	±5.66%	±5.78%
400	±4.25%	±5.66%	±6.49%	±6.93%	±7.08%
200	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%
100	±8.49%	±11.32%	±12.97%	±13.86%	±14.15%
50	±12.00%	±16.00%	±18.34%	±19.60%	±20.00%

※上表は、 $\frac{N - n}{N - 1} \div 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は 95% である。

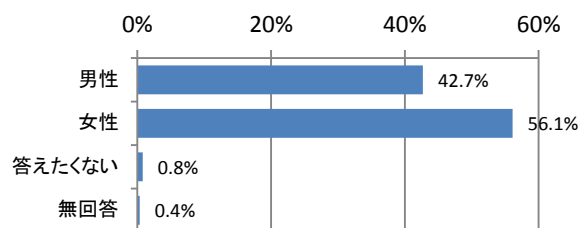
注／この表の見方

全体 (母集団) の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことを標本誤差という。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、数学的に計算することができる。その計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが、上記の表である。例えば、「ある設問の回答者数(n)が 1120 人であり、その設問中の選択肢の回答比率(p)が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±4.15% 以内 (55.85~64.15%) である」といえる。

Ⅱ 調査回答者の属性

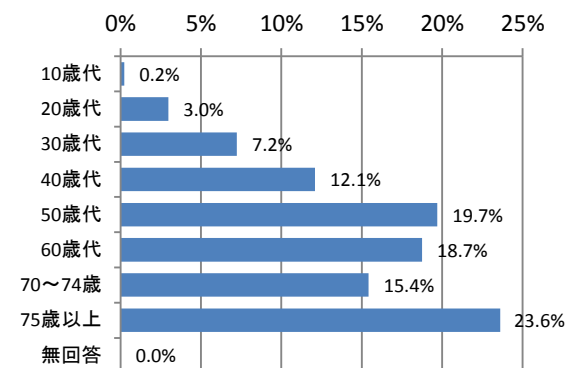
1. 性別

選択肢	人数	構成比
男性	360	42.7%
女性	473	56.1%
答えたくない	7	0.8%
無回答	3	0.4%
合計	843	100.0%



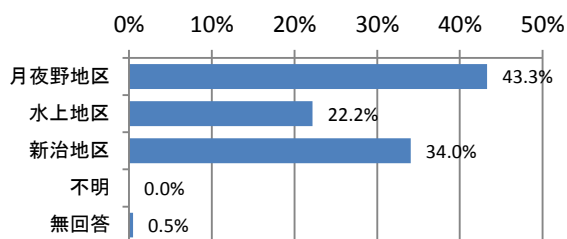
2. 年齢

選択肢	人数	構成比
10歳代	2	0.2%
20歳代	25	3.0%
30歳代	61	7.2%
40歳代	102	12.1%
50歳代	166	19.7%
60歳代	158	18.7%
70～74歳	130	15.4%
75歳以上	199	23.6%
無回答	-	0.0%
合計	843	100.0%



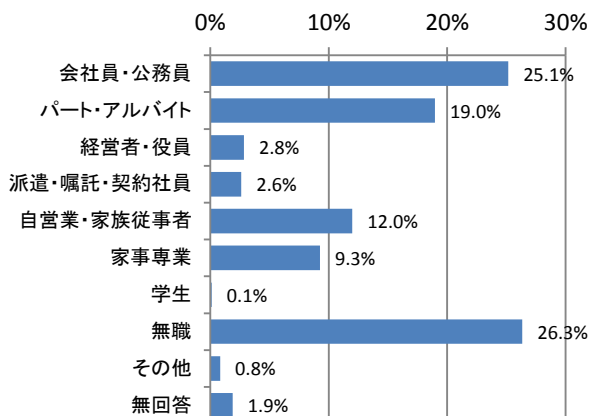
3. 居住地区

選択肢	人数	構成比
月夜野地区	365	43.3%
水上地区	187	22.2%
新治地区	287	34.0%
不明	-	0.0%
無回答	4	0.5%
合計	843	100.0%



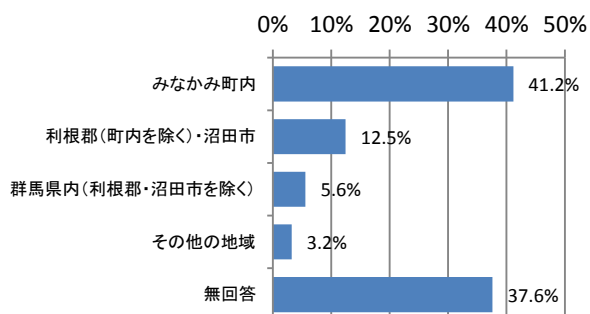
4. 職業

選択肢	人数	構成比
会社員・公務員	212	25.1%
パート・アルバイト	160	19.0%
経営者・役員	24	2.8%
派遣・嘱託・契約社員	22	2.6%
自営業・家族従事者	101	12.0%
家事専業	78	9.3%
学生	1	0.1%
無職	222	26.3%
その他	7	0.8%
無回答	16	1.9%
合計	843	100.0%



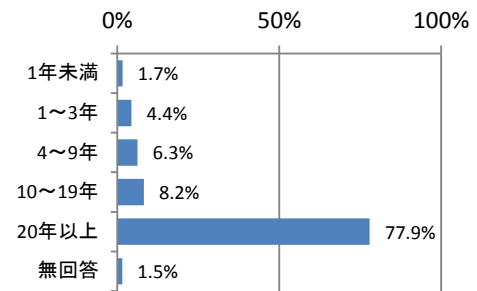
5. 就学・勤務先

選択肢	人数	構成比
みなかみ町内	347	41.2%
利根郡(町内を除く)・沼田市	105	12.5%
群馬県内(利根郡・沼田市を除く)	47	5.6%
その他の地域	27	3.2%
無回答	317	37.6%
合計	843	100.0%



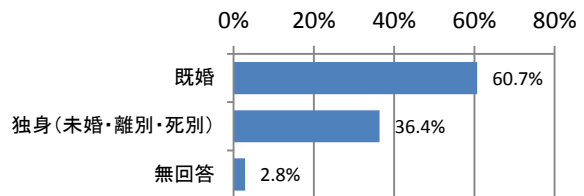
6. 居住年数(通算)

選択肢	人数	構成比
1年未満	14	1.7%
1～3年	37	4.4%
4～9年	53	6.3%
10～19年	69	8.2%
20年以上	657	77.9%
無回答	13	1.5%
合計	843	100.0%



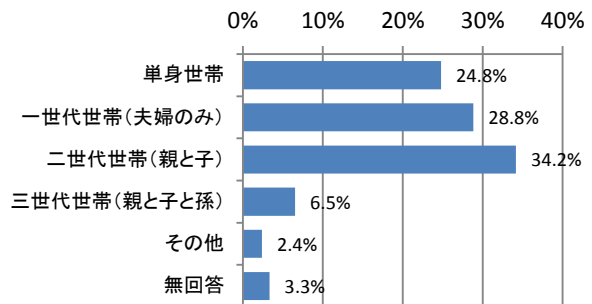
7. 結婚の有無

選択肢	人数	構成比
既婚	512	60.7%
独身(未婚・離別・死別)	307	36.4%
無回答	24	2.8%
合計	843	100.0%



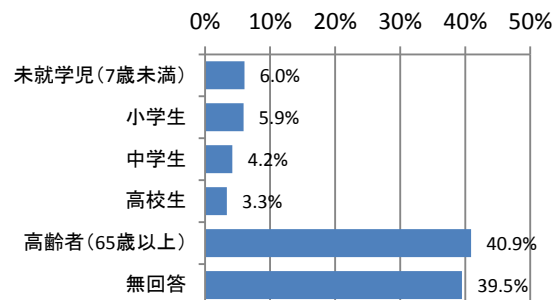
8. 同居の家族構成

選択肢	人数	構成比
単身世帯	209	24.8%
一世代世帯(夫婦のみ)	243	28.8%
二世代世帯(親と子)	288	34.2%
三世代世帯(親と子と孫)	55	6.5%
その他	20	2.4%
無回答	28	3.3%
合計	843	100.0%



9. 同居者の属性

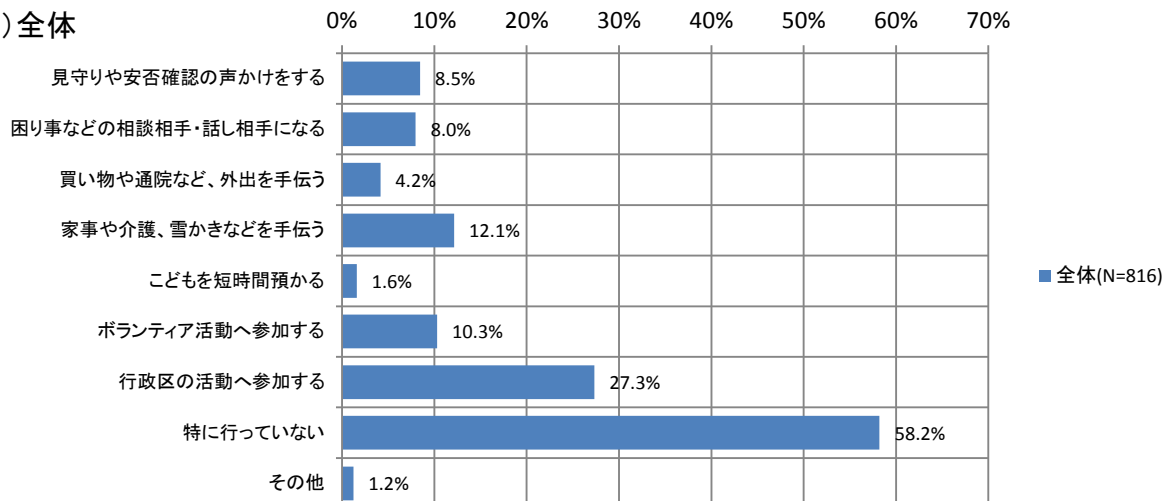
選択肢	人数	構成比
未就学児(7歳未満)	56	6.0%
小学生	55	5.9%
中学生	39	4.2%
高校生	31	3.3%
高齢者(65歳以上)	379	40.9%
無回答	366	39.5%
合計	926	100.0%



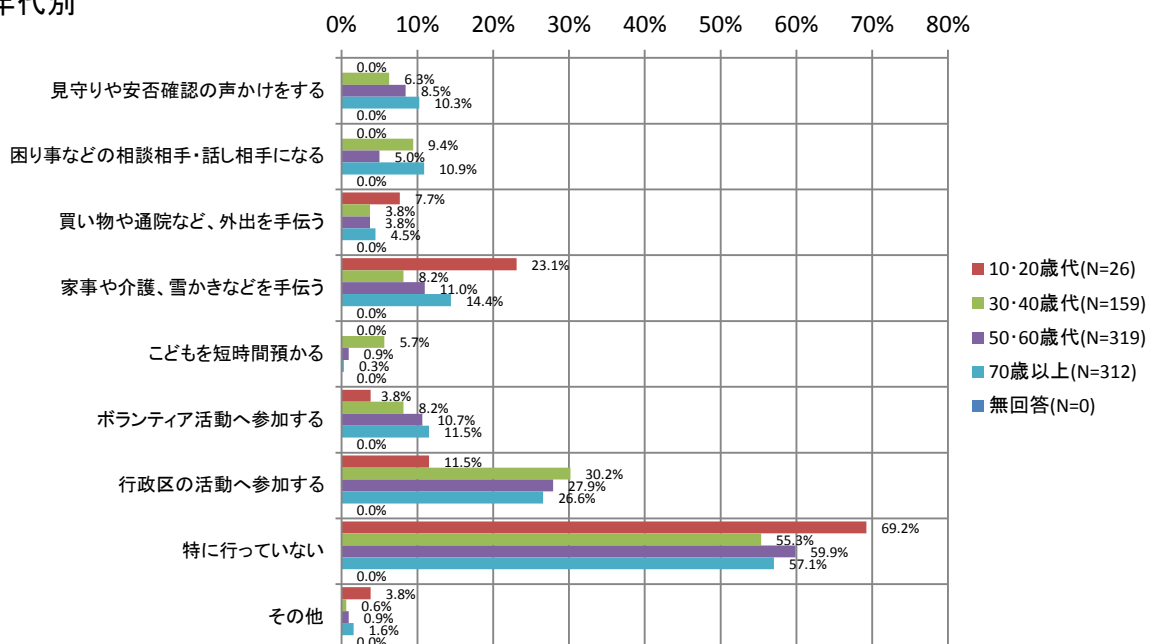
Ⅲ 調査結果

回答=816人、無回答=27人

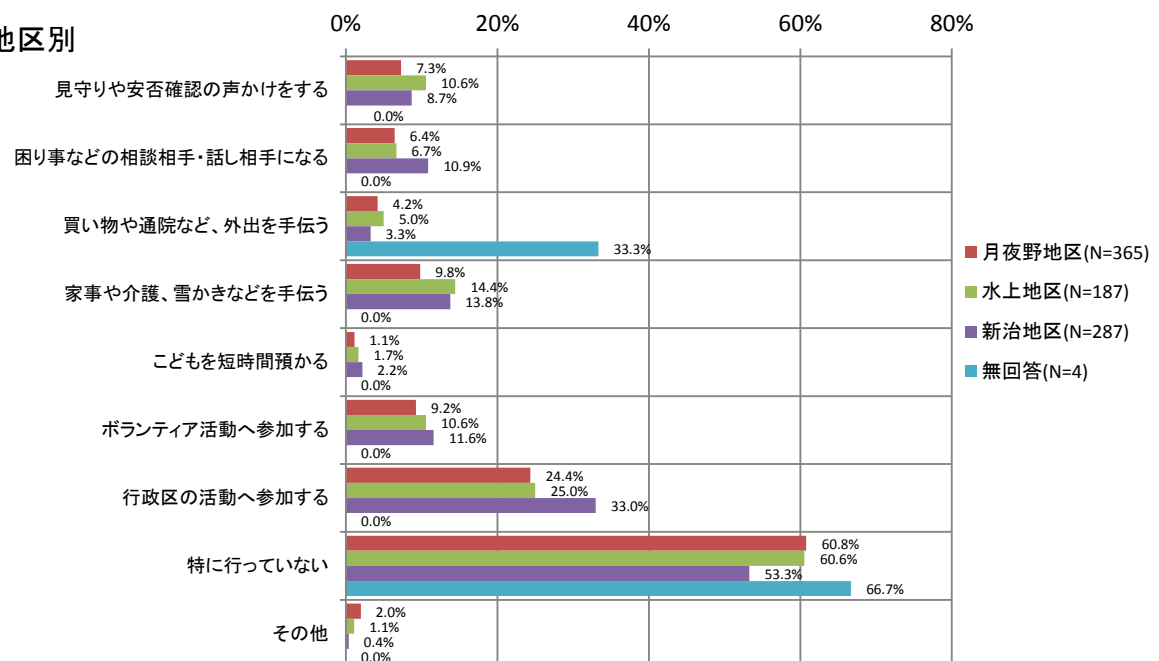
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別



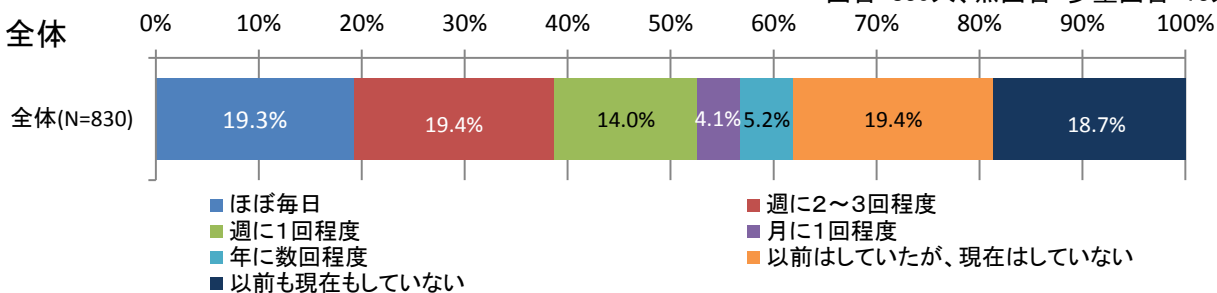
あなたは日頃、運動やスポーツなど、身体を動かすことに取り組んでいますか。

11

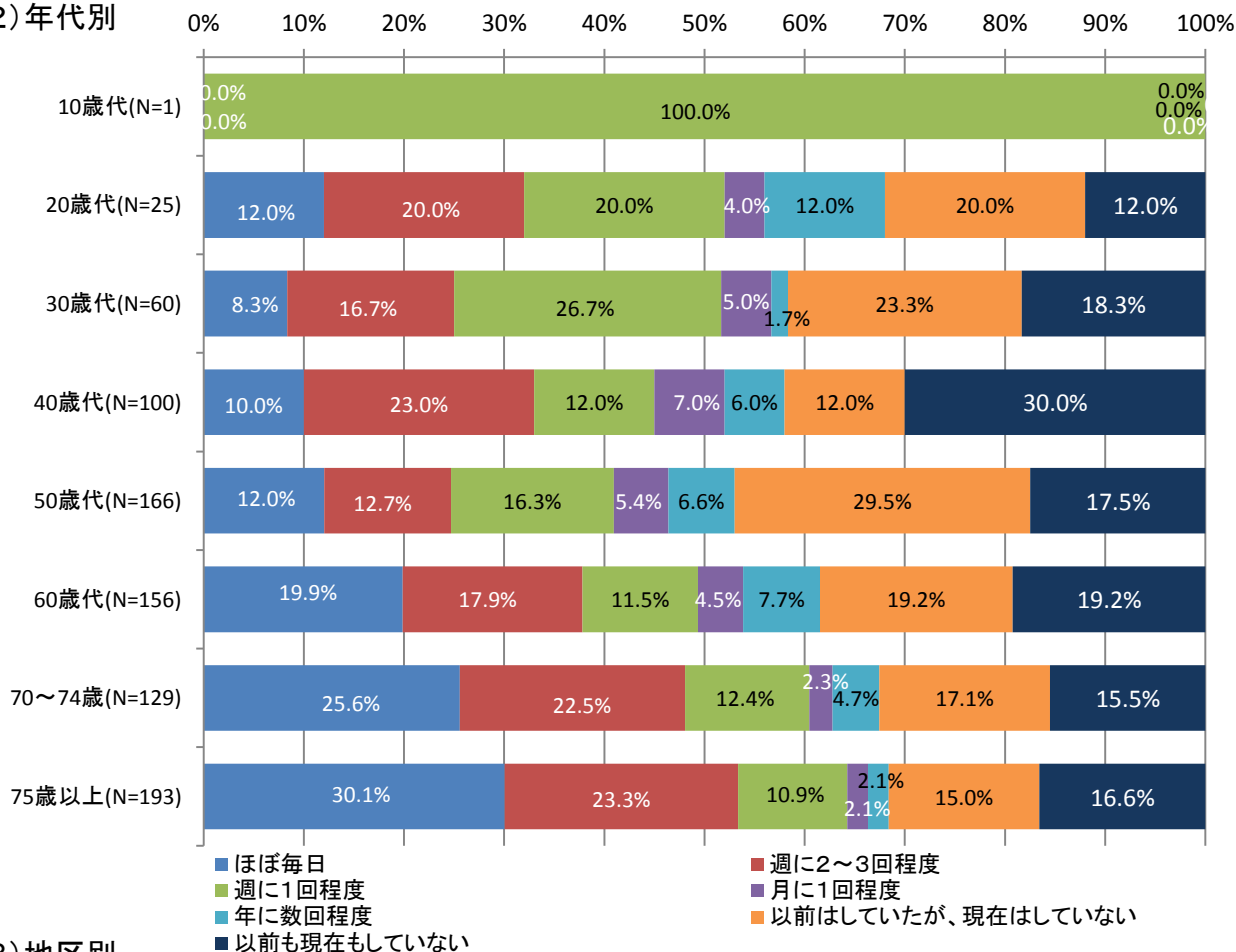
「運動やスポーツなど、身体を動かすこと」には、散歩や体操、レクリエーションスポーツなど、軽度の運動を含みます。

回答=830人、無回答・多重回答=13人

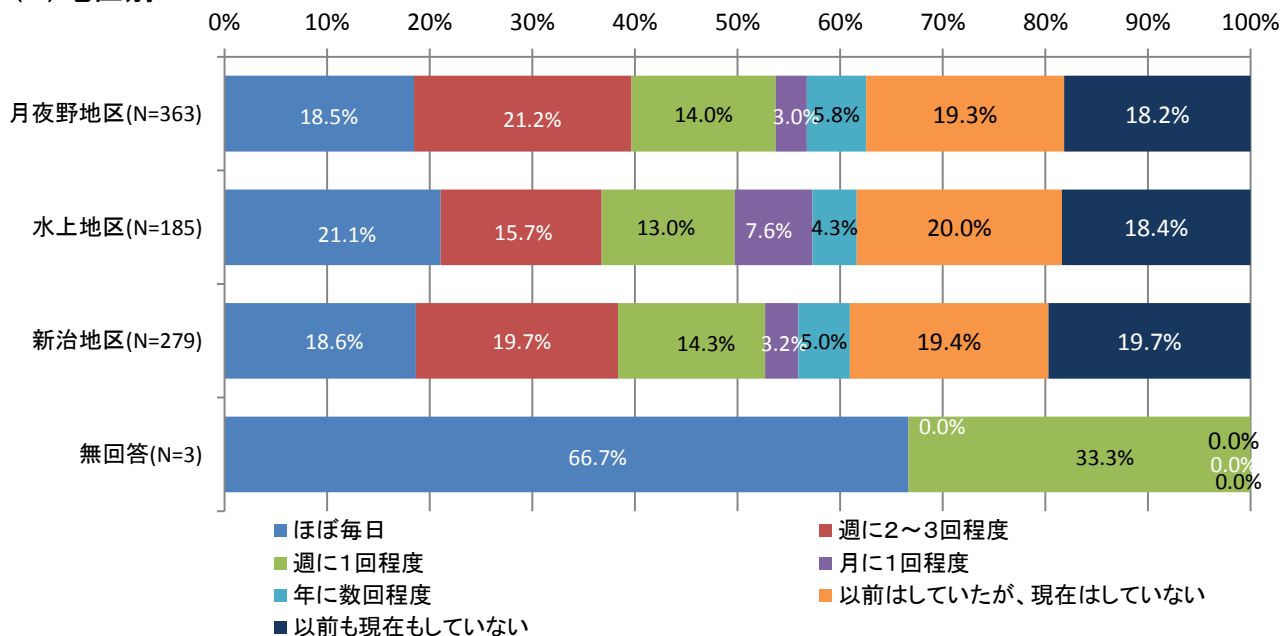
(1) 全体



(2) 年代別

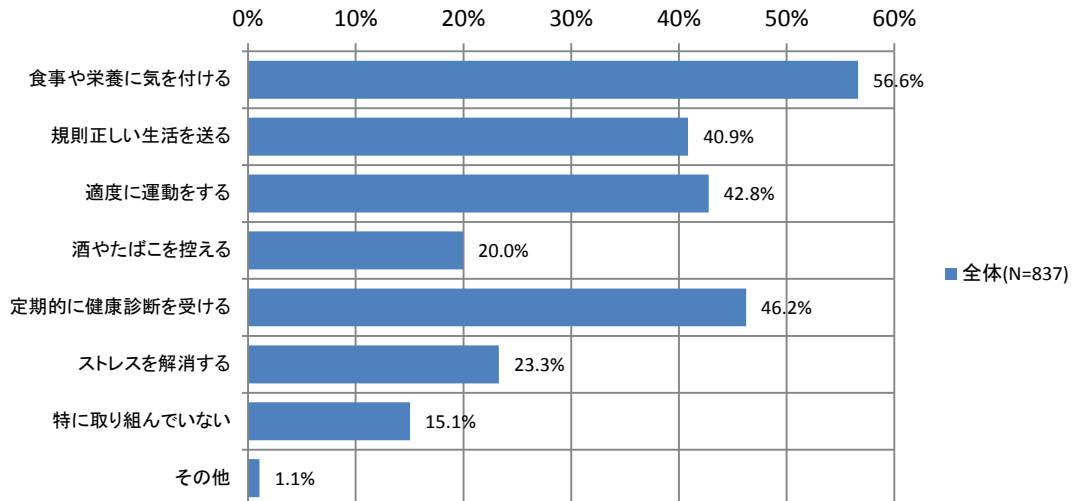


(3) 地区別

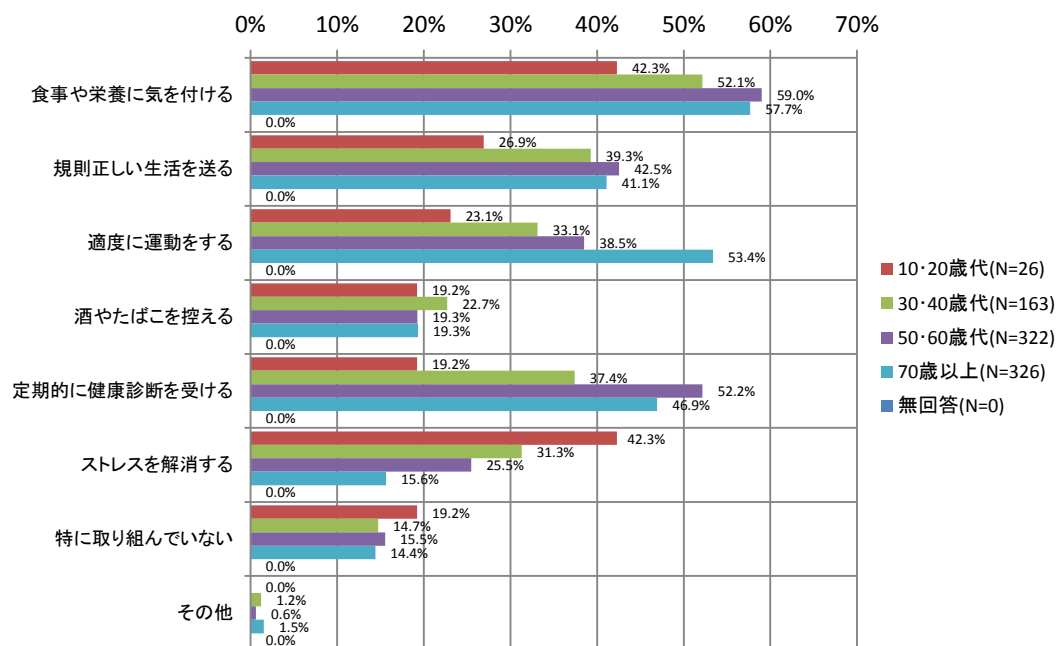


回答=837人、無回答=6人

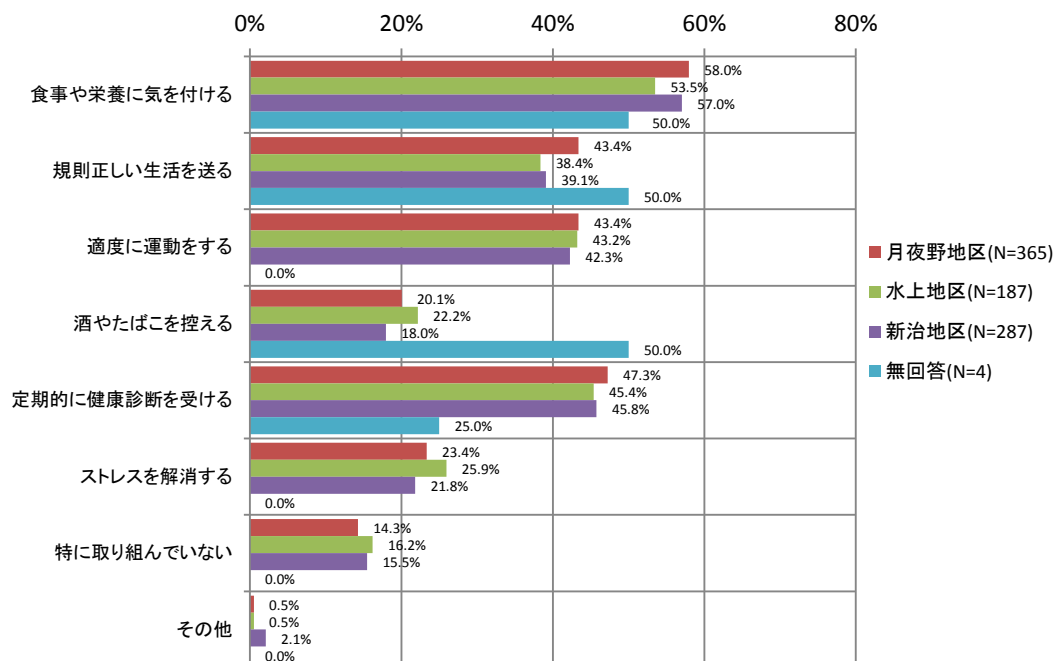
(1) 全体



(2) 年代別

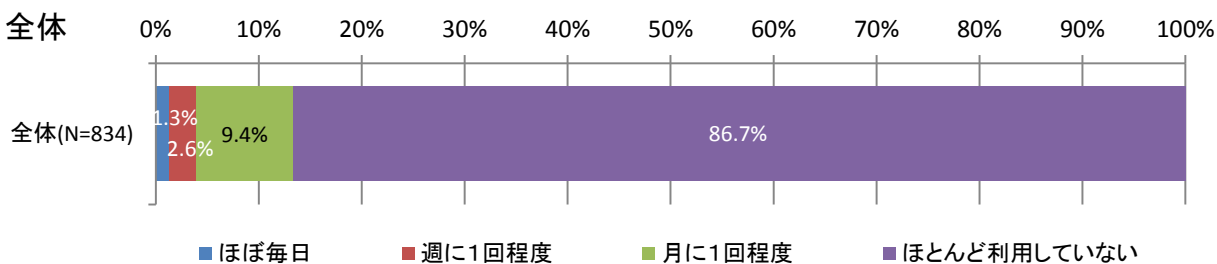


(3) 地区別

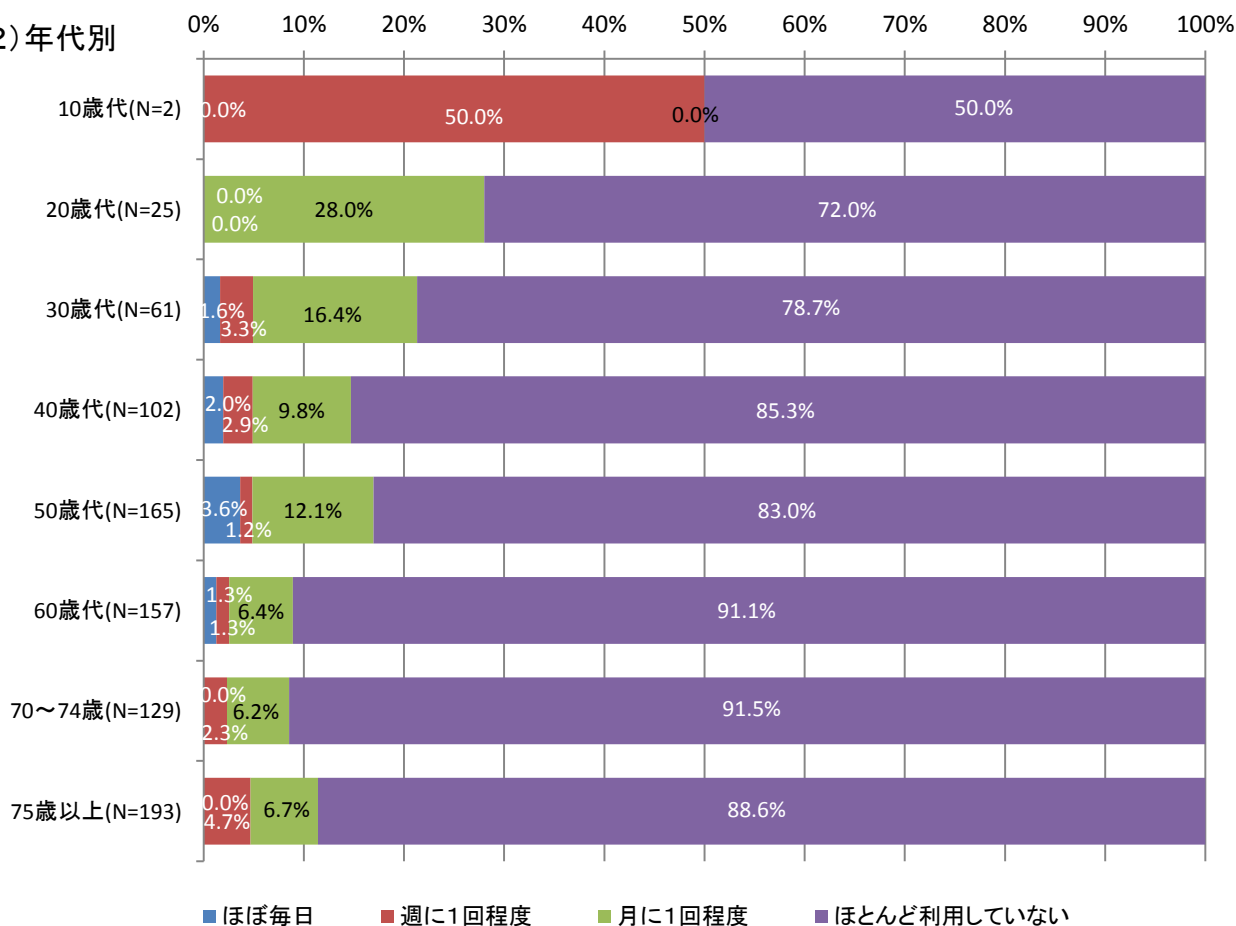


回答=834人、無回答・多重回答=9人

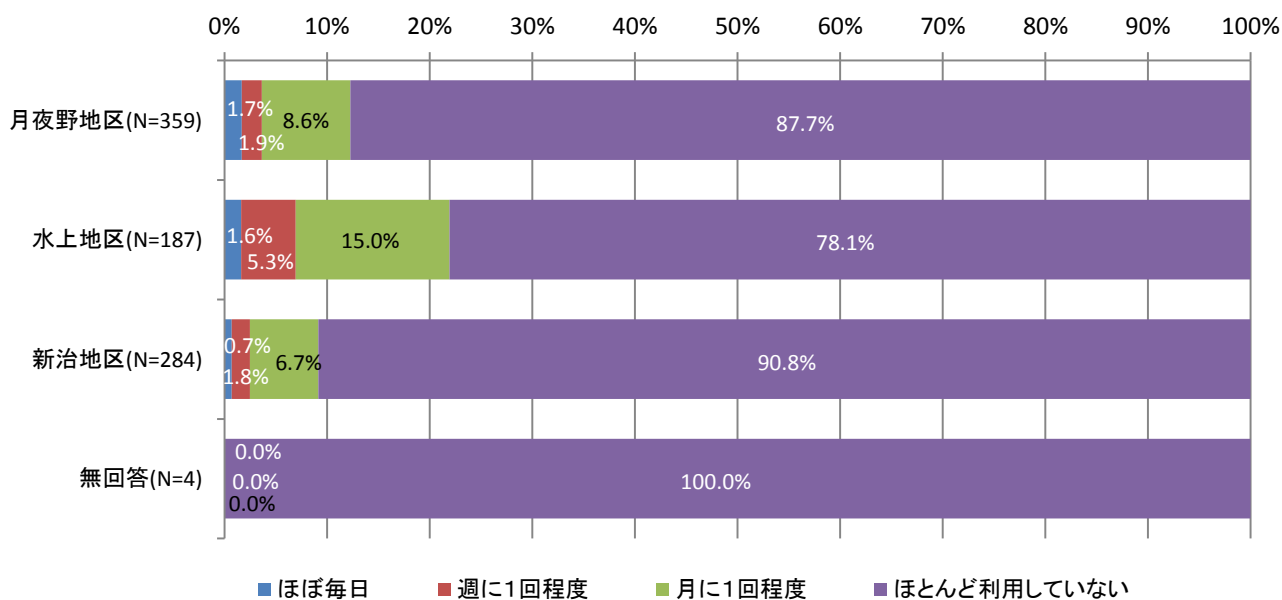
(1) 全体



(2) 年代別

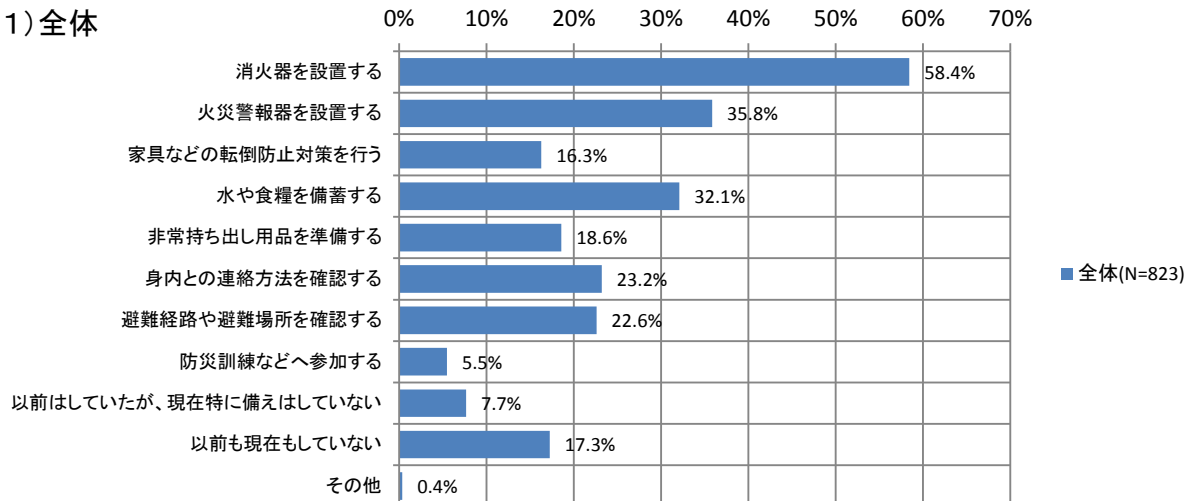


(3) 地区別

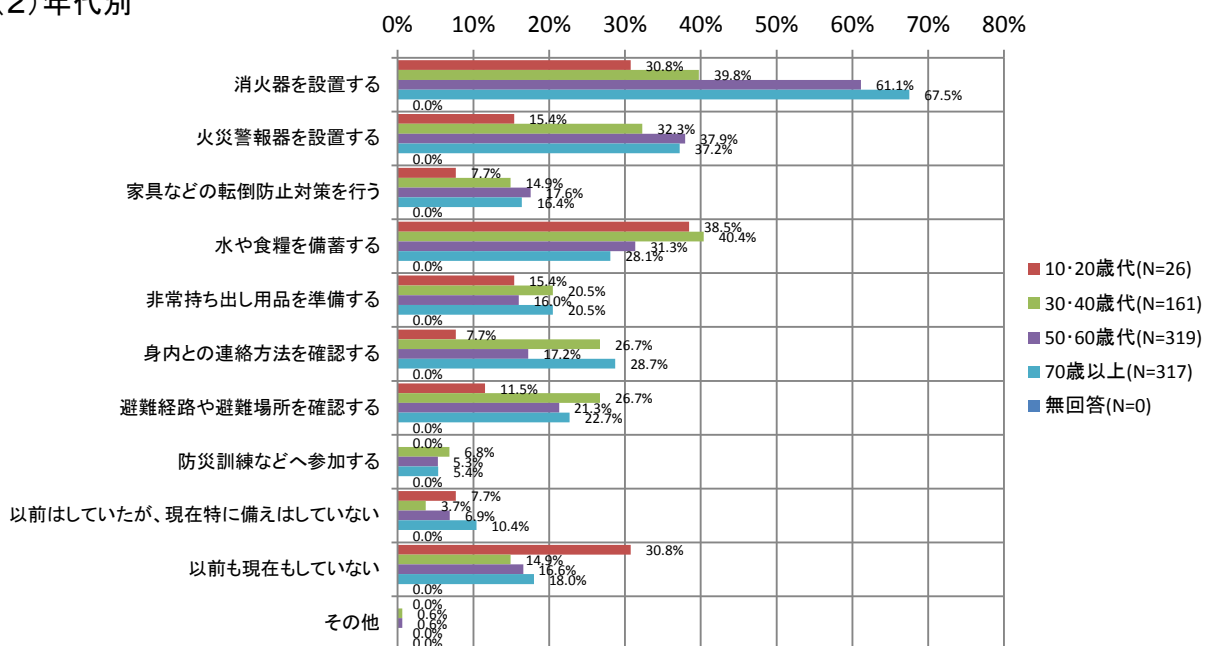


回答=823人、無回答=20人

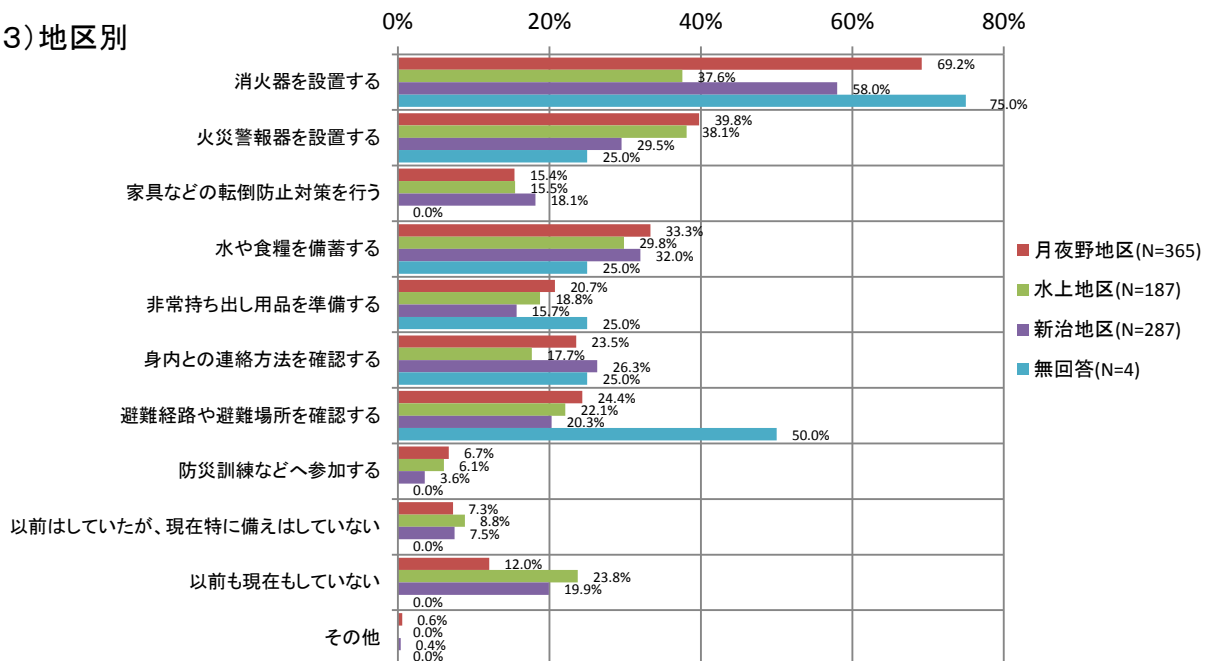
(1) 全体



(2) 年代別

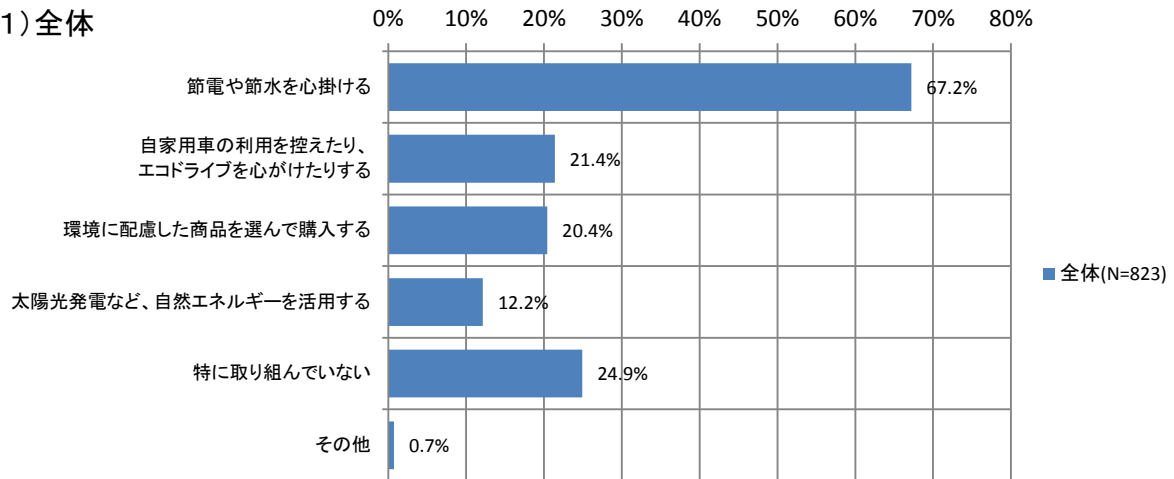


(3) 地区別

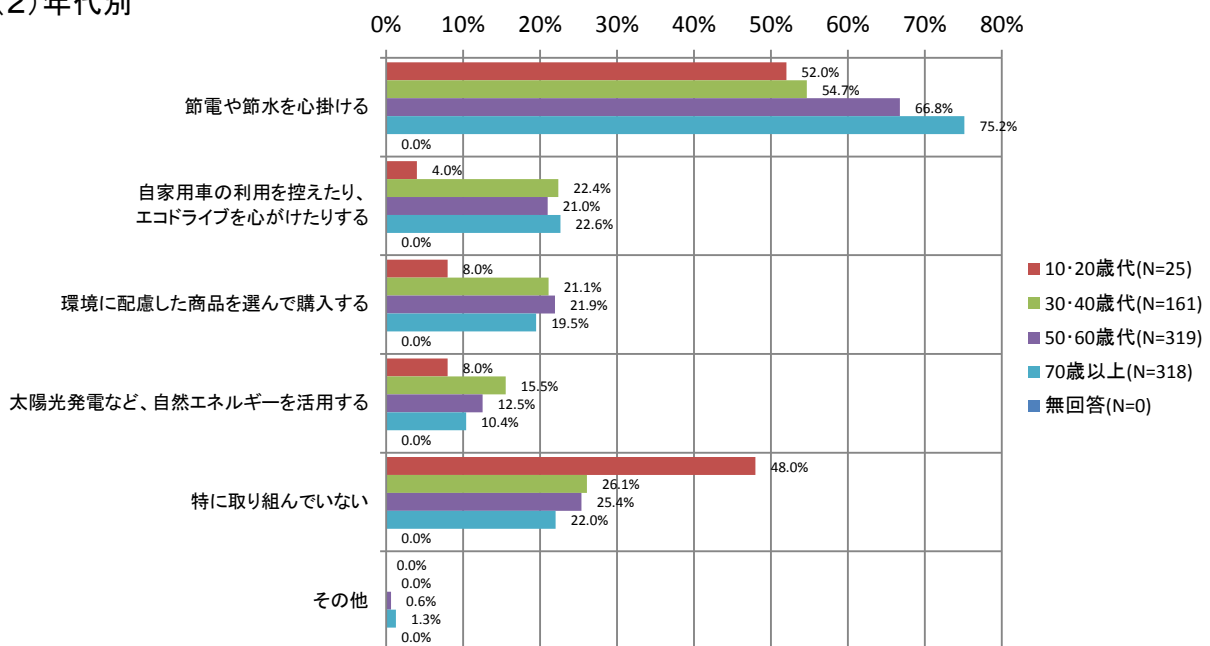


回答=823人、無回答=20人

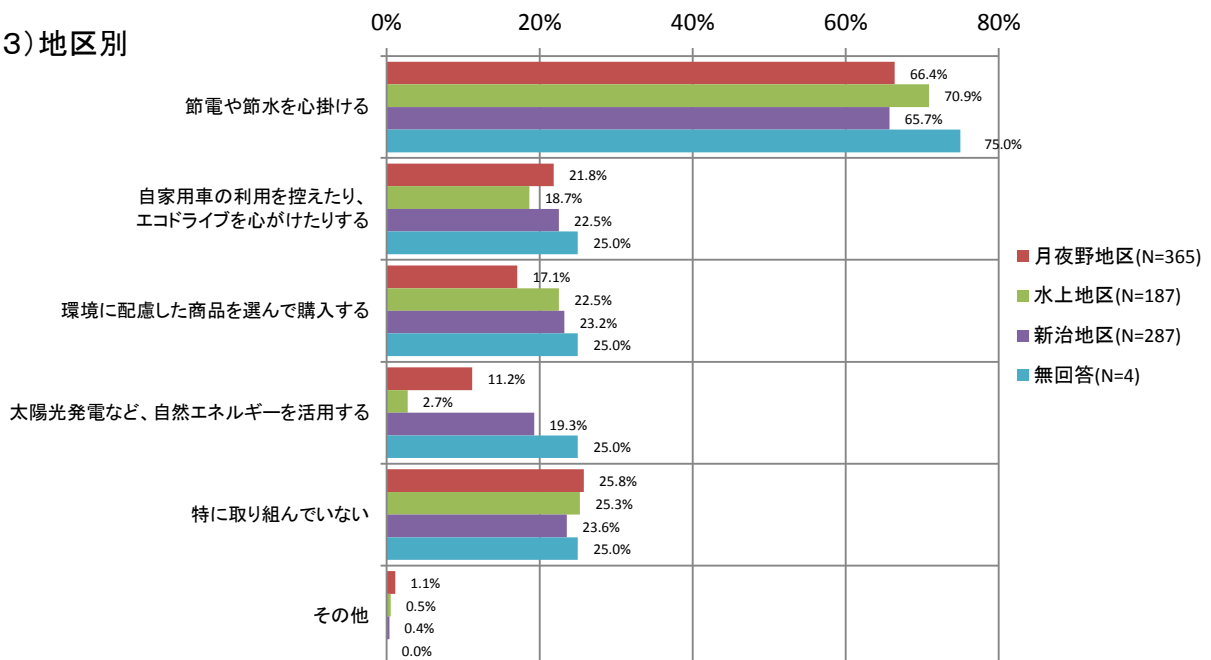
(1) 全体



(2) 年代別

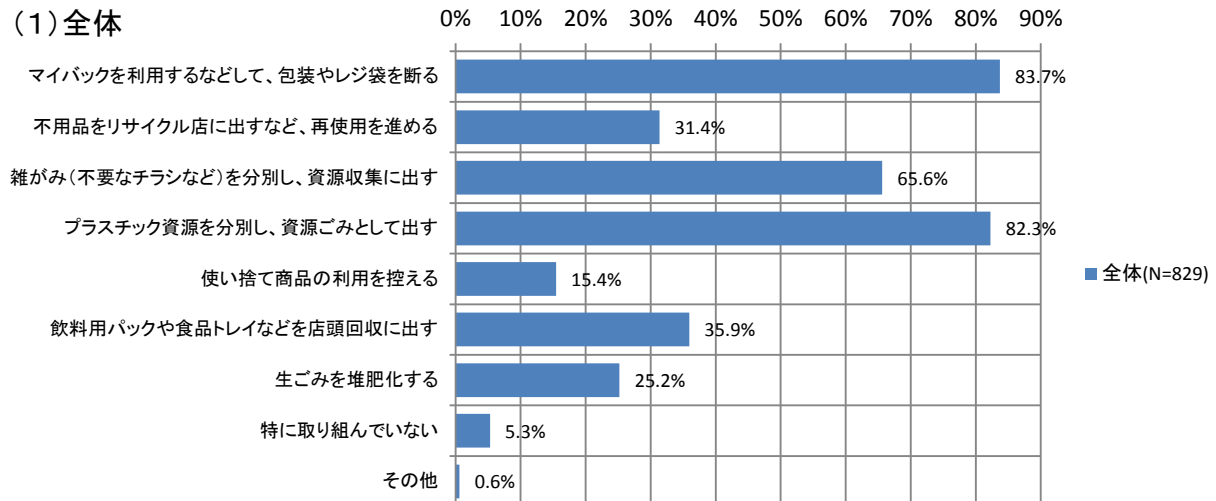


(3) 地区別

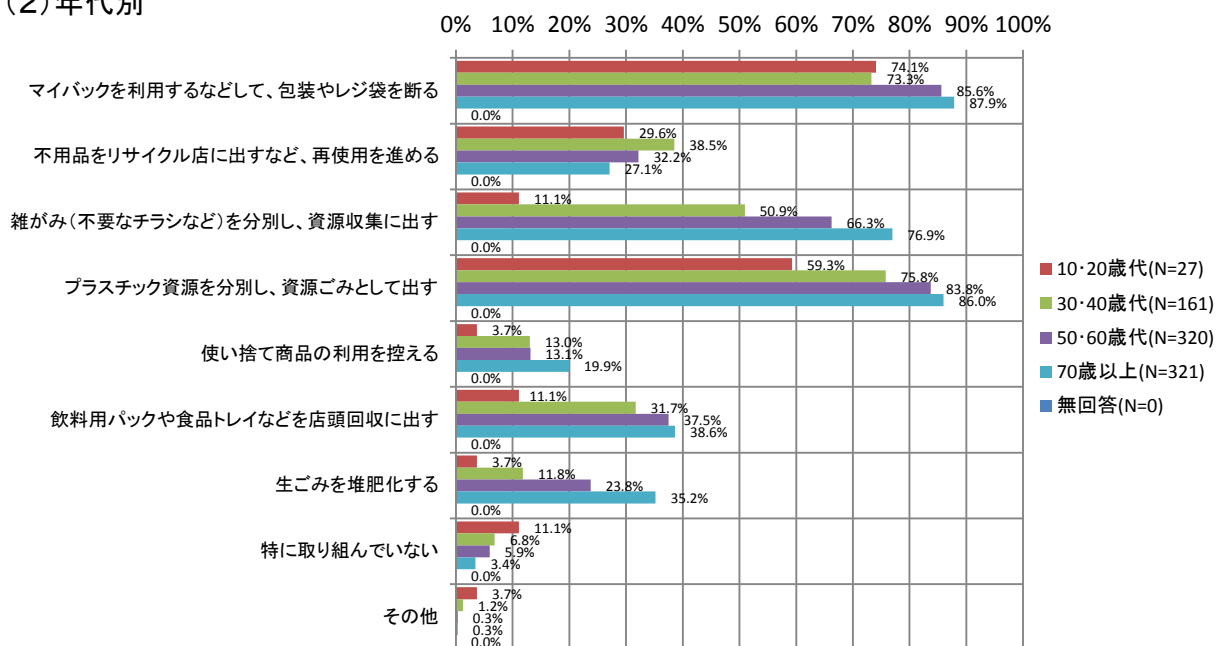


回答=829人、無回答=14人

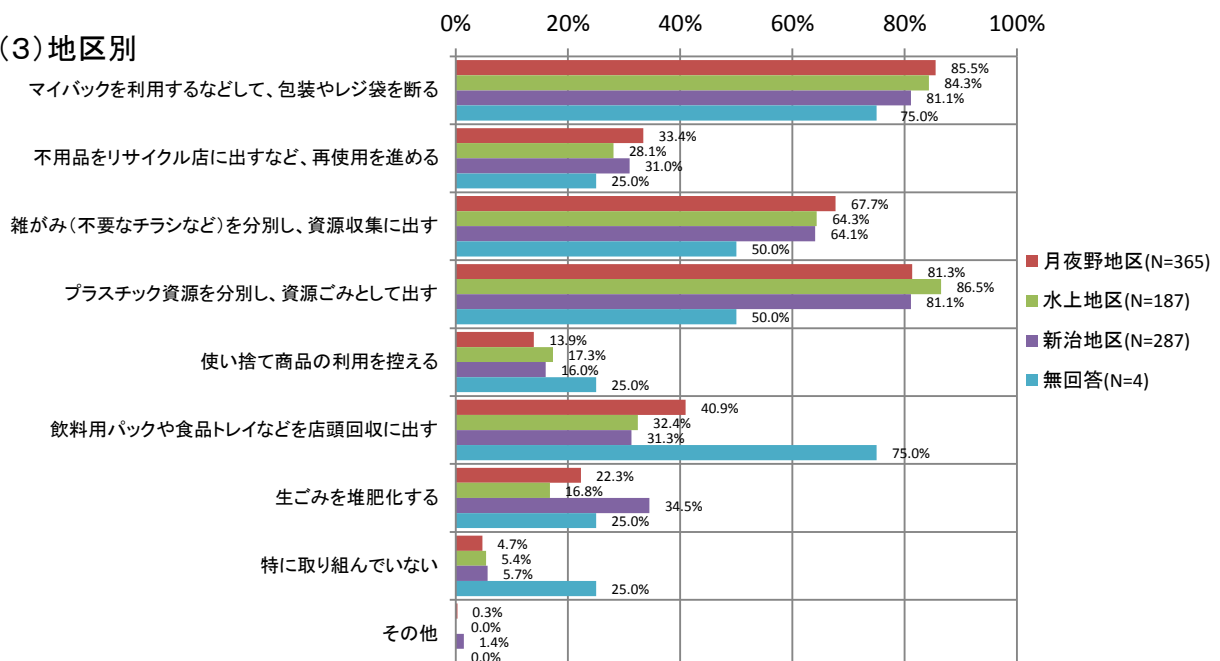
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別

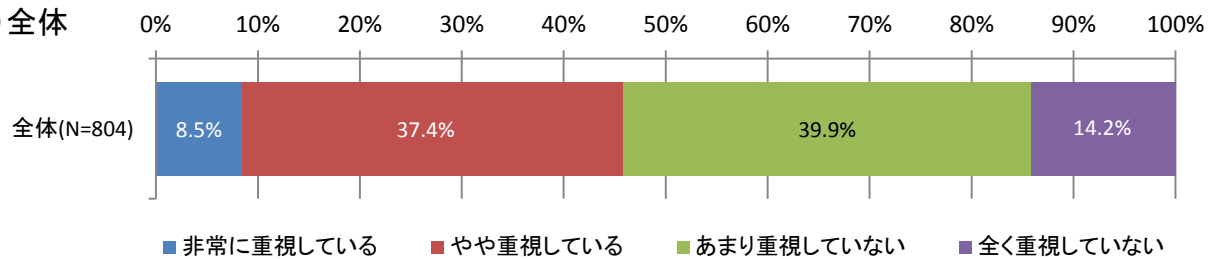


あなたは日頃、農産物を購入する際に、以下の各項目についてどのくらい重視していますか。

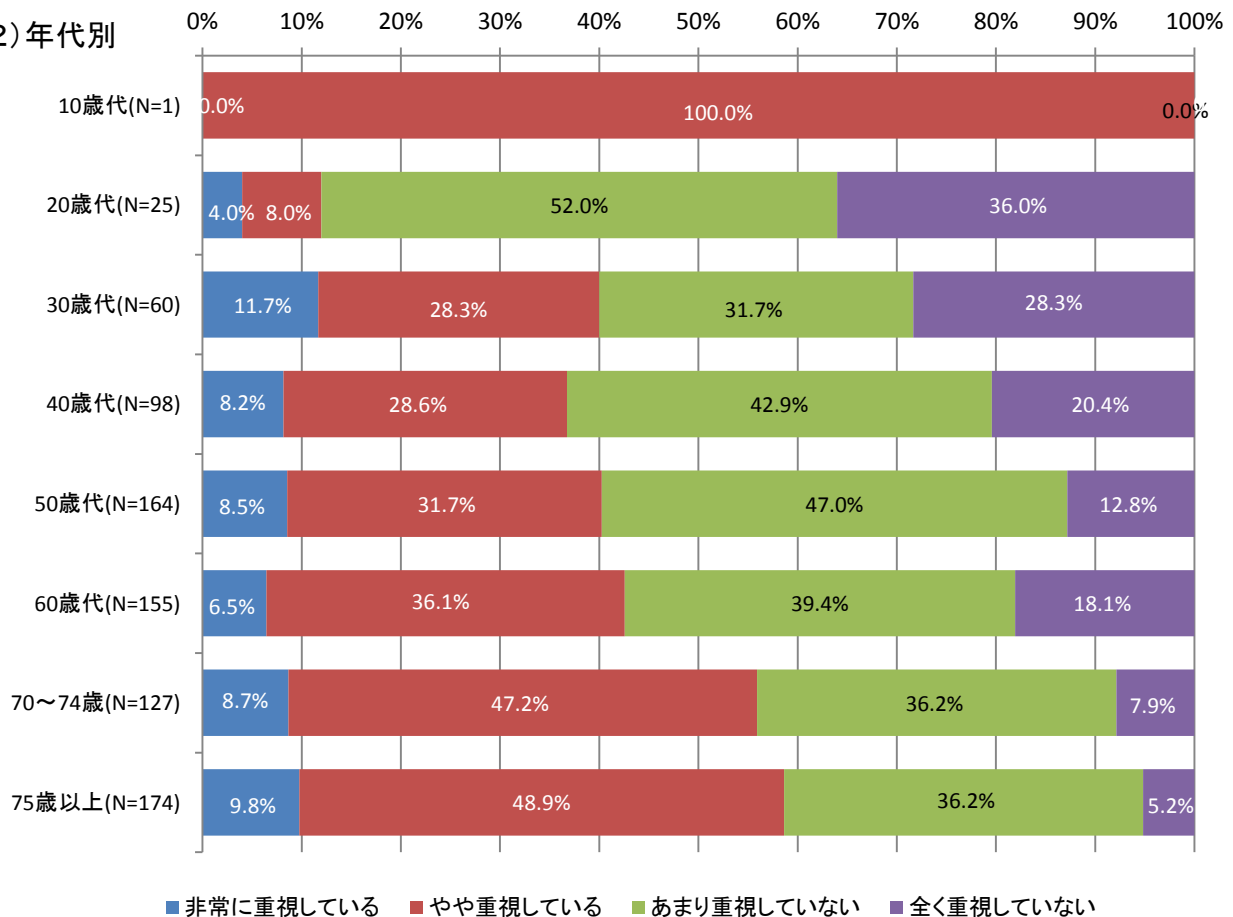
17-1 1. 環境に配慮した農法(有機農法、減農薬農法、減化学肥料農法など)

回答=804人、無回答・多重回答=39人

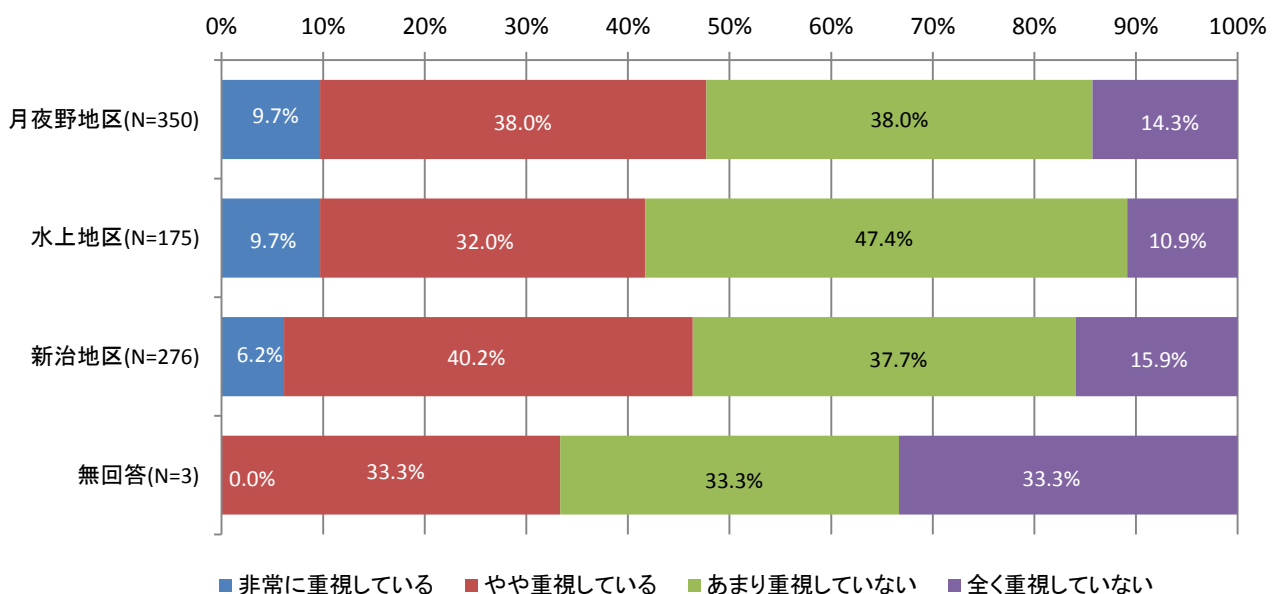
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別

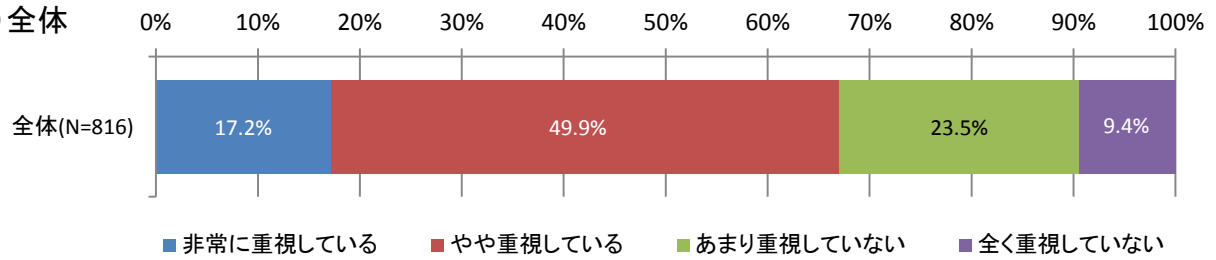


あなたは日頃、農産物を購入する際に、以下の各項目についてどのくらい重視していますか。

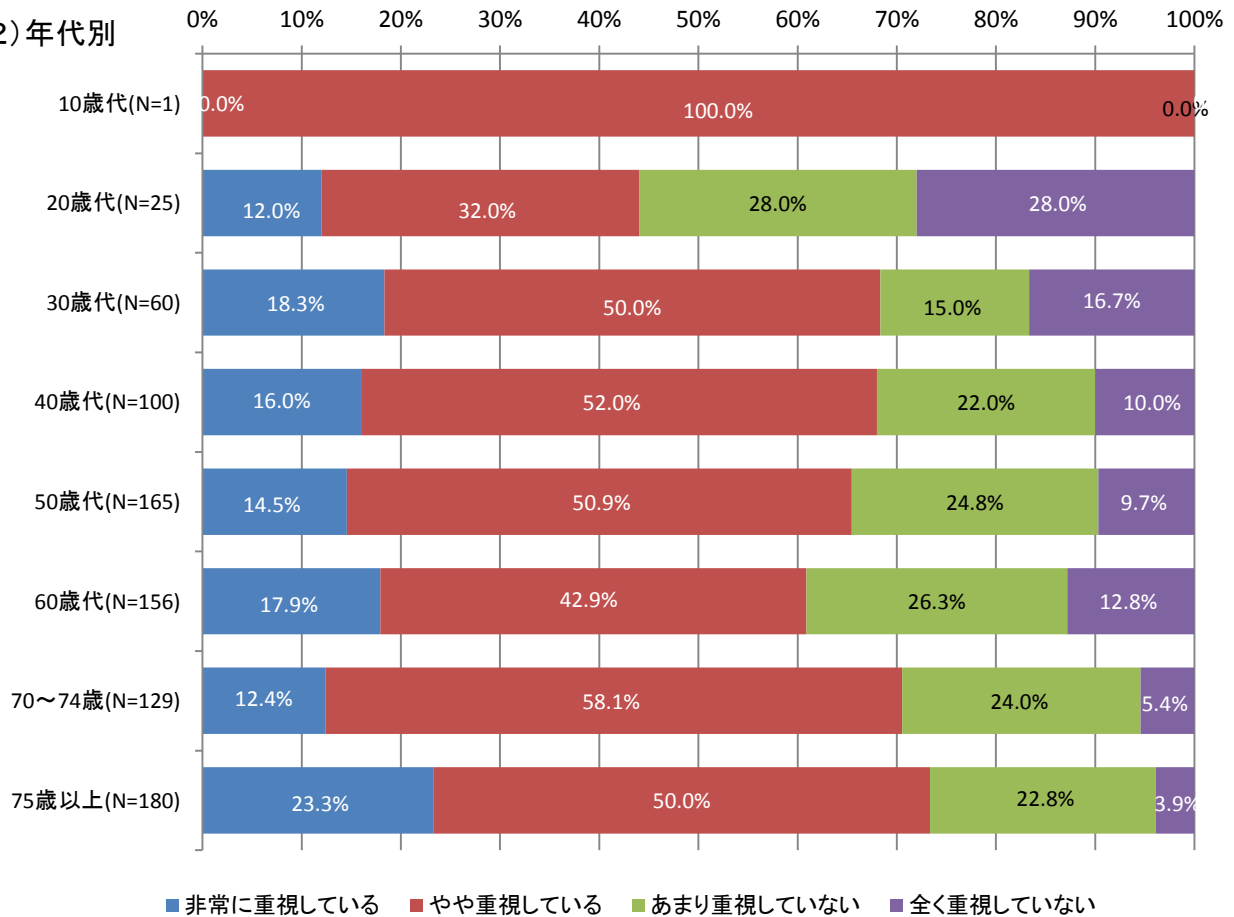
17-2 2. 地産地消(みなかみ町産、群馬県産)

回答=816人、無回答・多重回答=27人

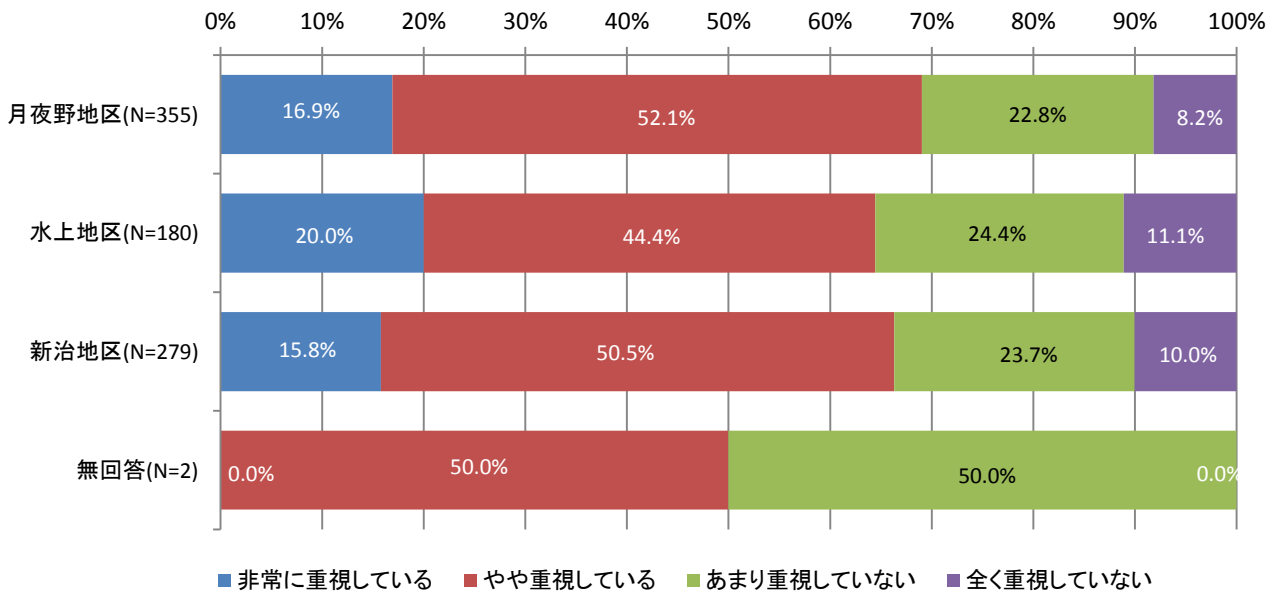
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別

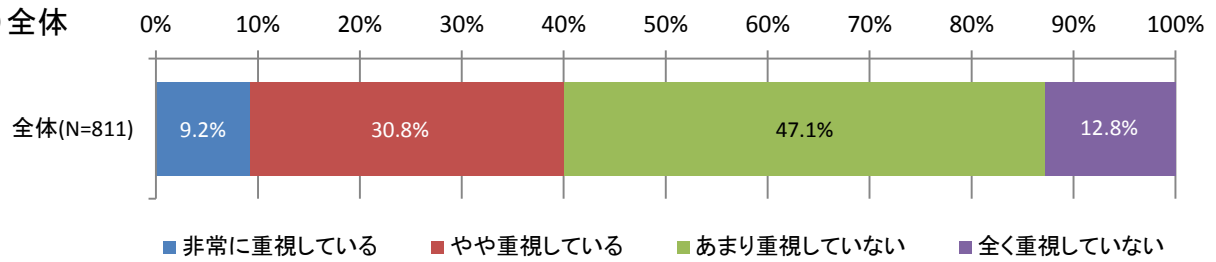


あなたは日頃、農産物を購入する際に、以下の各項目についてどのくらい重視していますか。

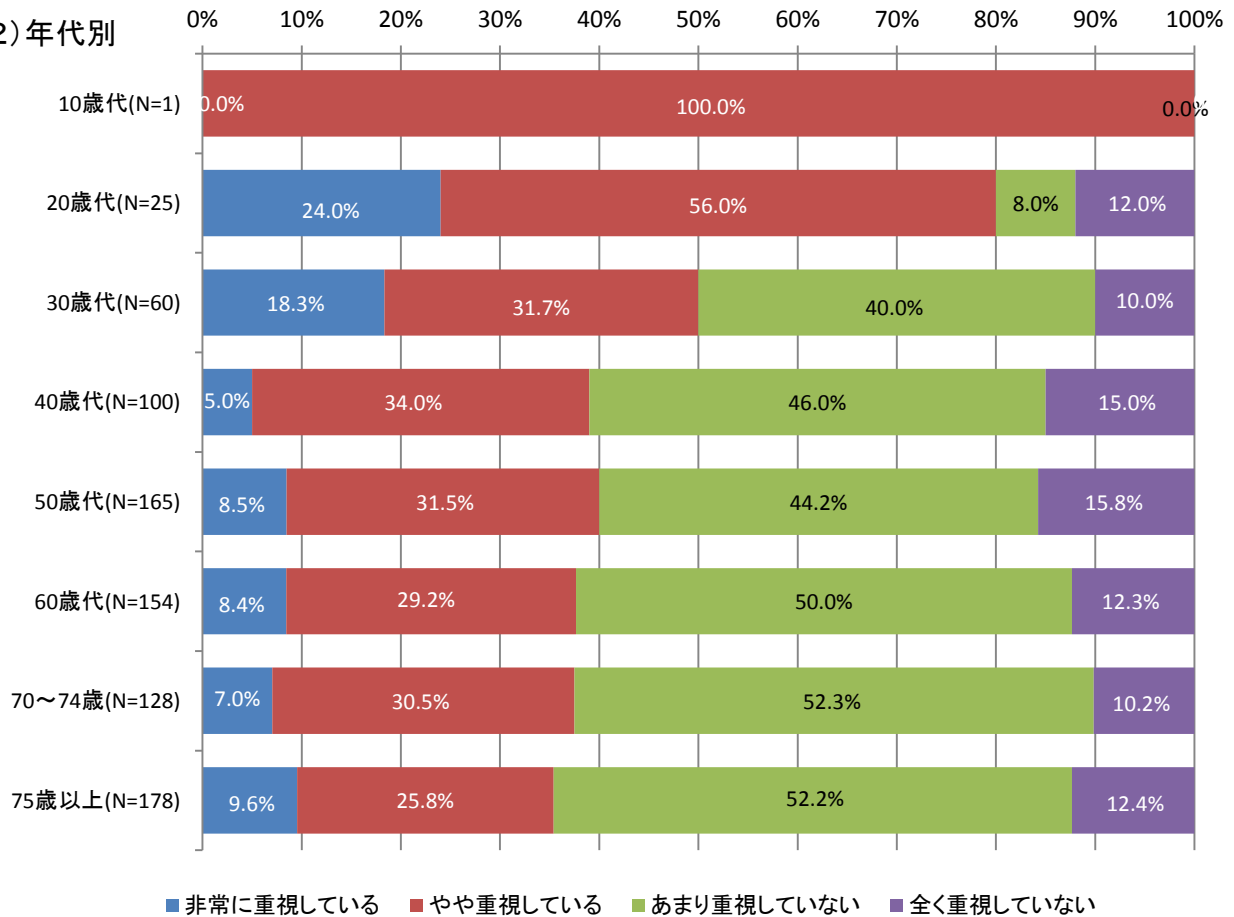
17-3 3. 見た目の良さ

回答=811人、無回答・多重回答=32人

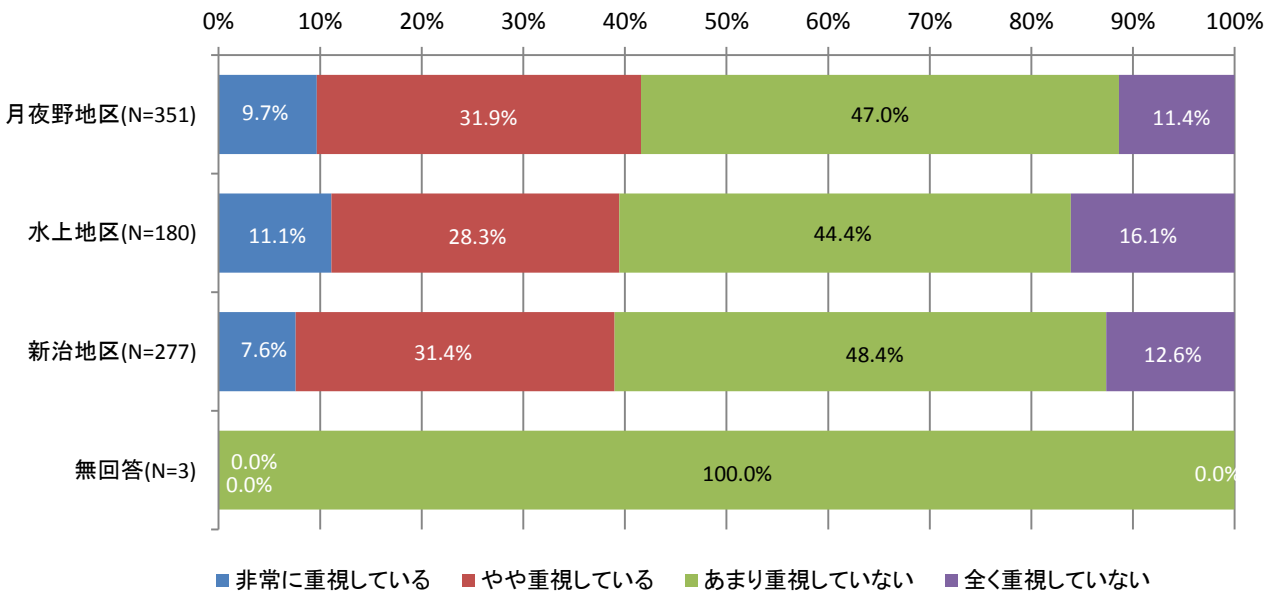
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別

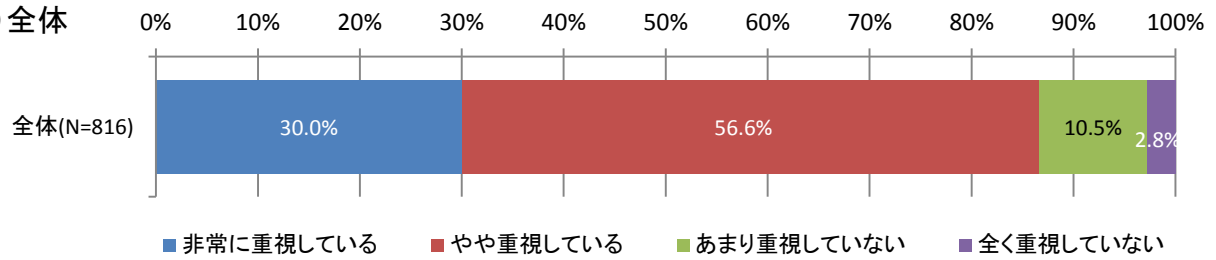


あなたは日頃、農産物を購入する際に、以下の各項目についてどのくらい重視していますか。

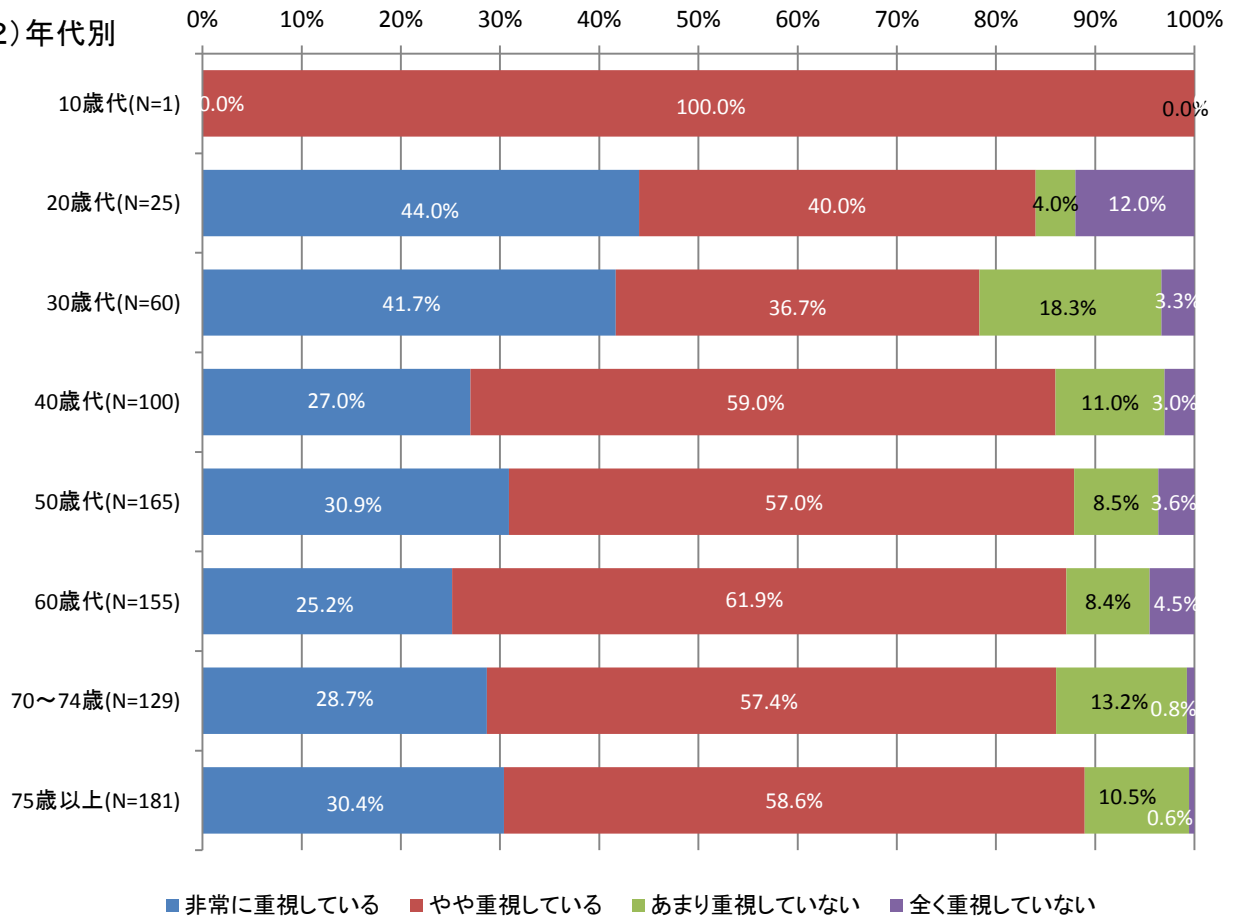
17-4 4. 味の良さ

回答=816人、無回答・多重回答=27人

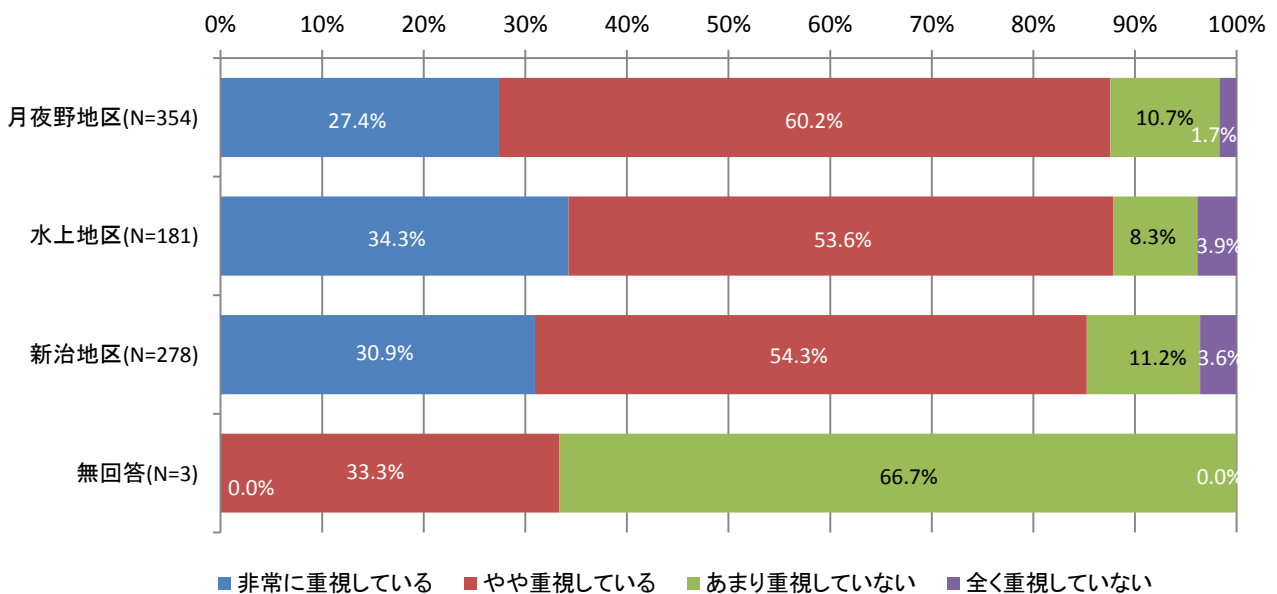
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別

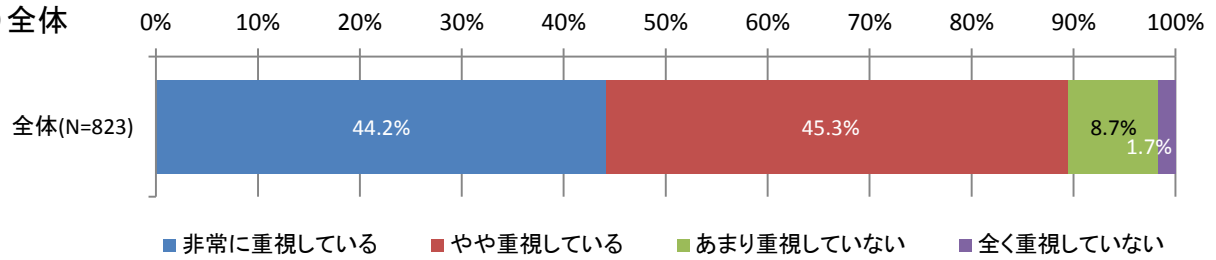


あなたは日頃、農産物を購入する際に、以下の各項目についてどのくらい重視していますか。

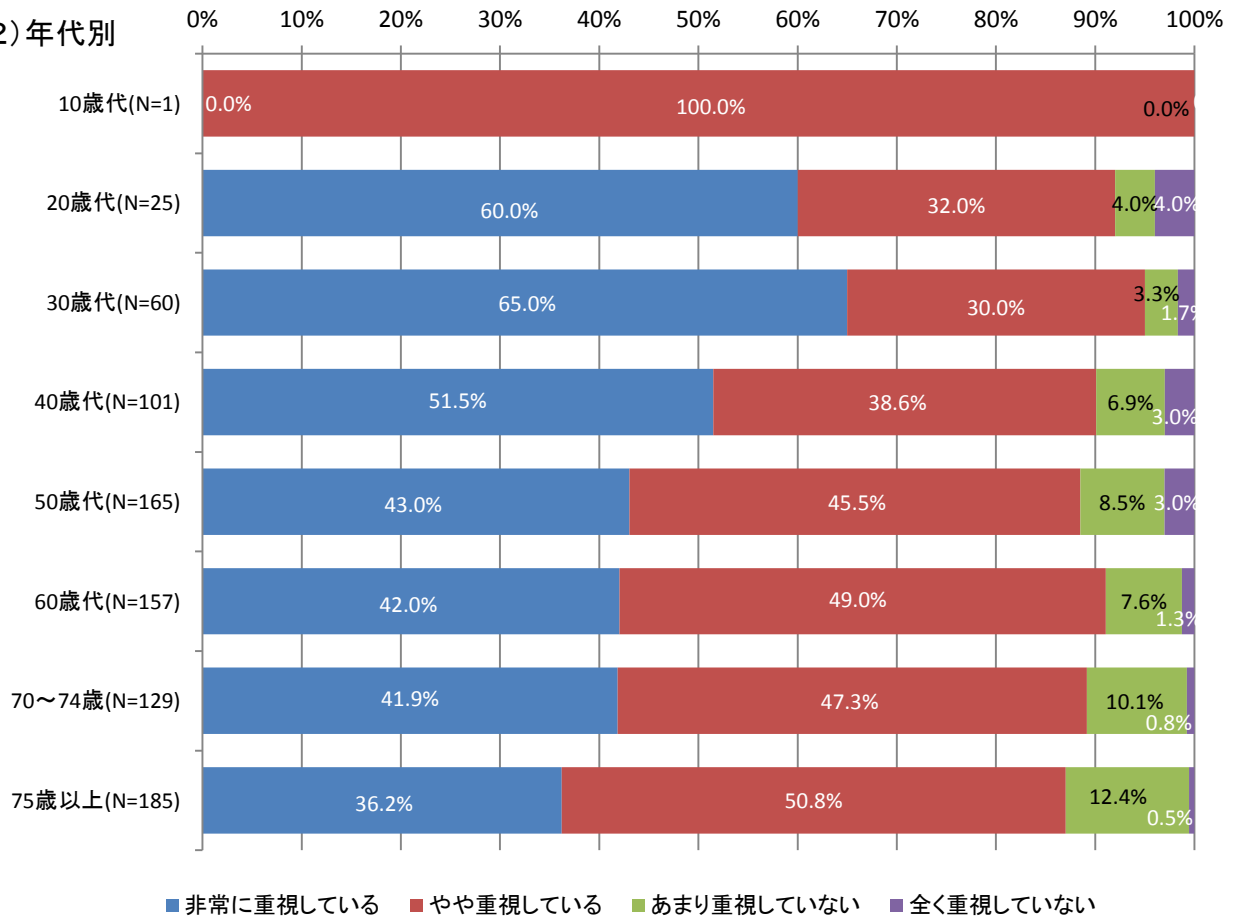
17-5 5. 価格の安さ

回答=823人、無回答・多重回答=20人

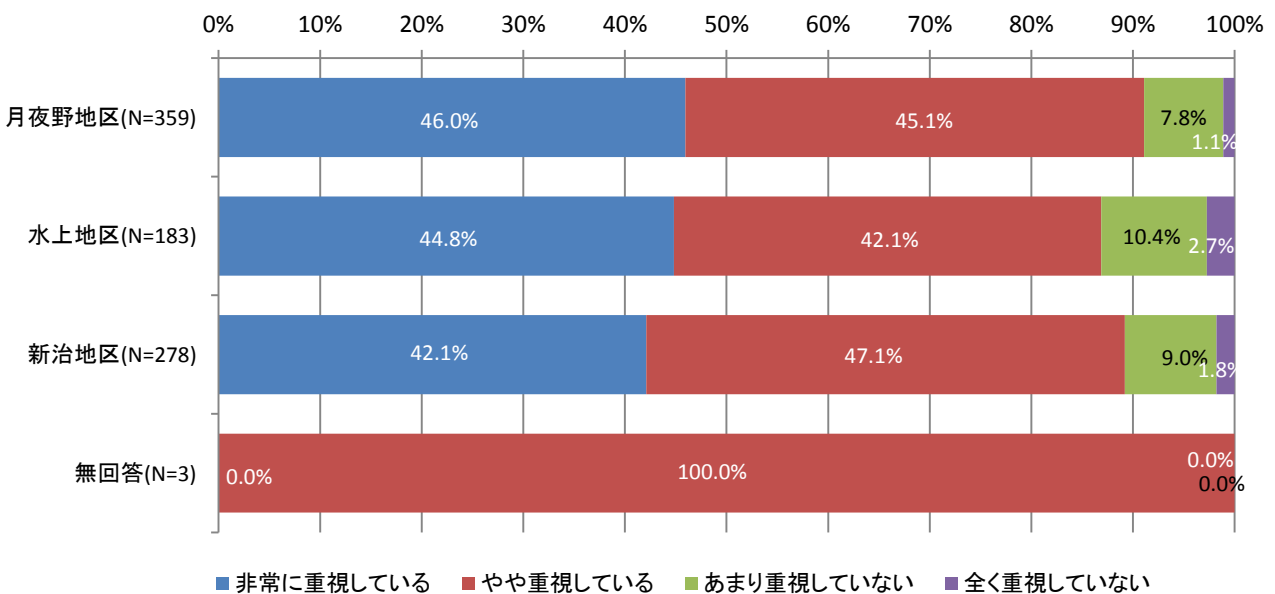
(1) 全体



(2) 年代別

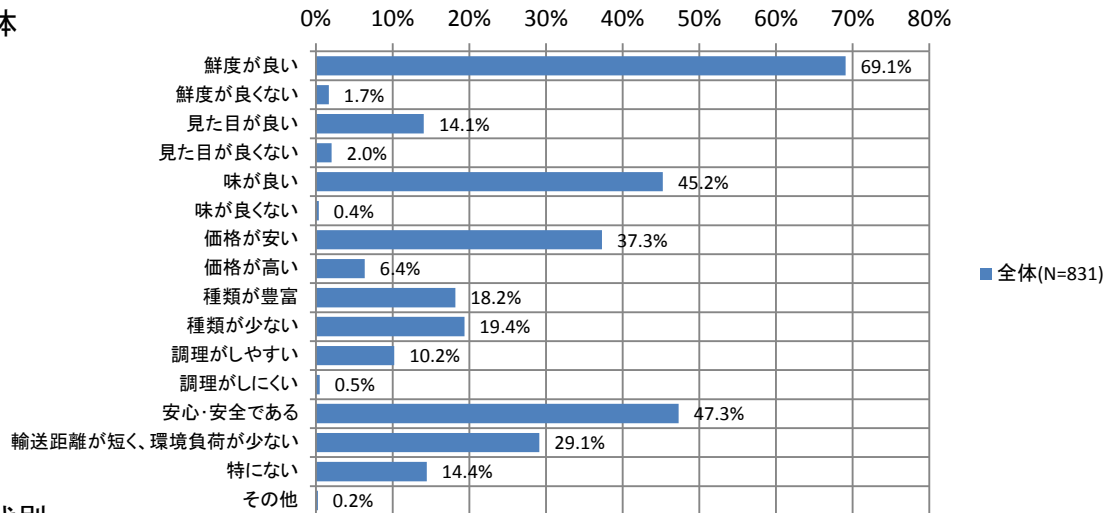


(3) 地区別

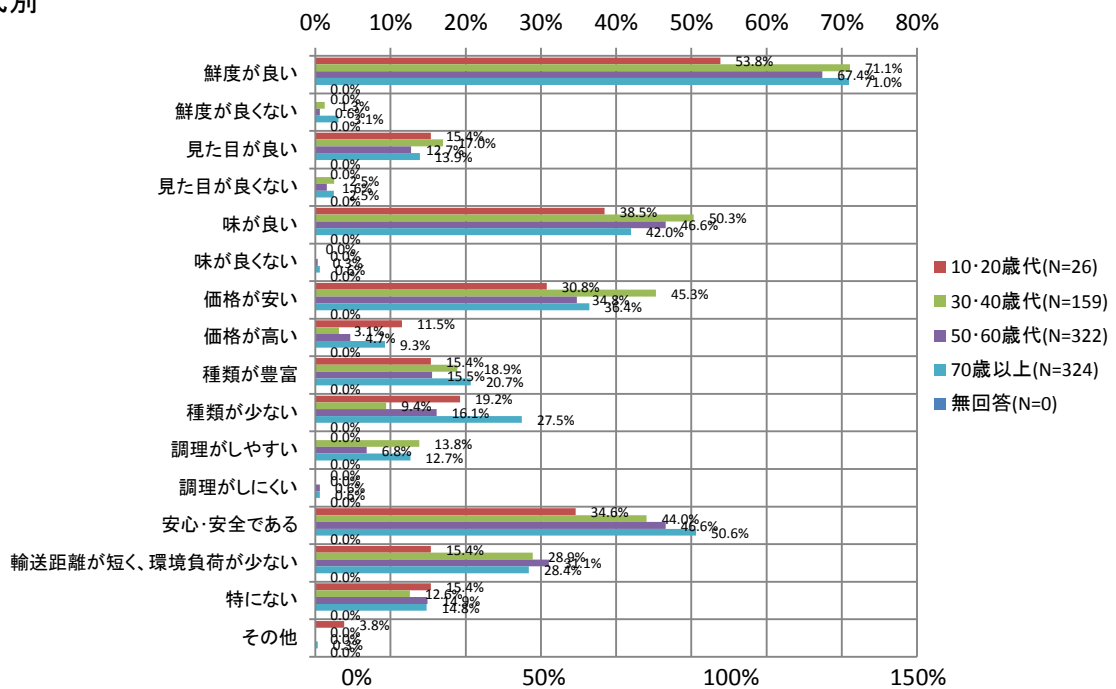


回答=831人、無回答=12人

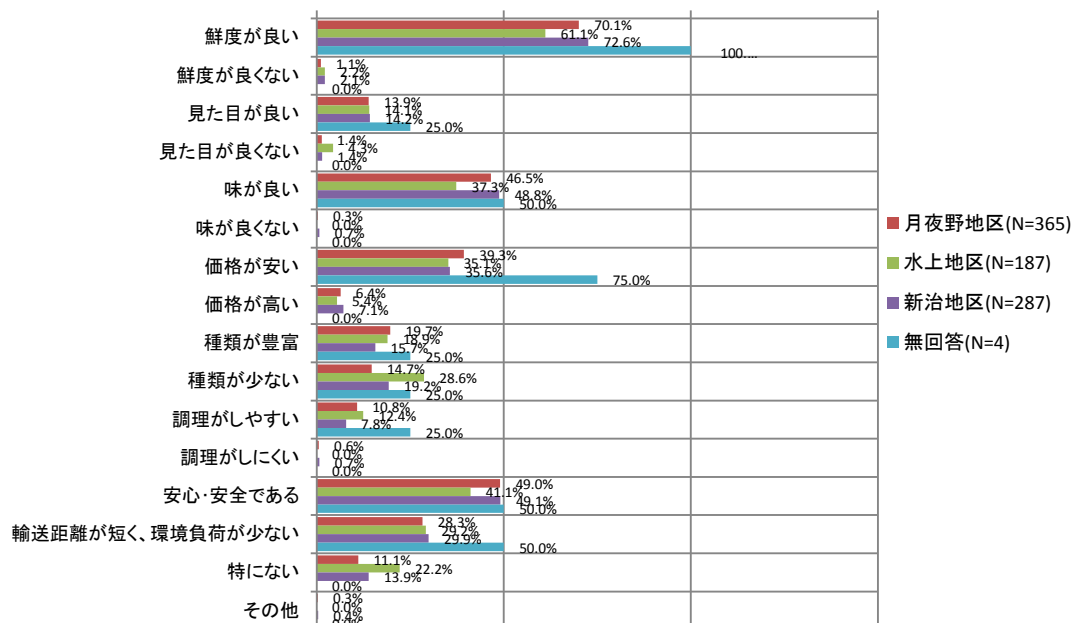
(1) 全体



(2) 年代別

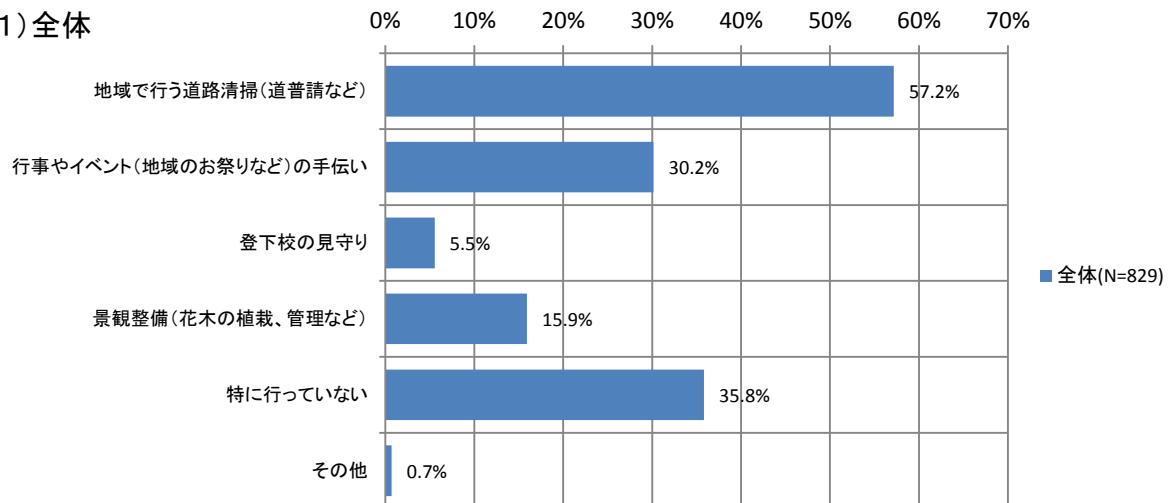


(3) 地区別

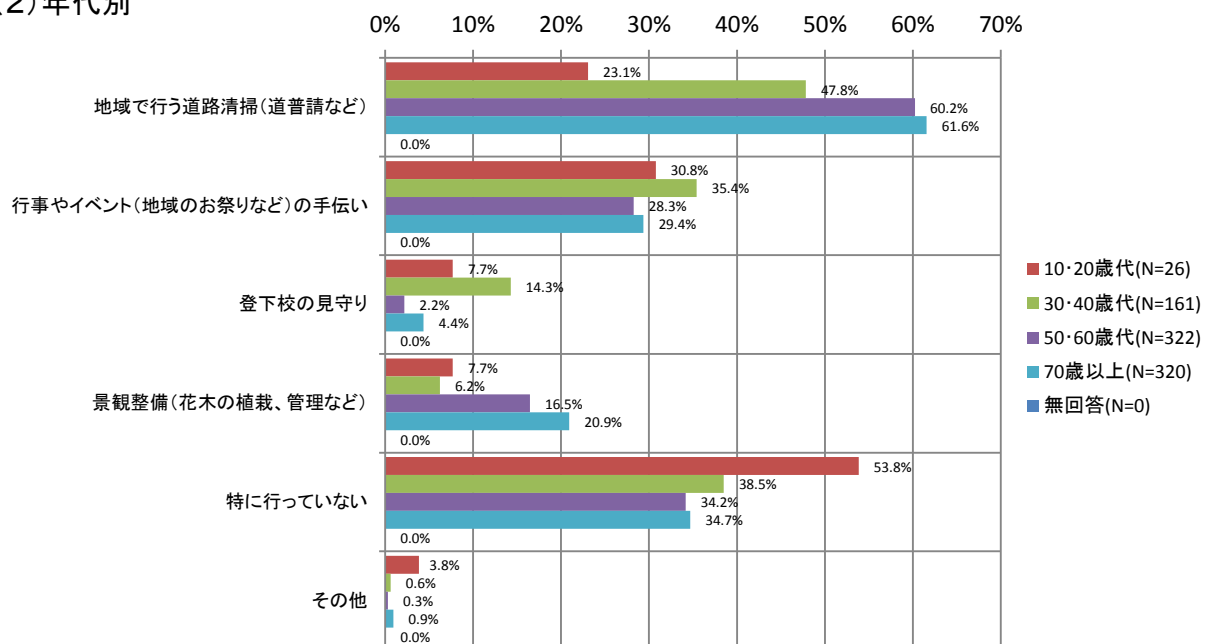


回答=829人、無回答=14人

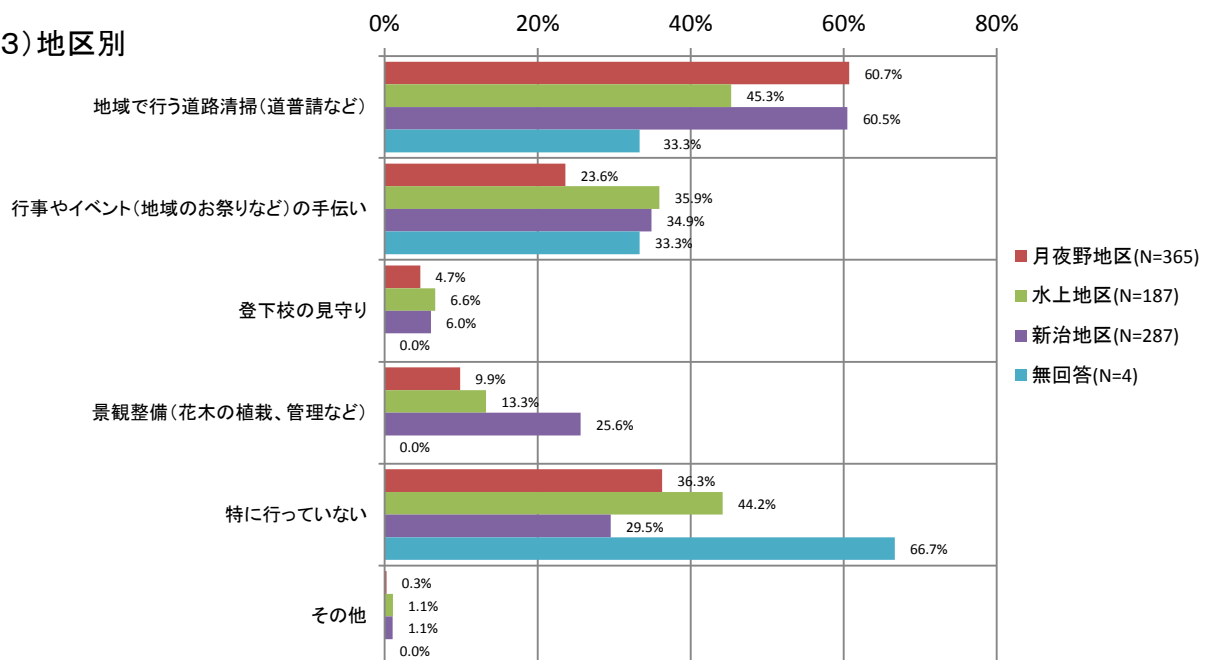
(1) 全体



(2) 年代別

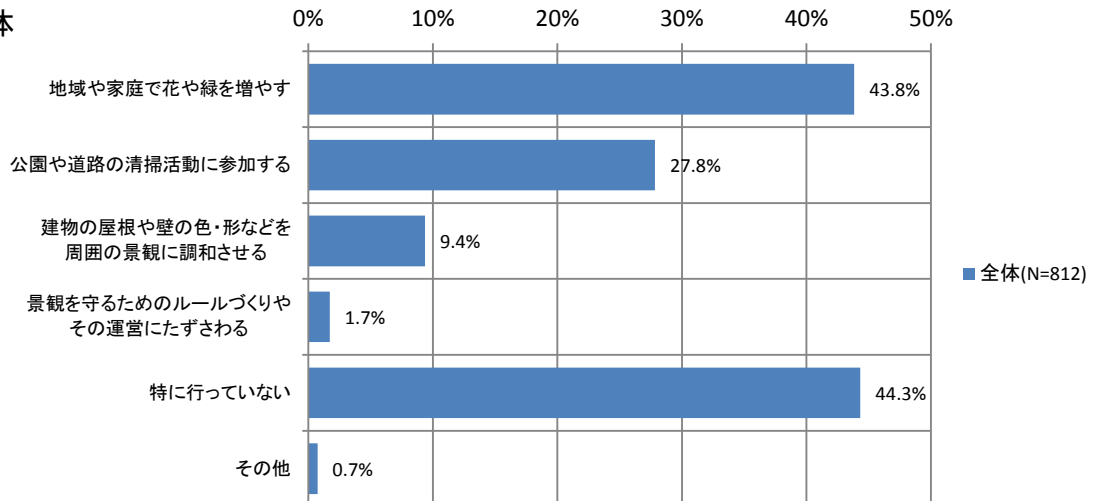


(3) 地区別

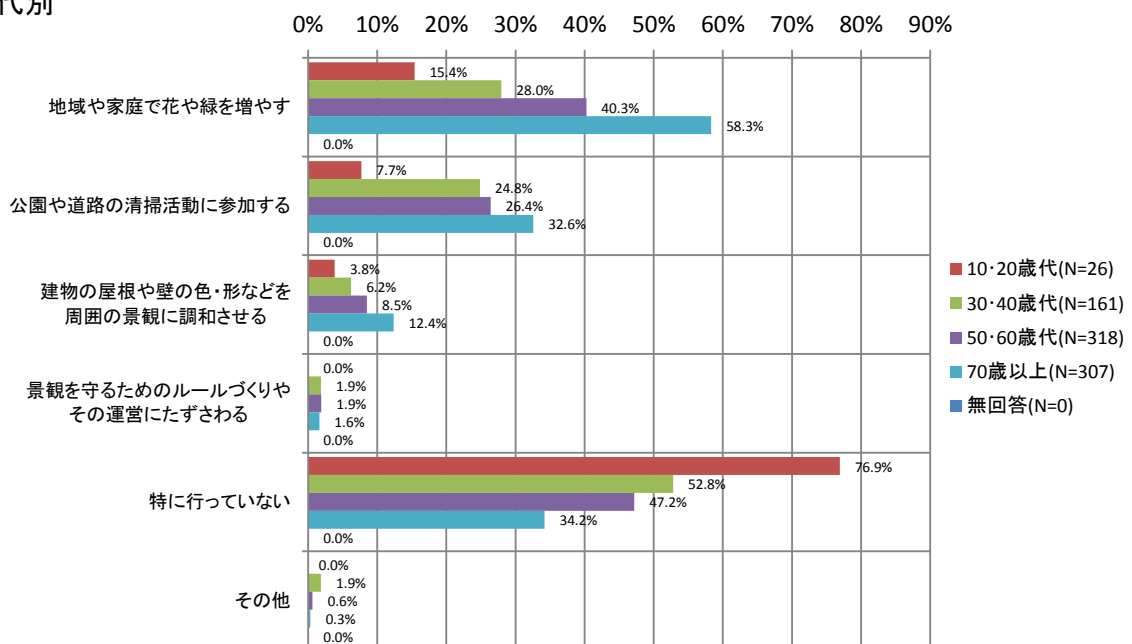


回答=812人、無回答=31人

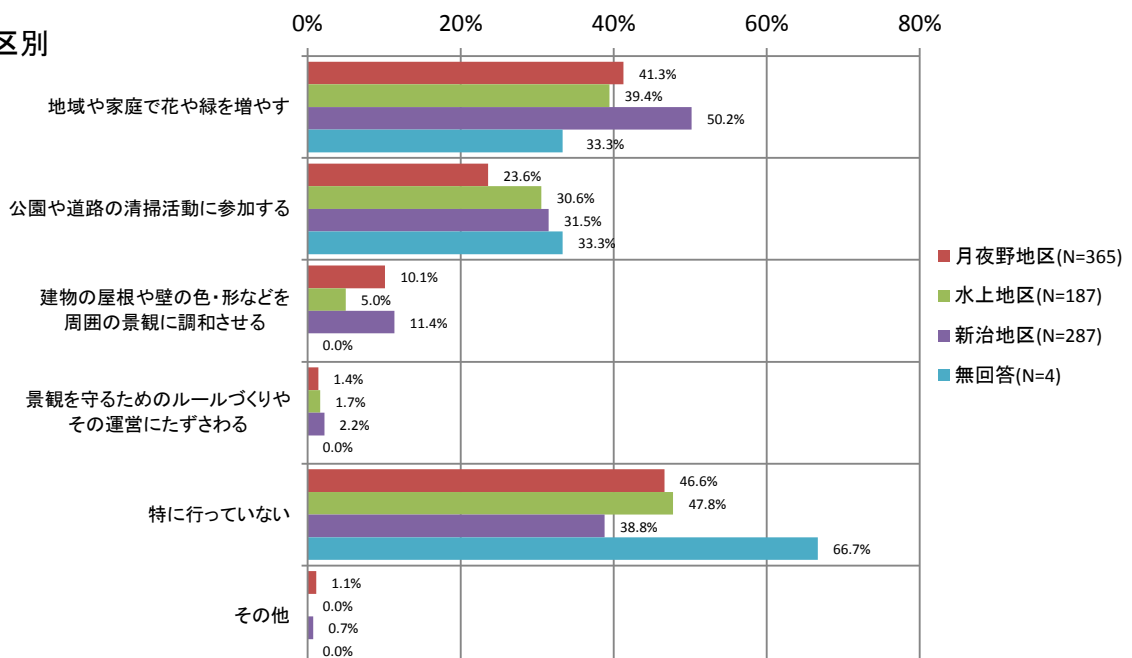
(1) 全体



(2) 年代別

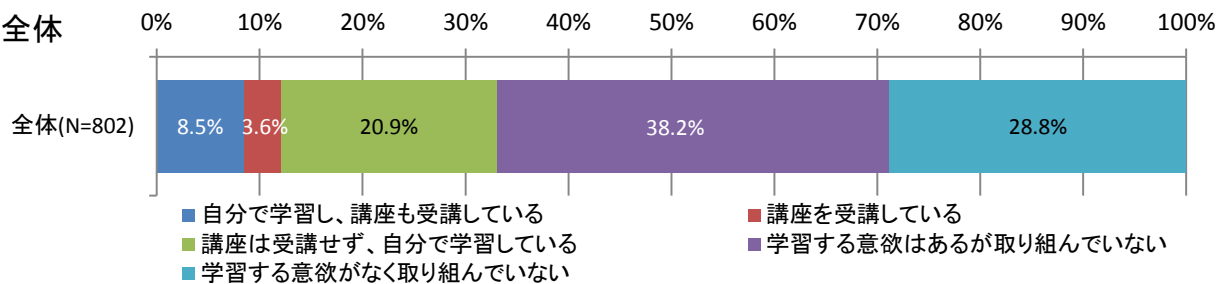


(3) 地区別

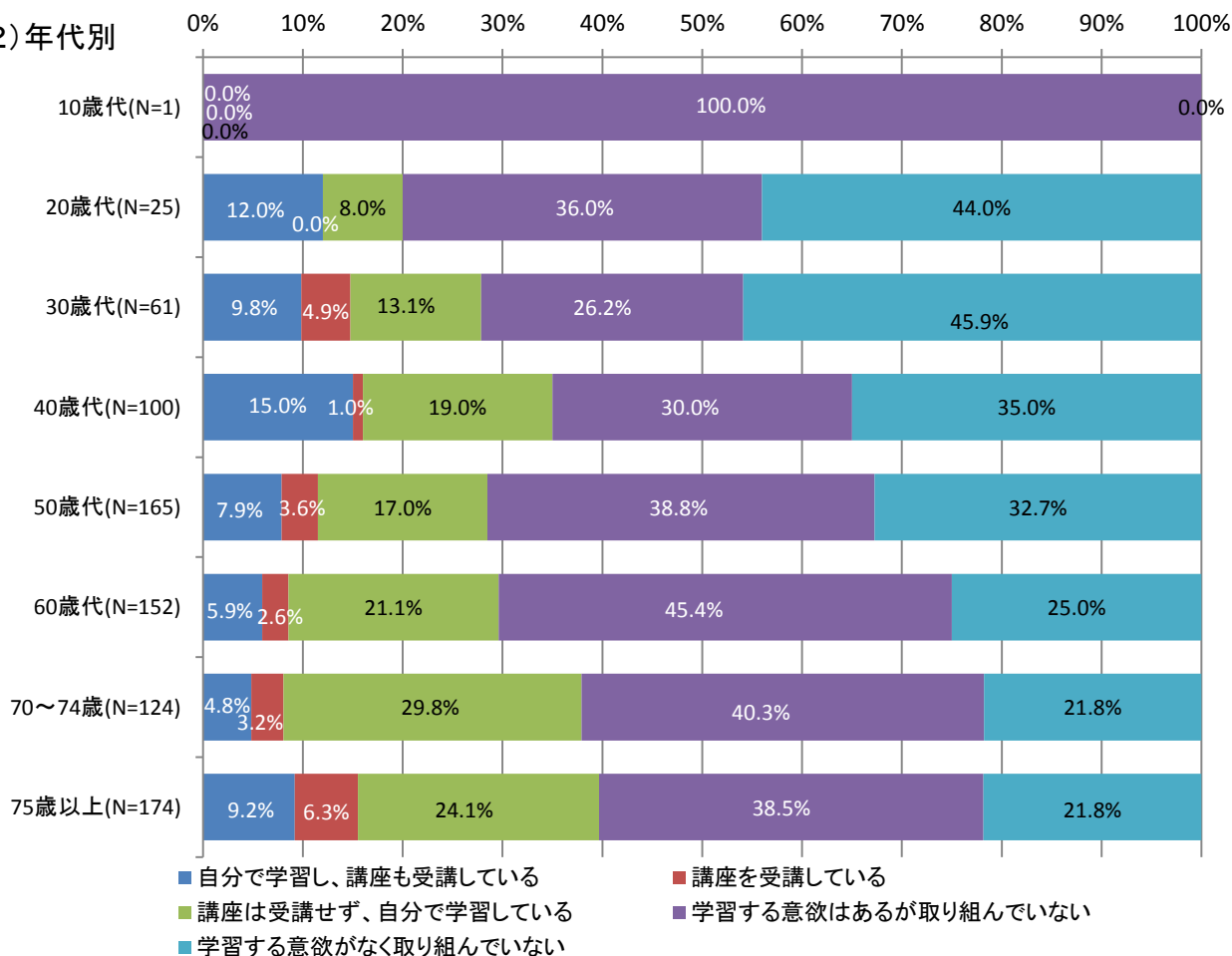


回答=802人、無回答・多重回答=41人

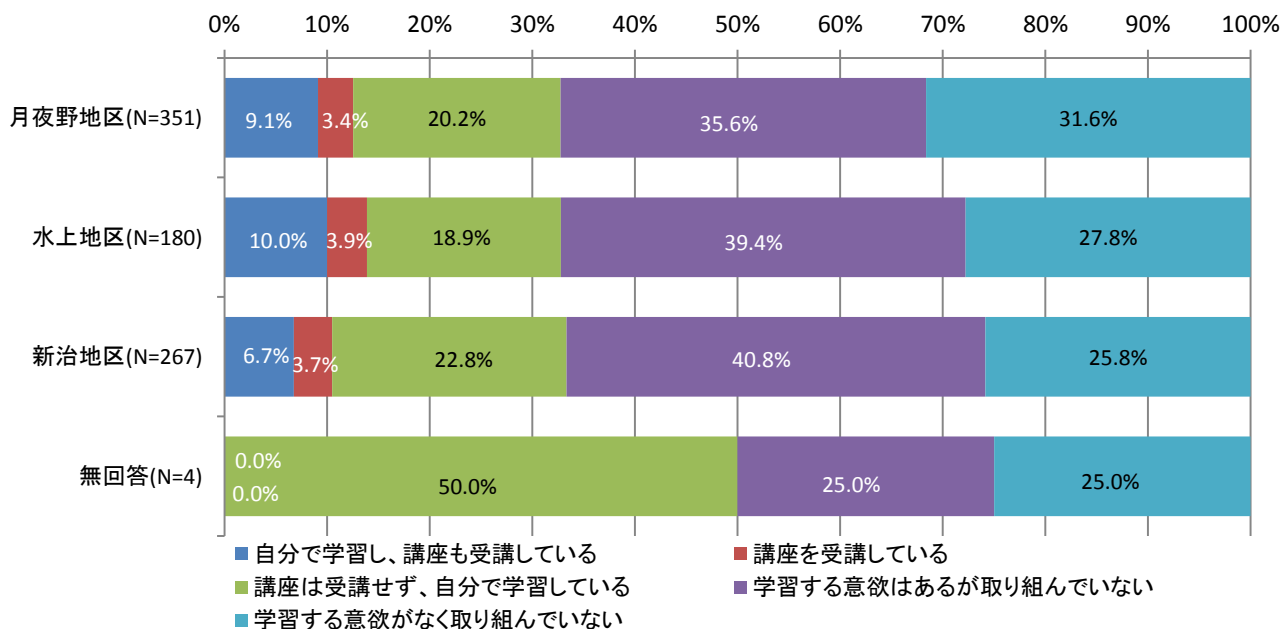
(1) 全体



(2) 年代別

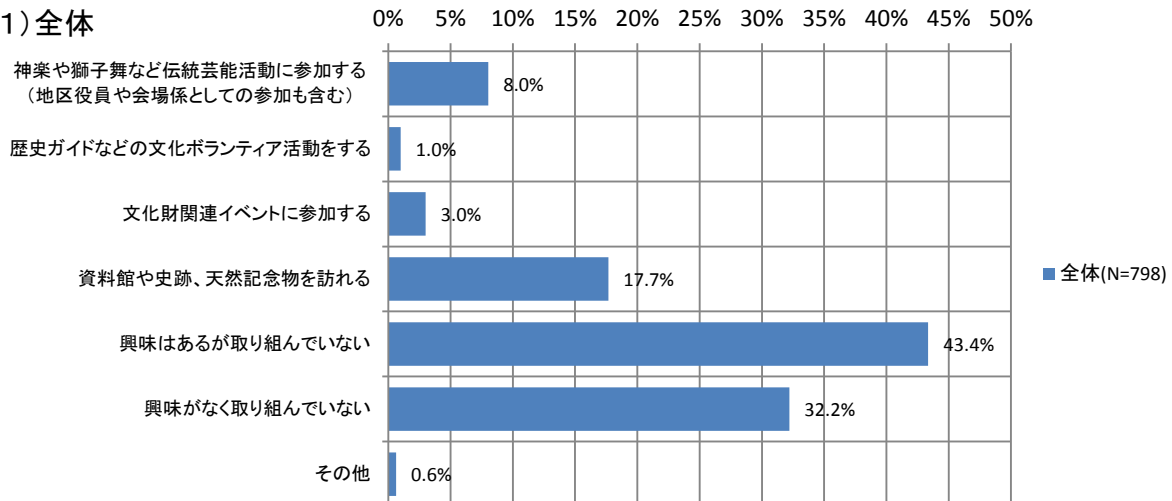


(3) 地区別

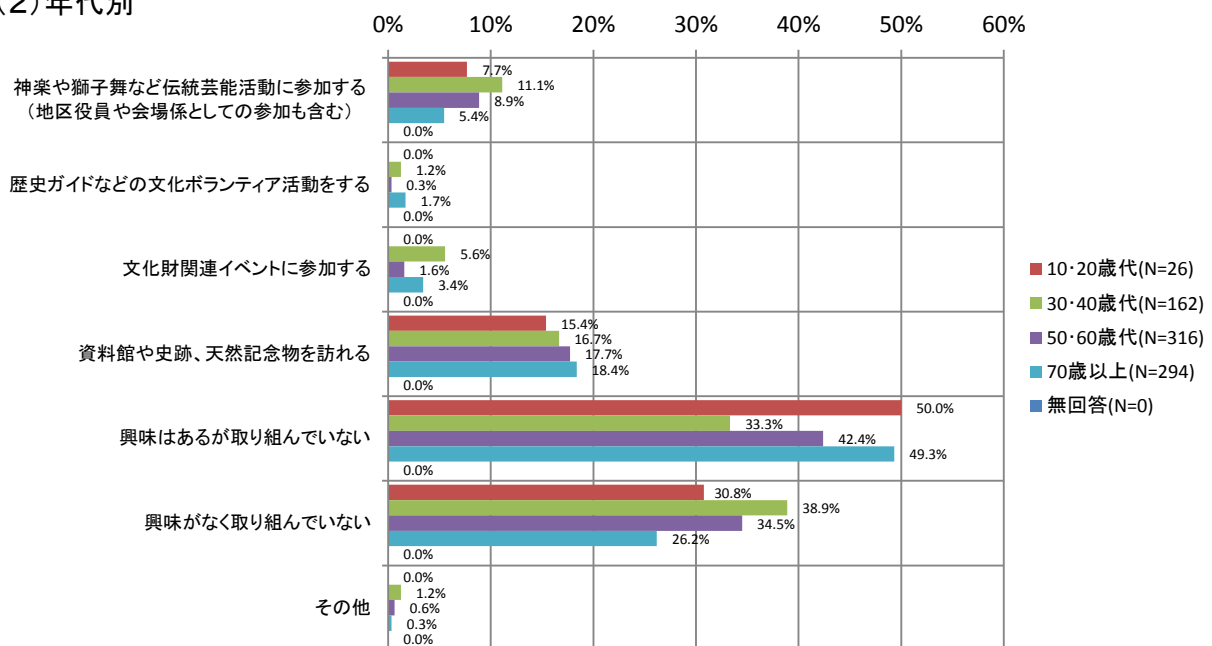


回答=798人、無回答=45人

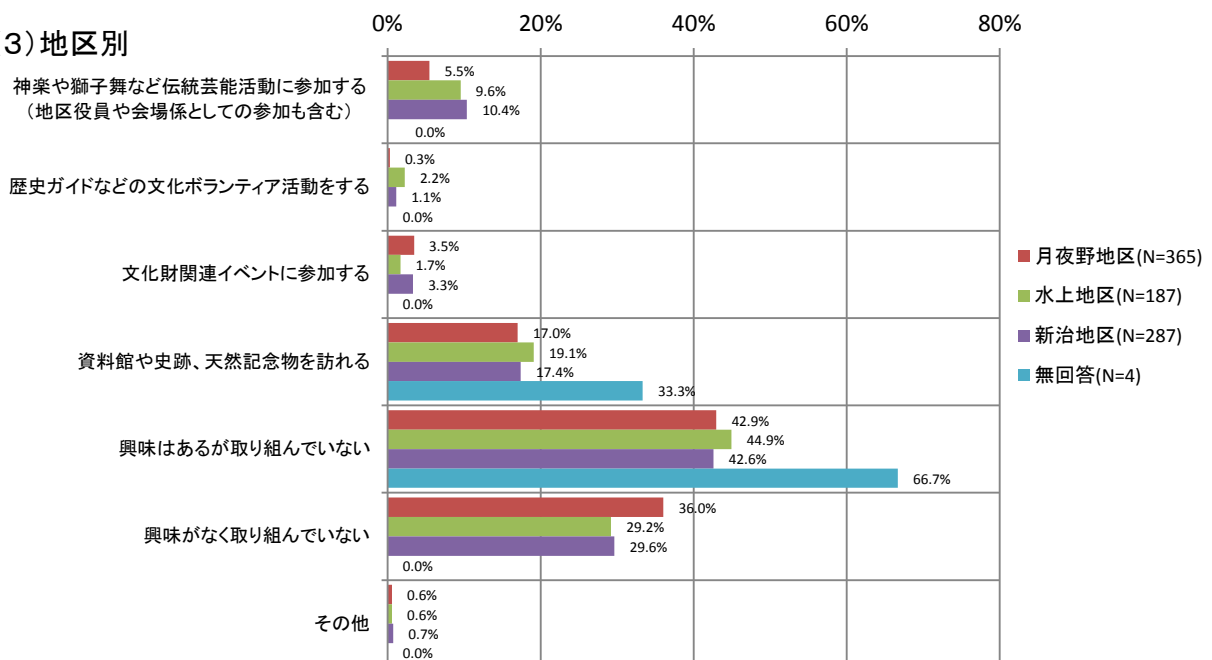
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別

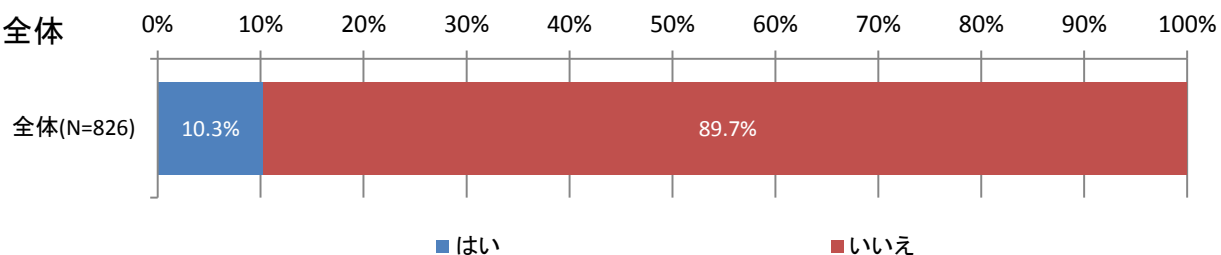


23-1

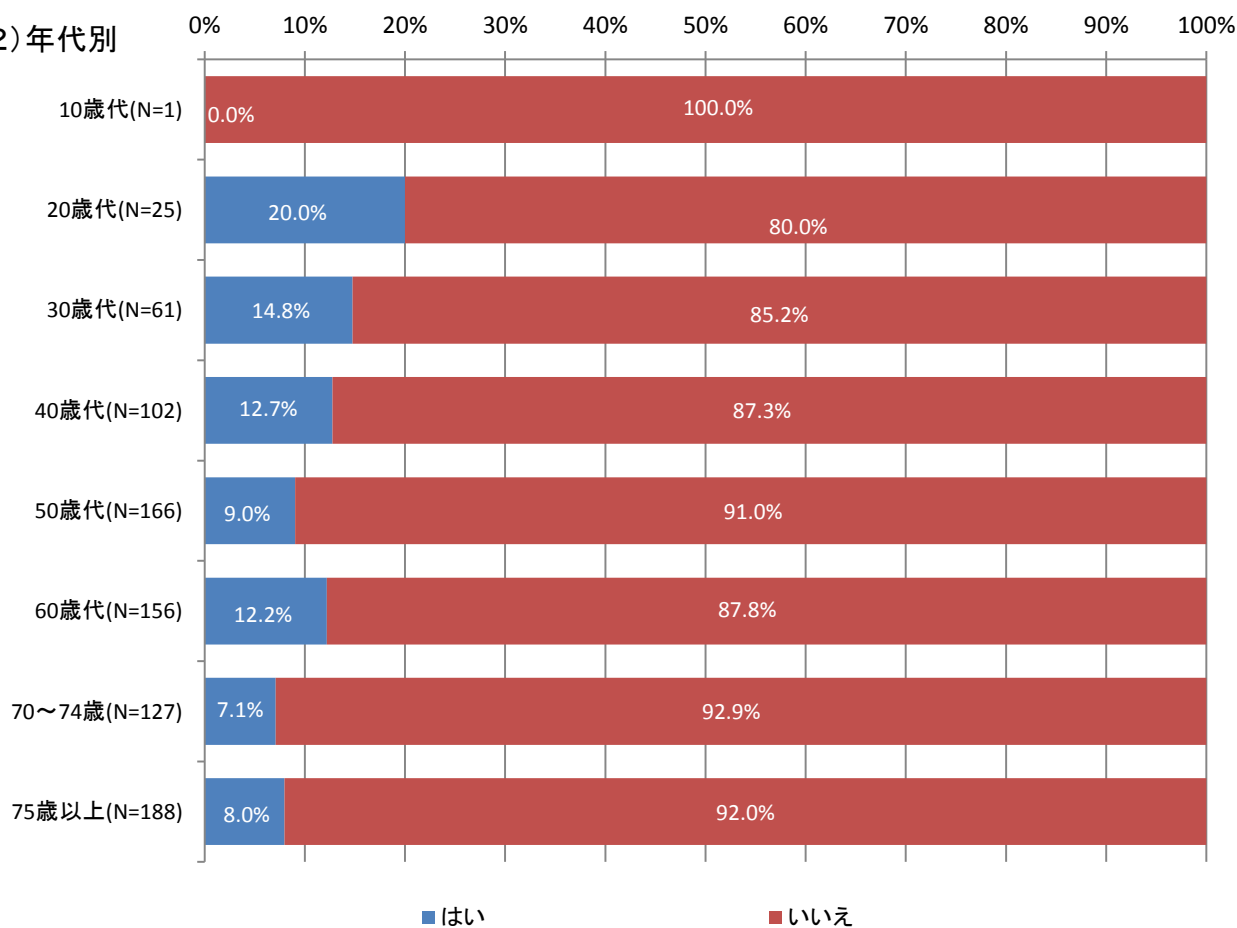
過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいけない思いをしたことがありますか。

回答=826人、無回答・多重回答=17人

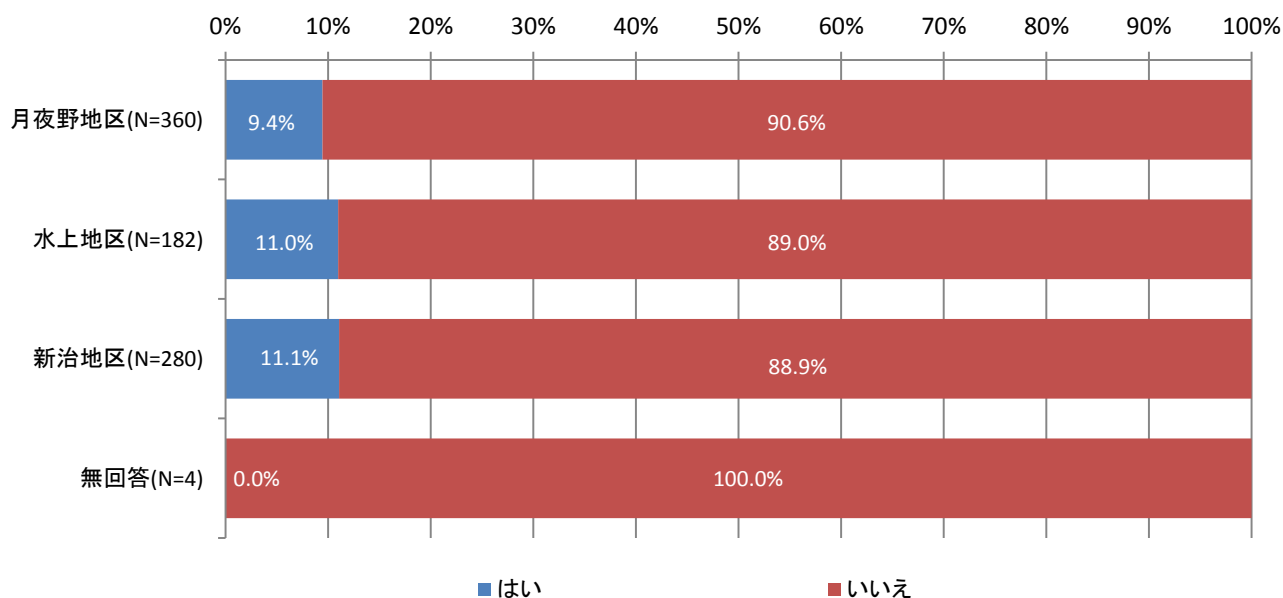
(1) 全体



(2) 年代別



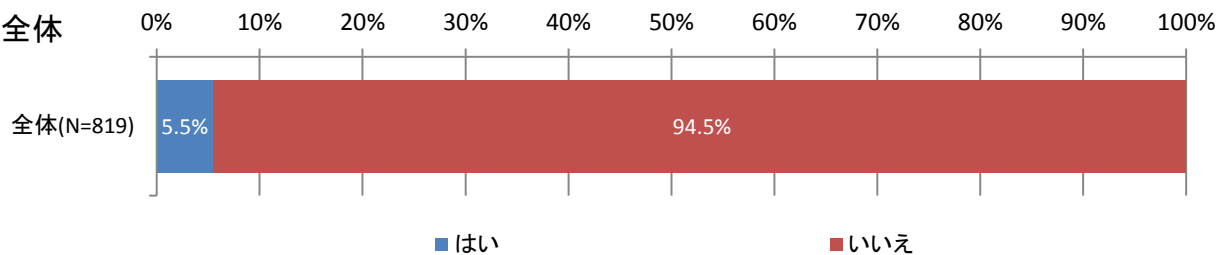
(3) 地区別



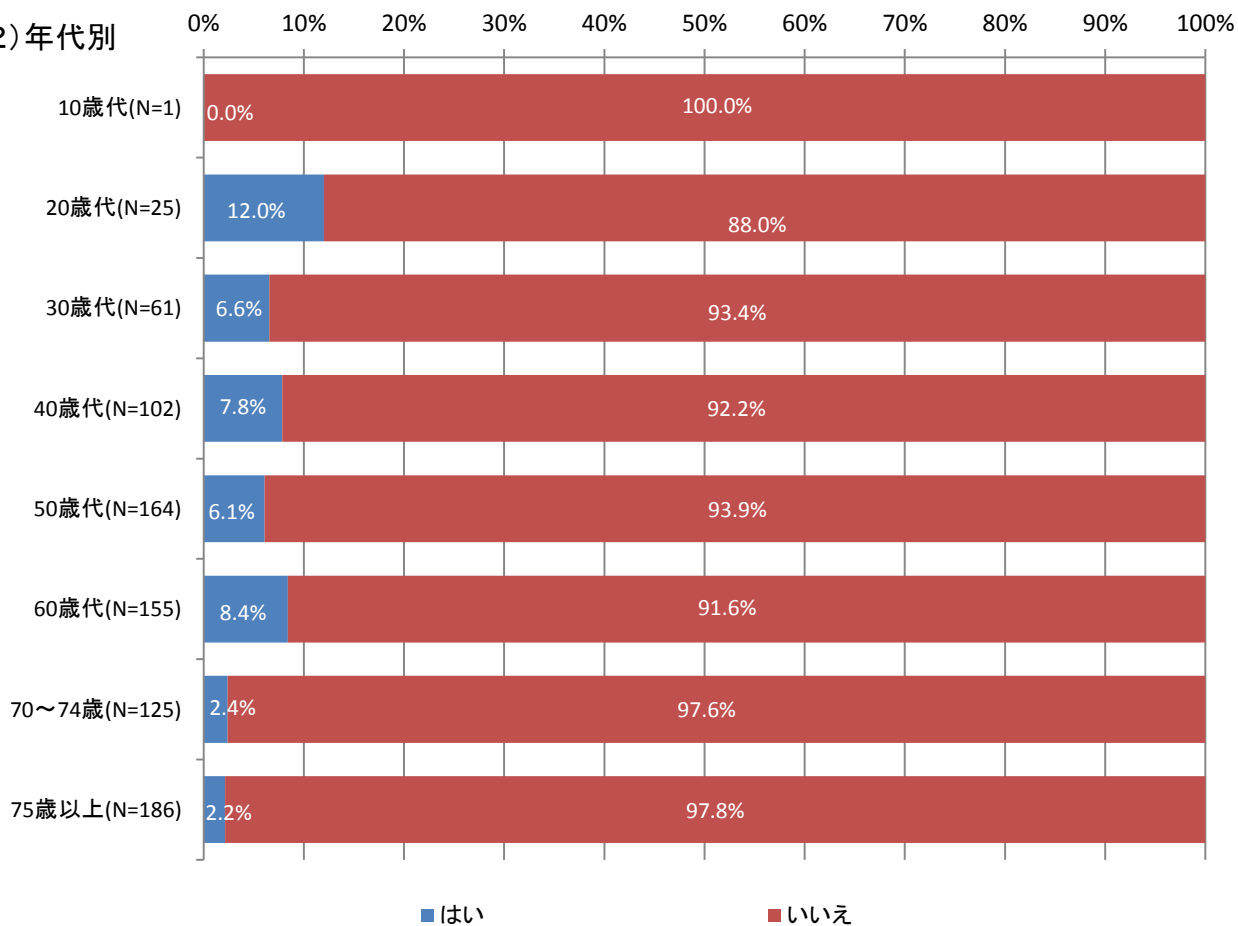
23-2 過去1年間に、差別や虐待、名誉毀損などの人権侵害を受けたことがありますか。

回答=819人、無回答・多重回答=24人

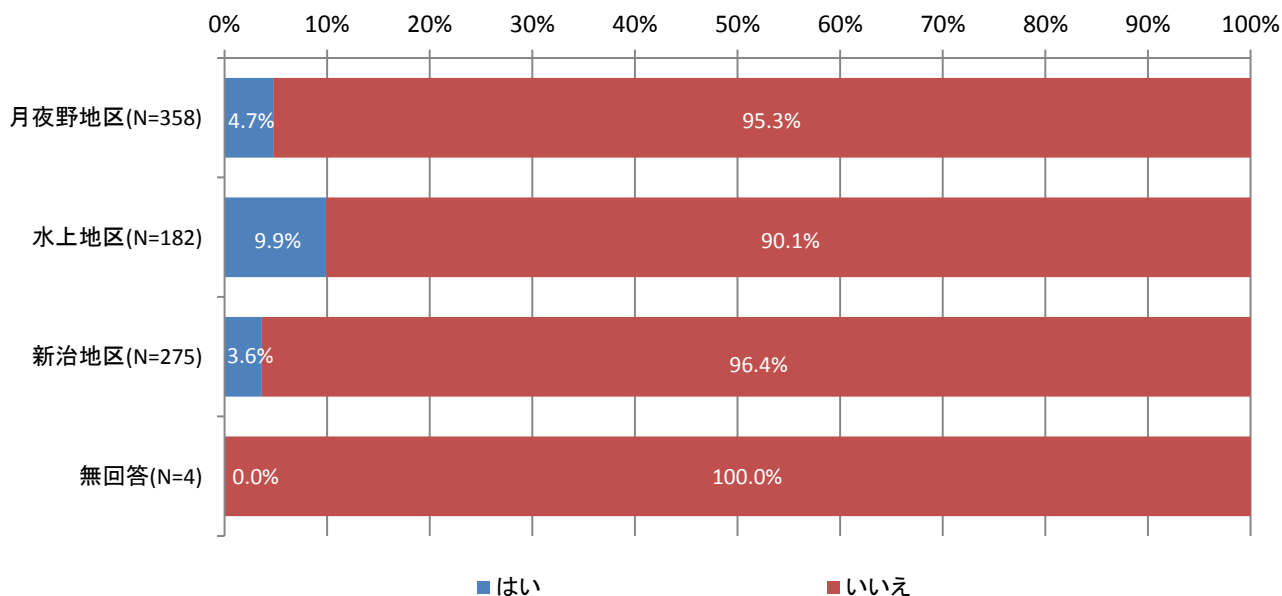
(1) 全体



(2) 年代別

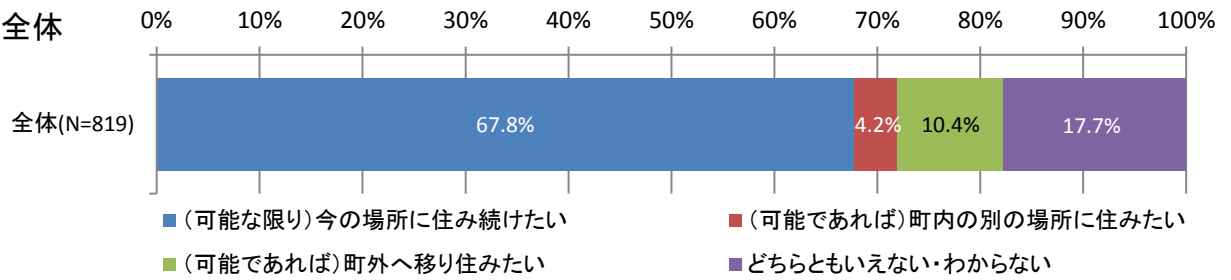


(3) 地区別

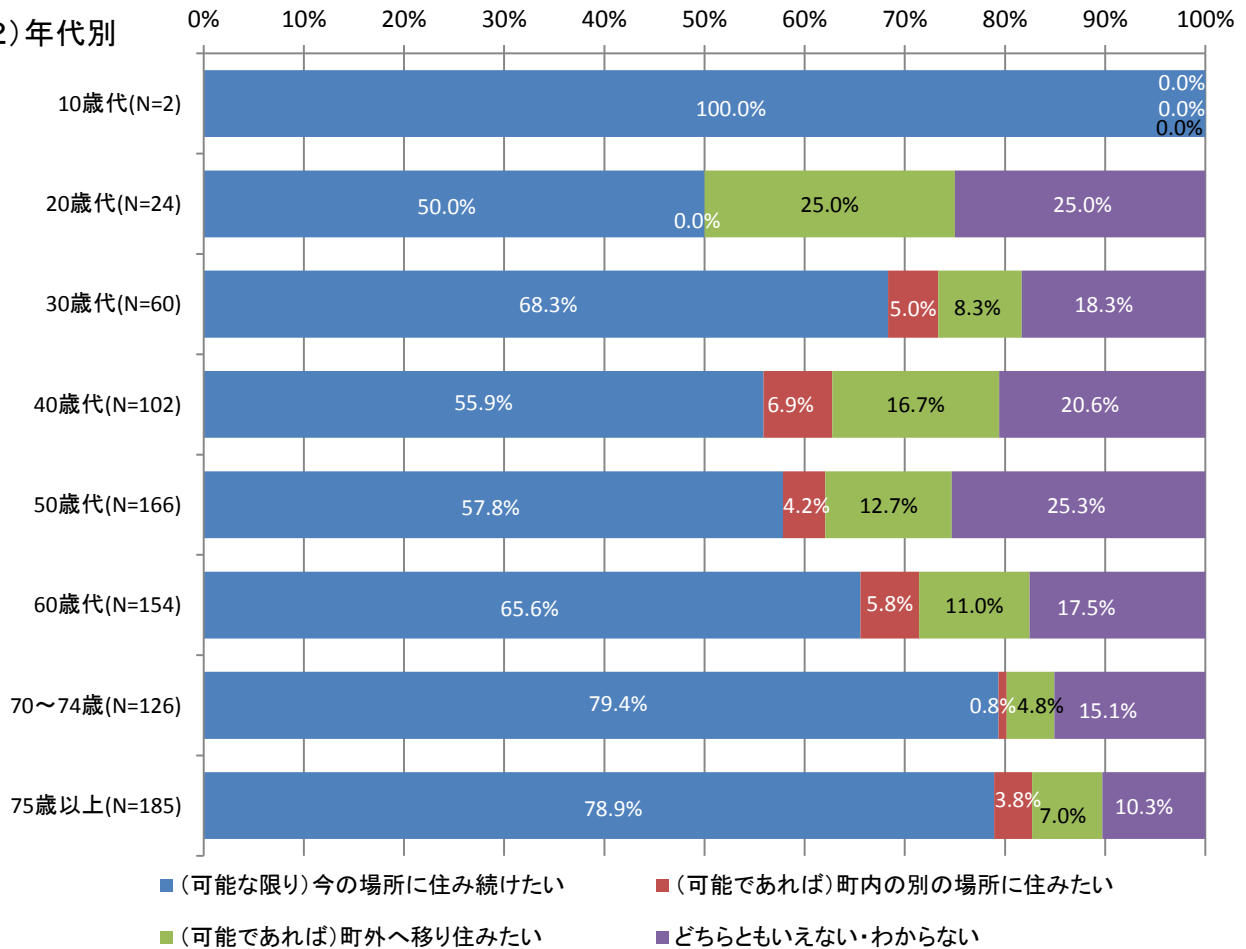


回答=819人、無回答・多重回答=24人

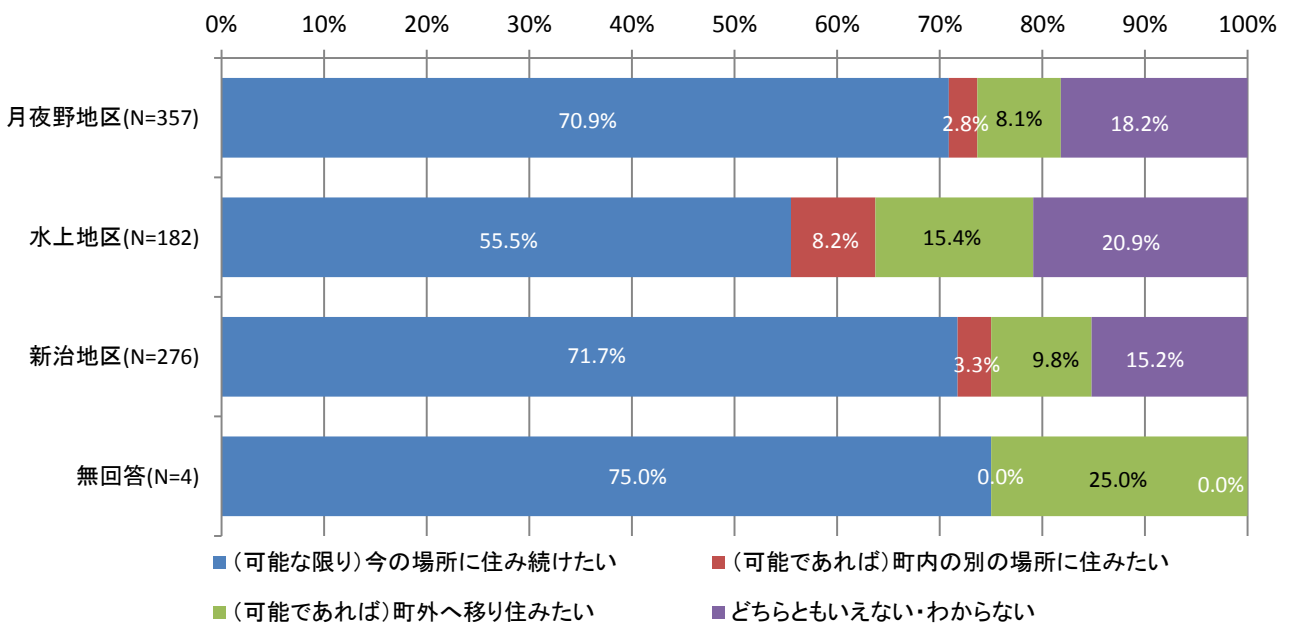
(1) 全体



(2) 年代別



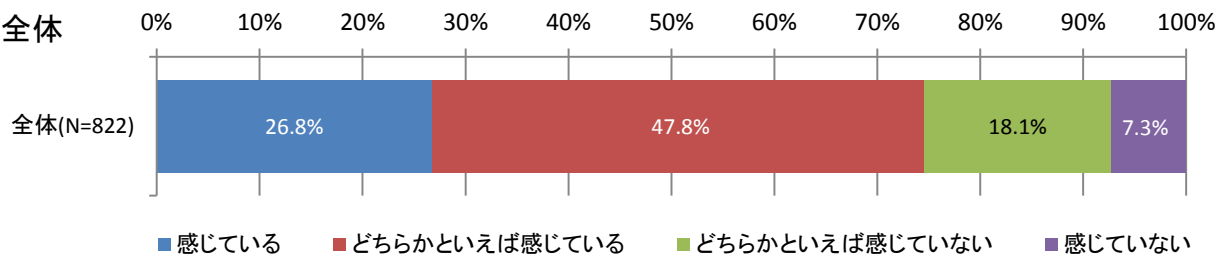
(3) 地区別



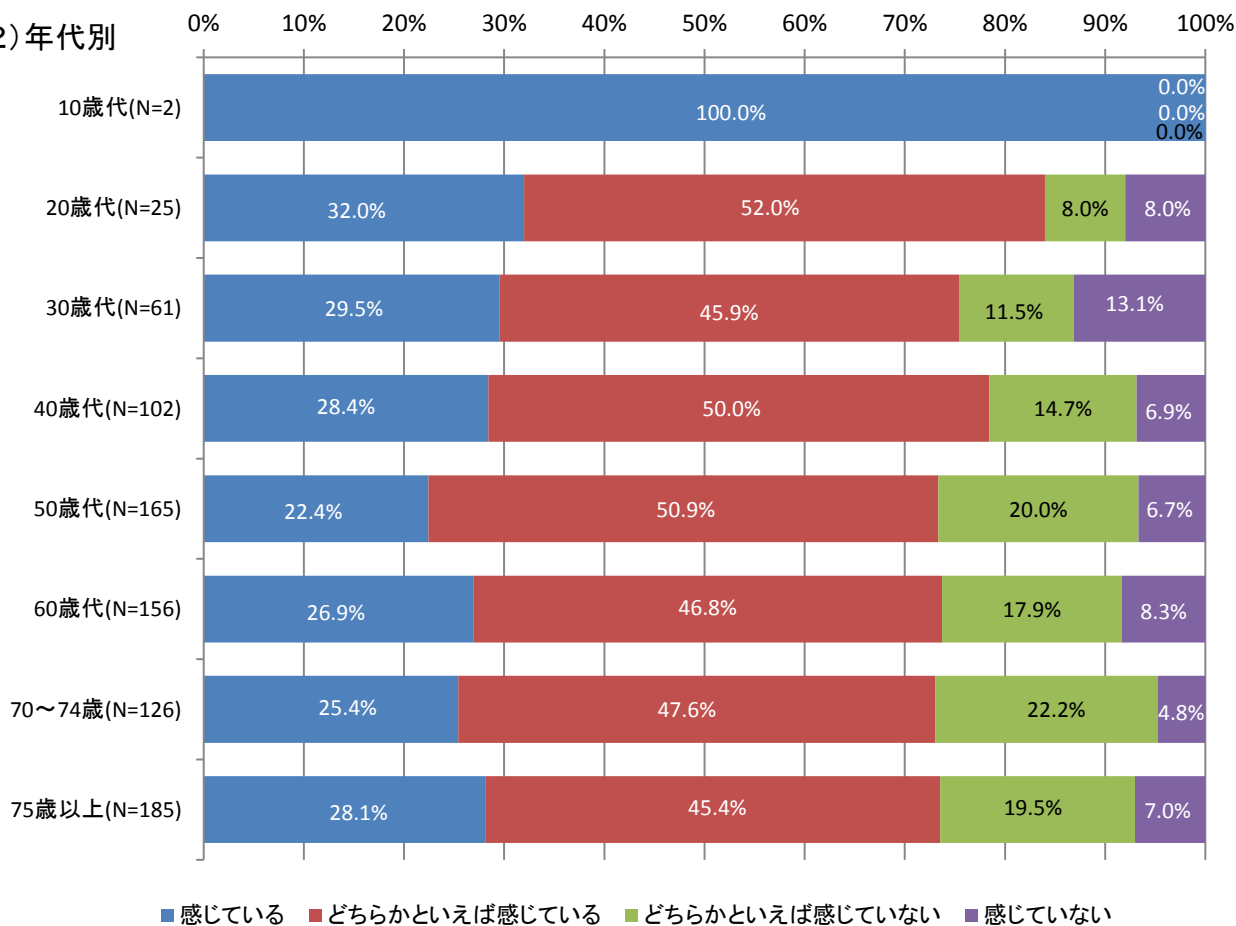
25-1 日常生活で生きがいを感じていますか。

回答=822人、無回答・多重回答=21人

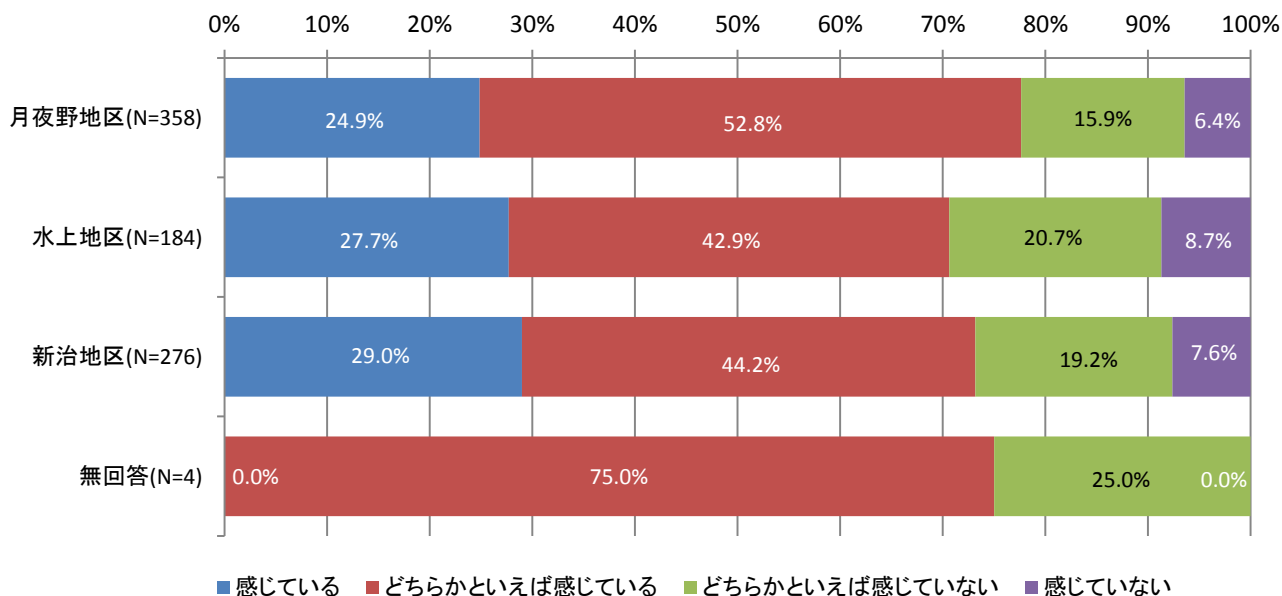
(1) 全体



(2) 年代別

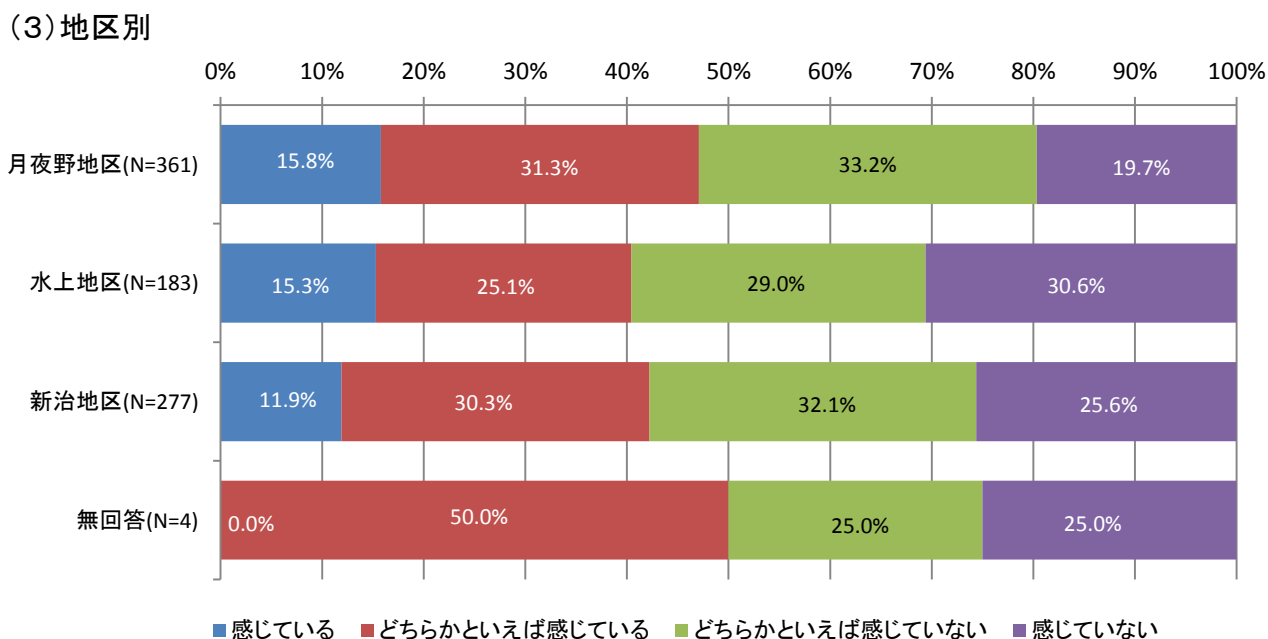
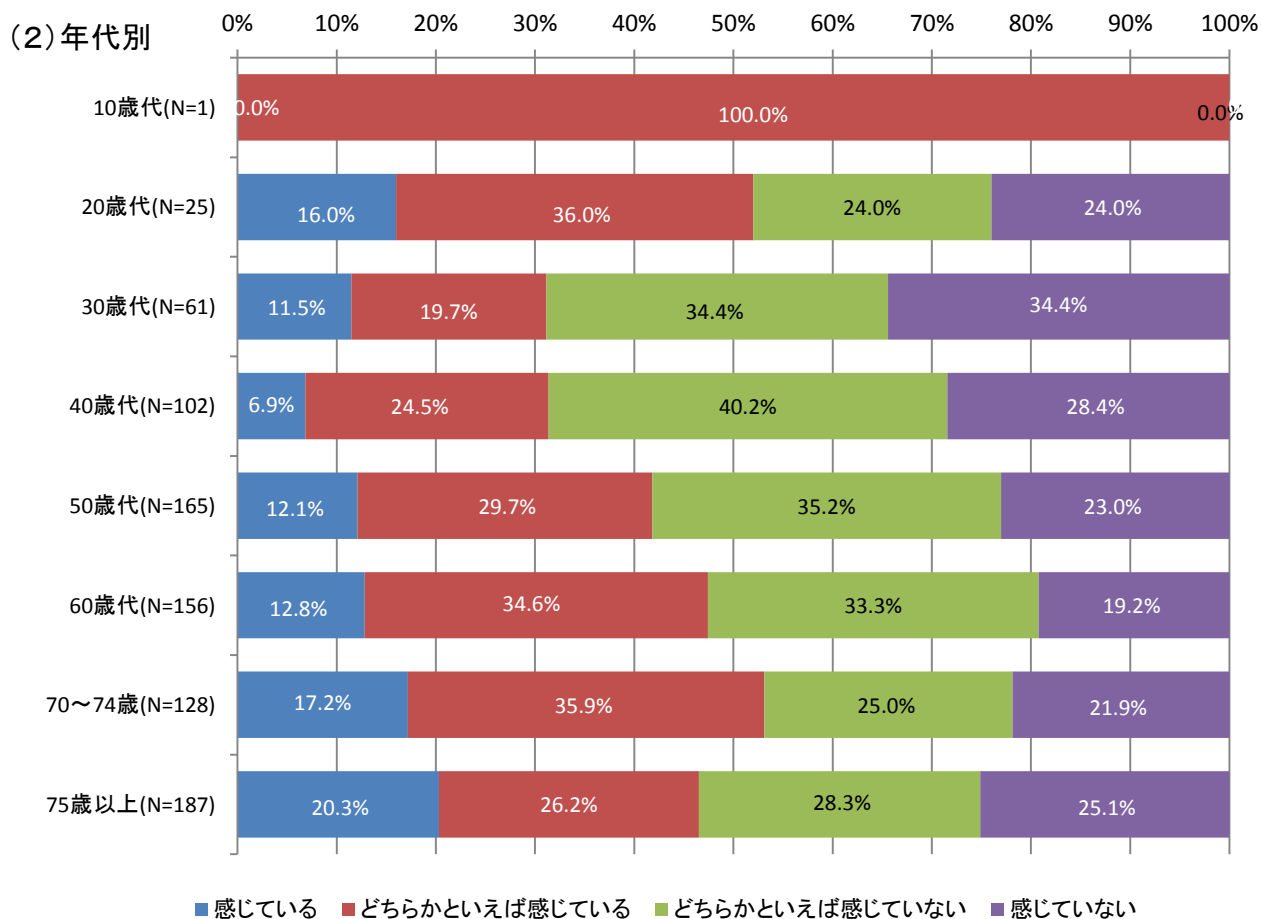
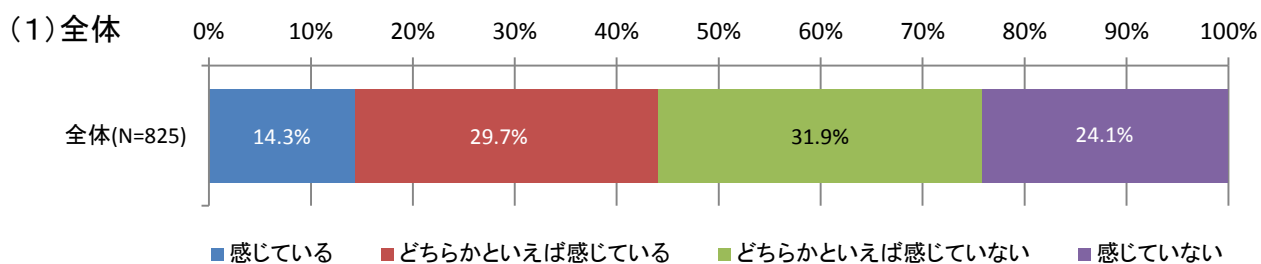


(3) 地区別



25-2 身近で犯罪にあう不安を感じていますか。

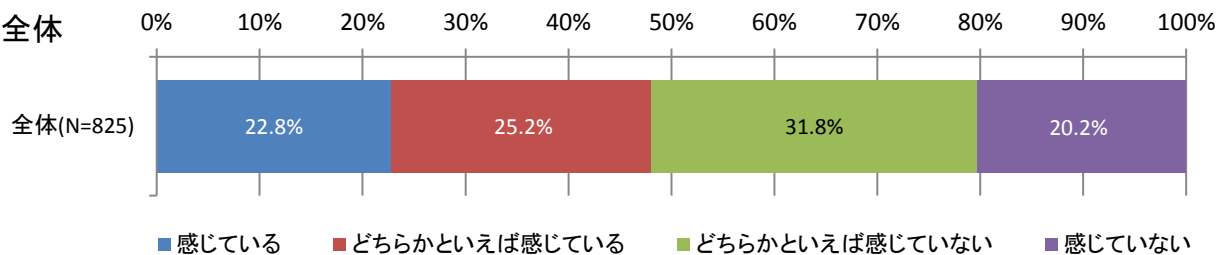
回答=825人、無回答・多重回答=18人



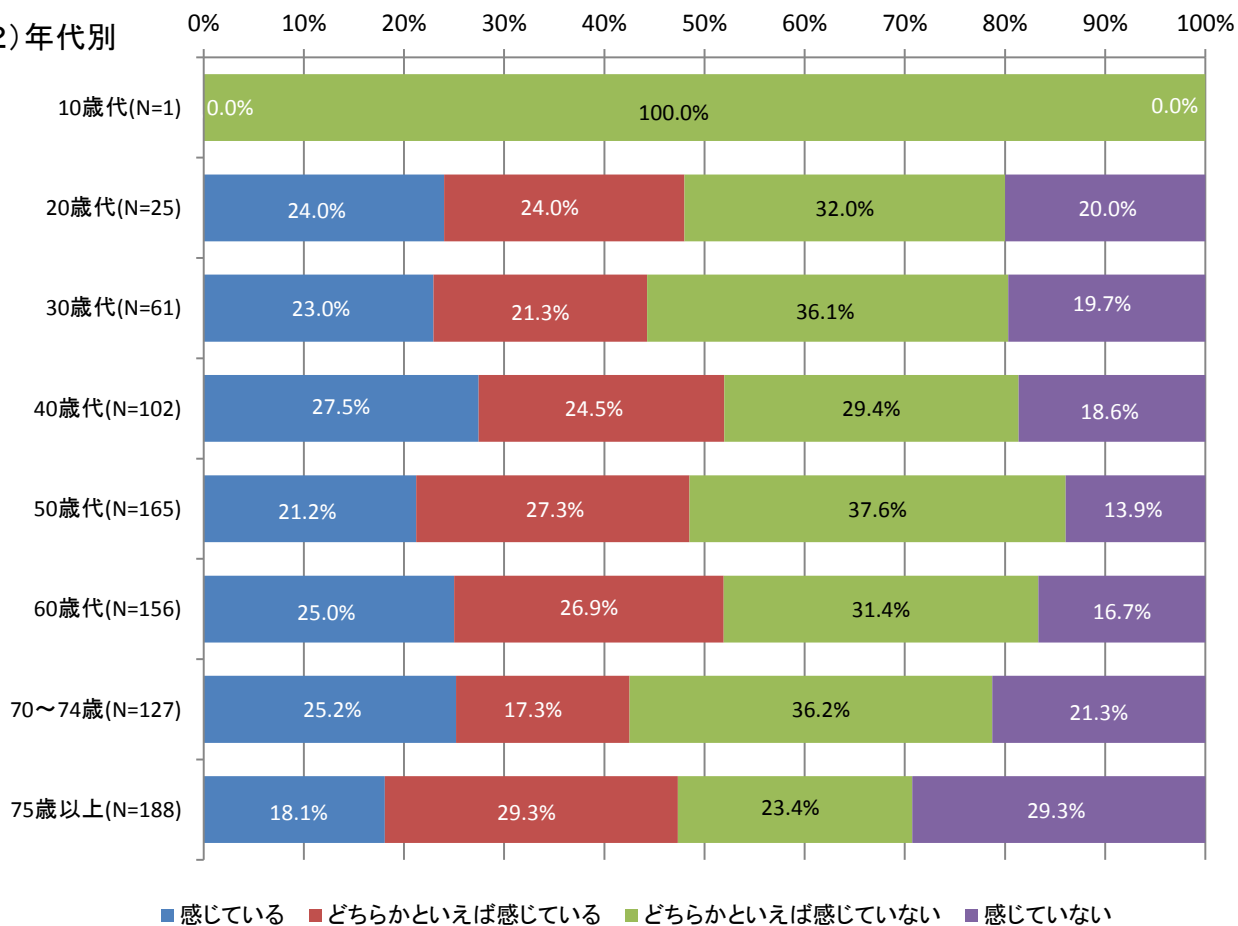
25-3 町内の道路に不便を感じていますか。

回答=825人、無回答・多重回答=18人

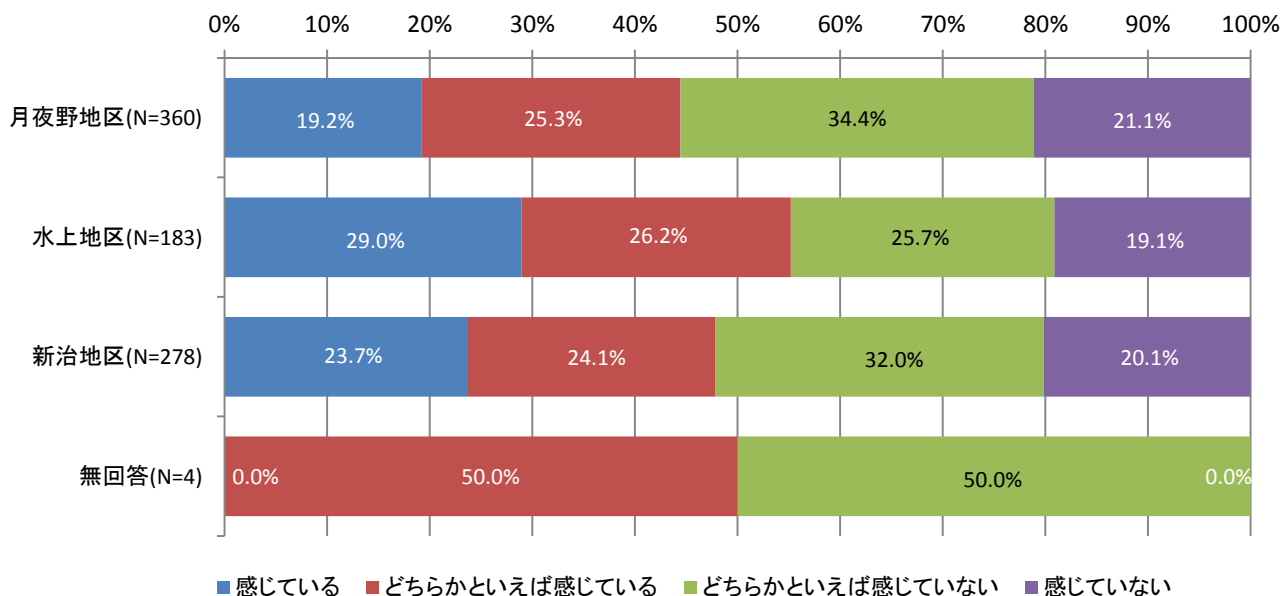
(1) 全体



(2) 年代別



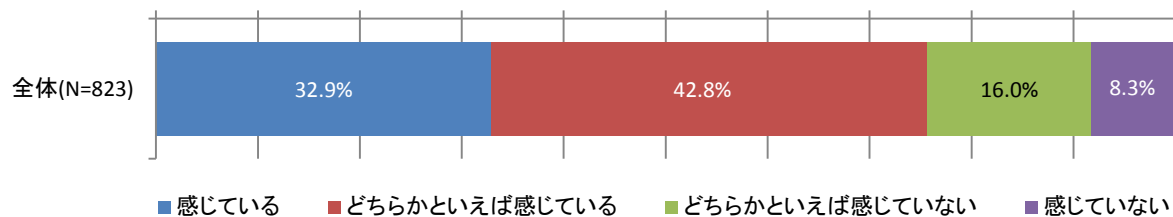
(3) 地区別



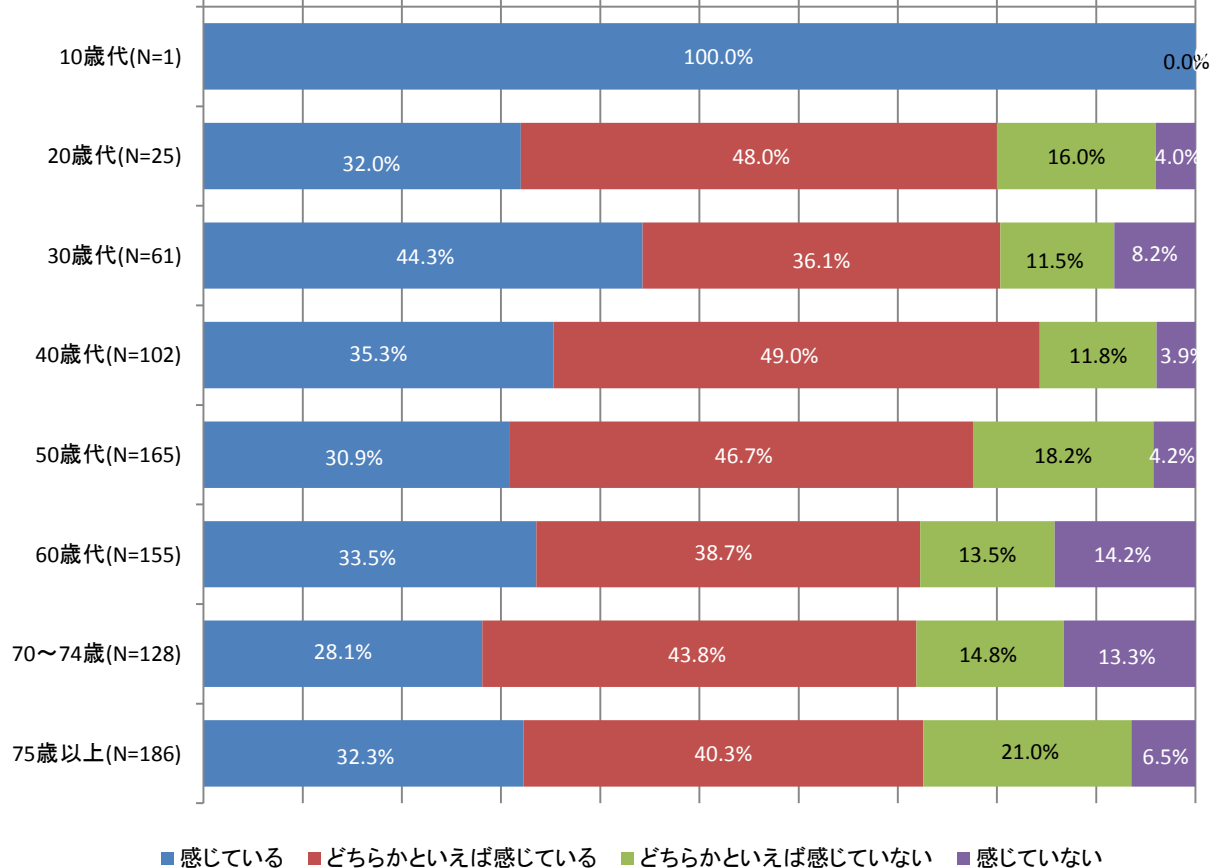
25-4 自分の住む地域が美しい景観であると感じていますか。

回答=823人、無回答・多重回答=20人

(1) 全体 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

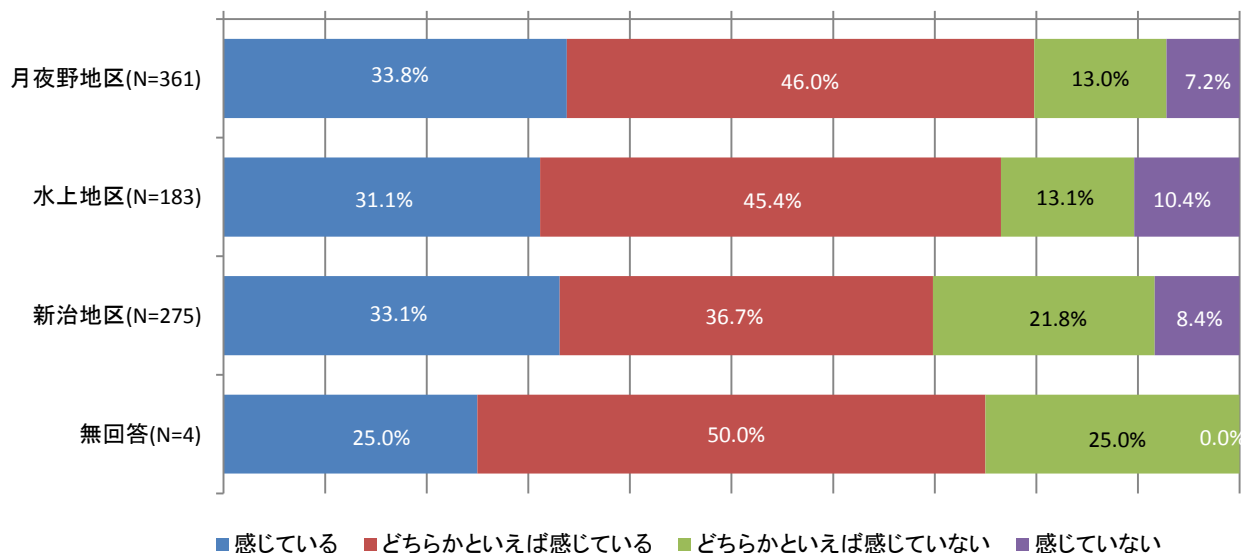


(2) 年代別 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



(3) 地区別

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

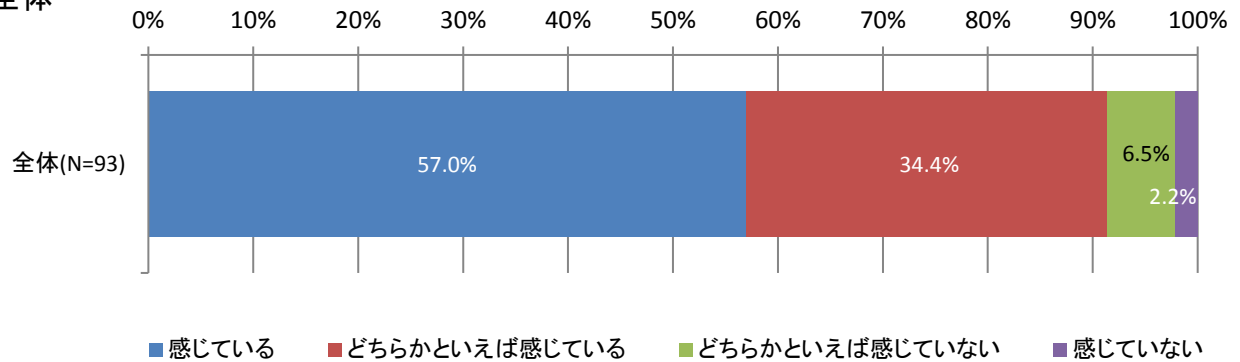


25-5

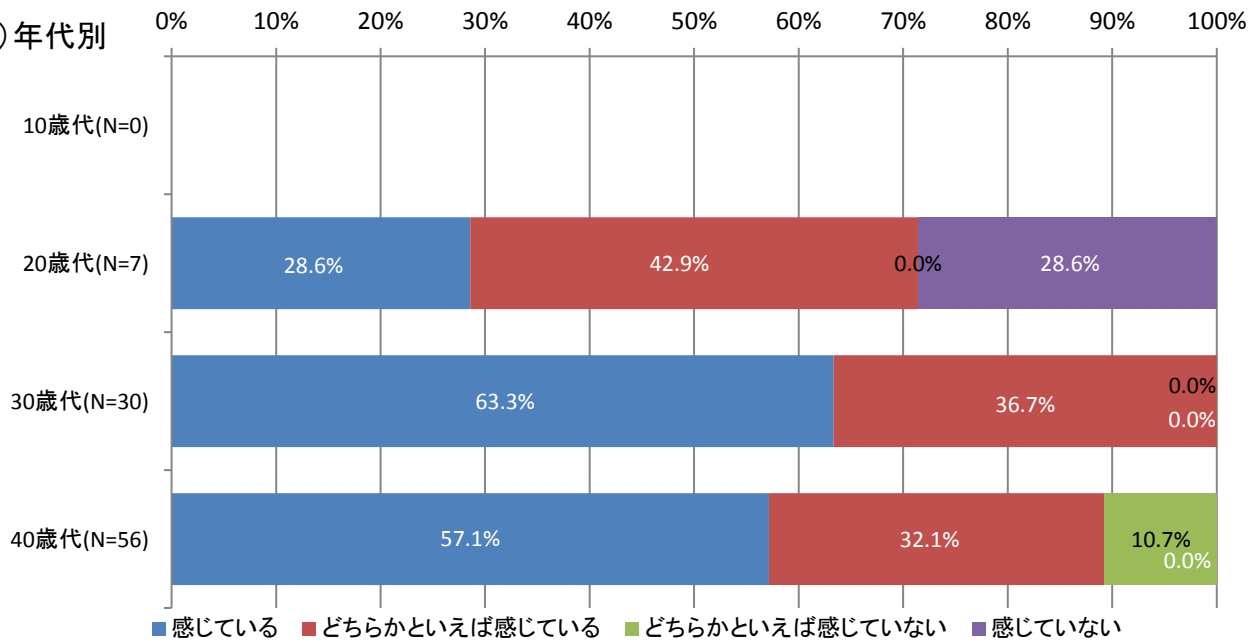
自分のこどもが心身ともに健やかに育っていると感じますか。

回答=93人、無回答・多重回答=97人

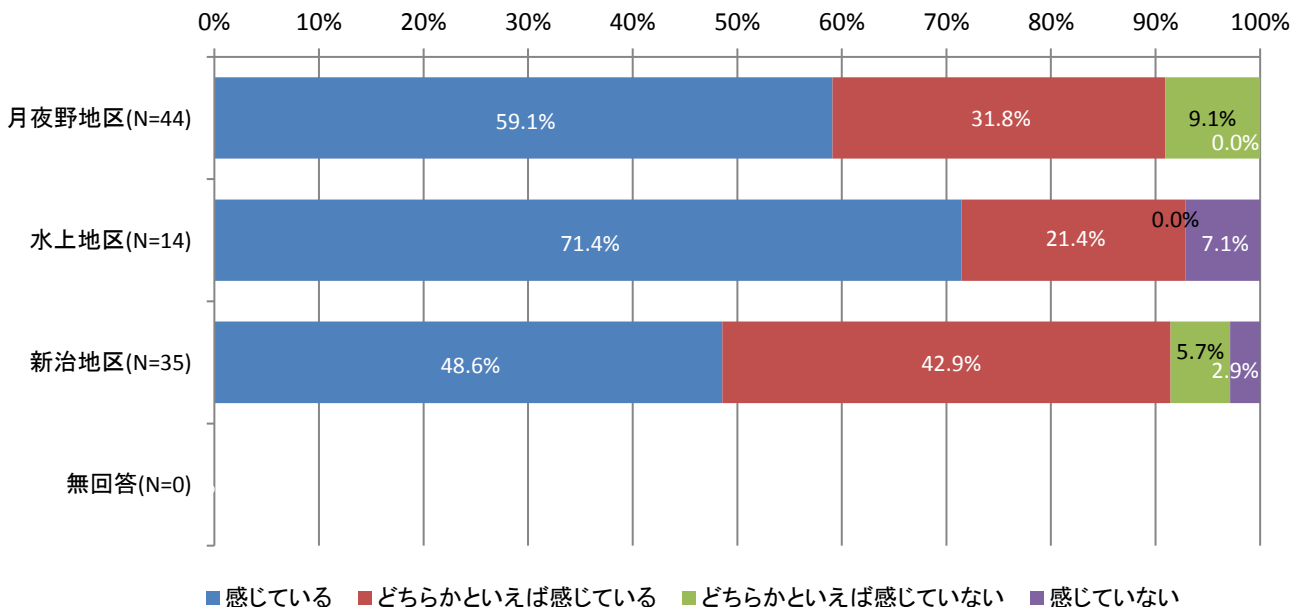
(1) 全体



(2) 年代別

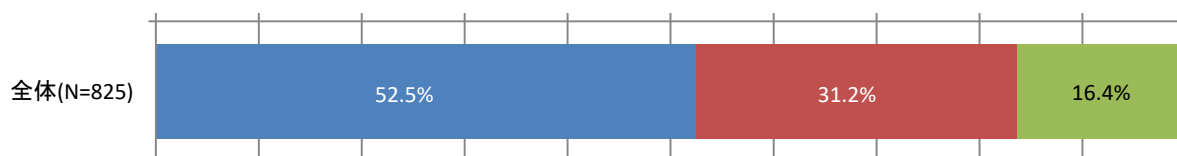


(3) 地区別



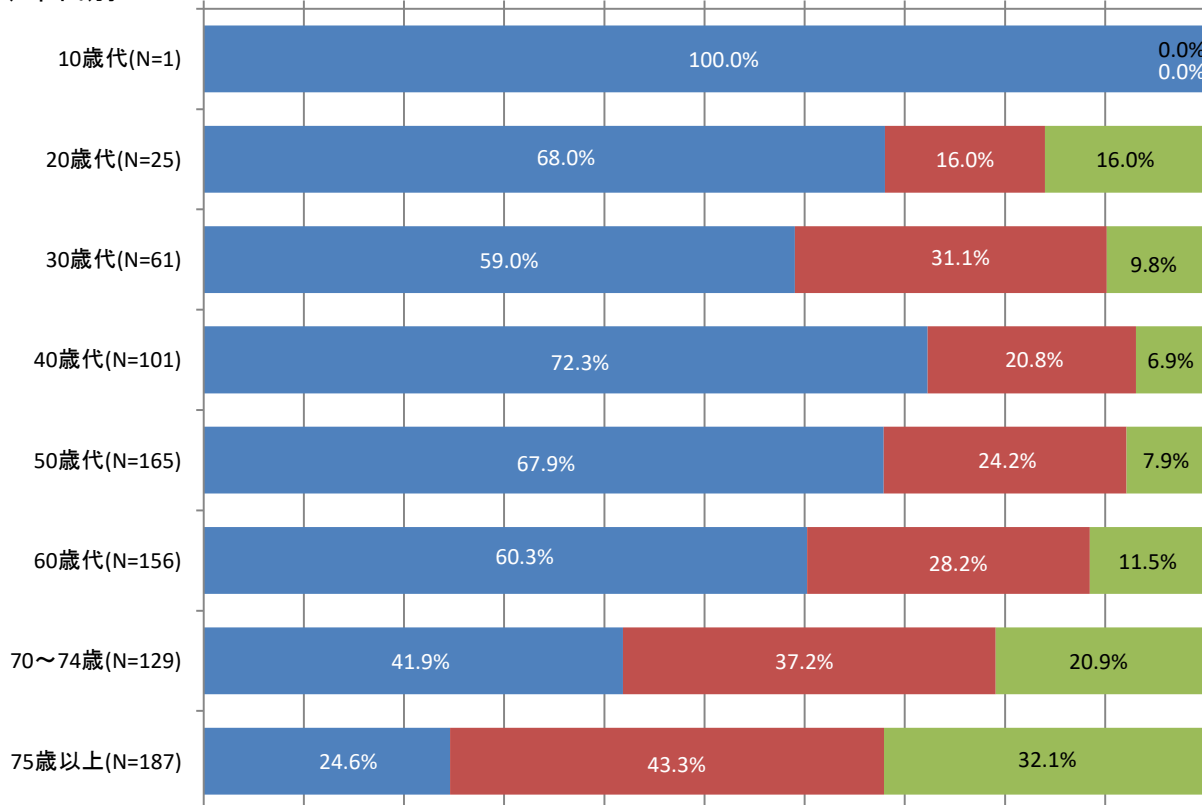
回答=825人、無回答・多重回答=18人

(1) 全体 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 知っている ■ 聞いたことはあるが内容はわからない ■ 知らない

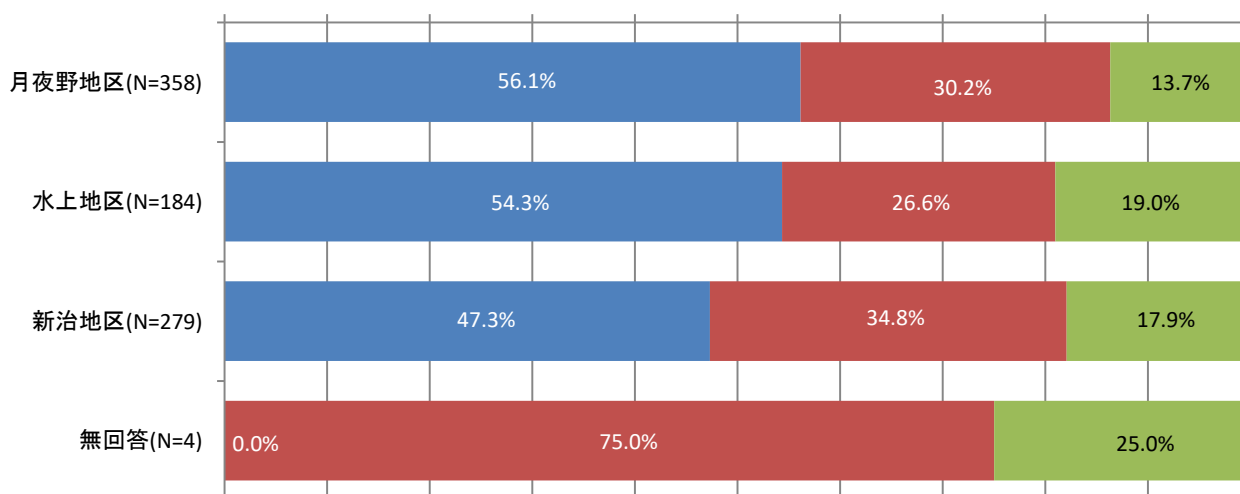
(2) 年代別 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 知っている ■ 聞いたことはあるが内容はわからない ■ 知らない

(3) 地区別

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 知っている ■ 聞いたことはあるが内容はわからない ■ 知らない

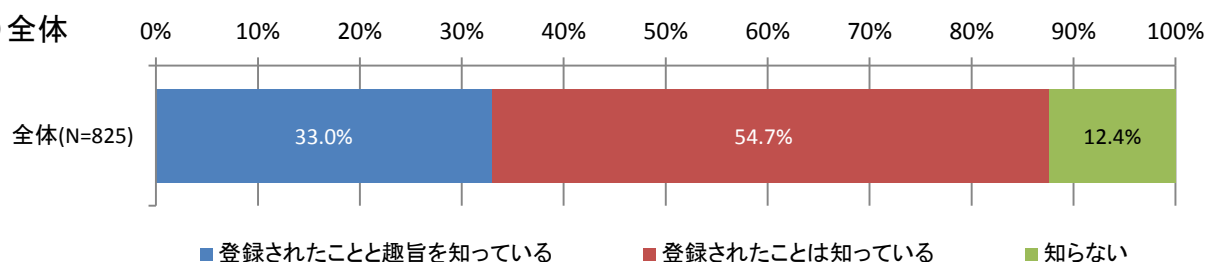
あなたは、町が「ユネスコエコパーク」へ登録されたことを知っていますか。

27

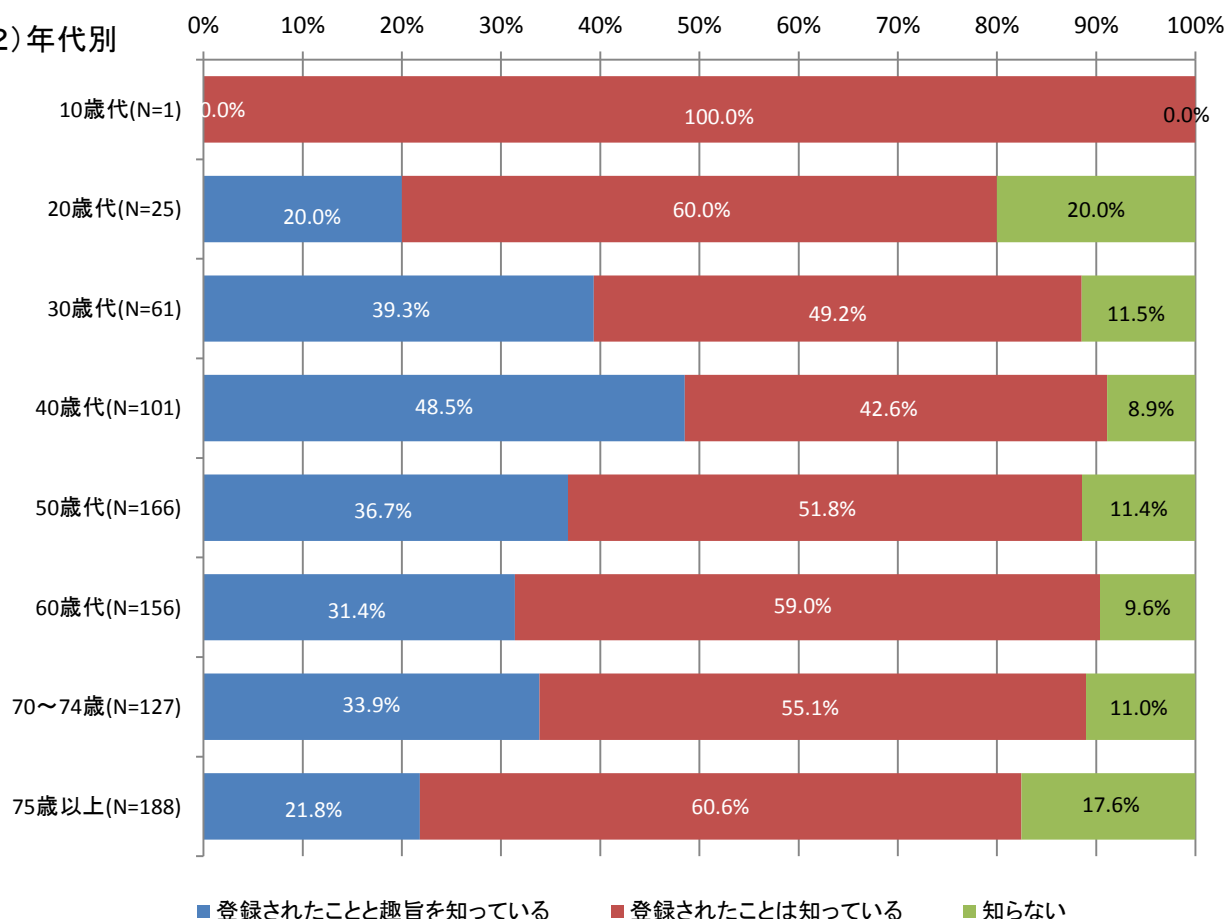
また、「ユネスコエコパーク」の趣旨（自然と人間社会が共生する持続可能なまちづくりに率先して取り組む地域をユネスコが認定する）についても知っていますか。

回答=825人、無回答・多重回答=18人

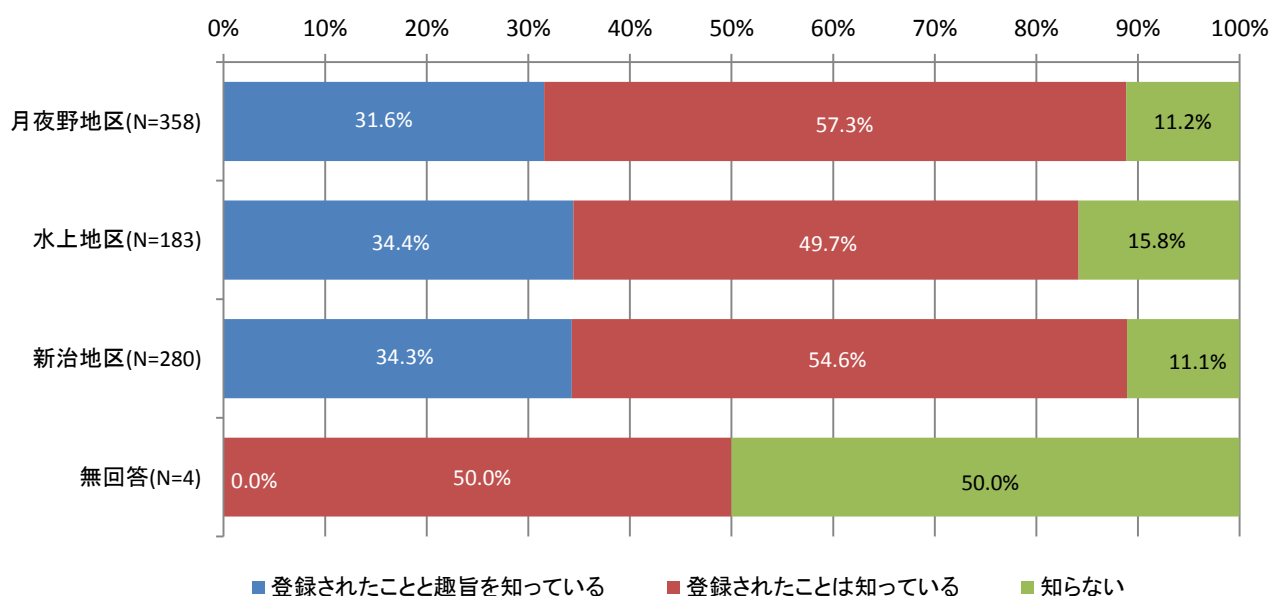
(1) 全体



(2) 年代別



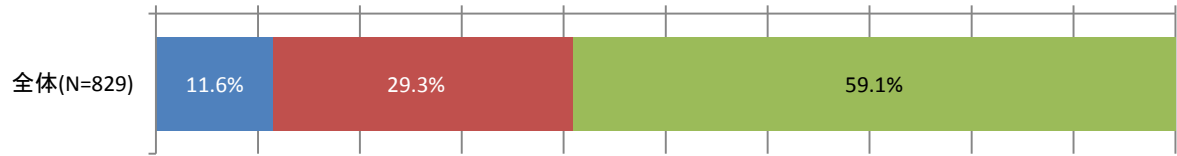
(3) 地区別



28-1 里山などの森林整備や野生動物・植物の保全活動をしている。

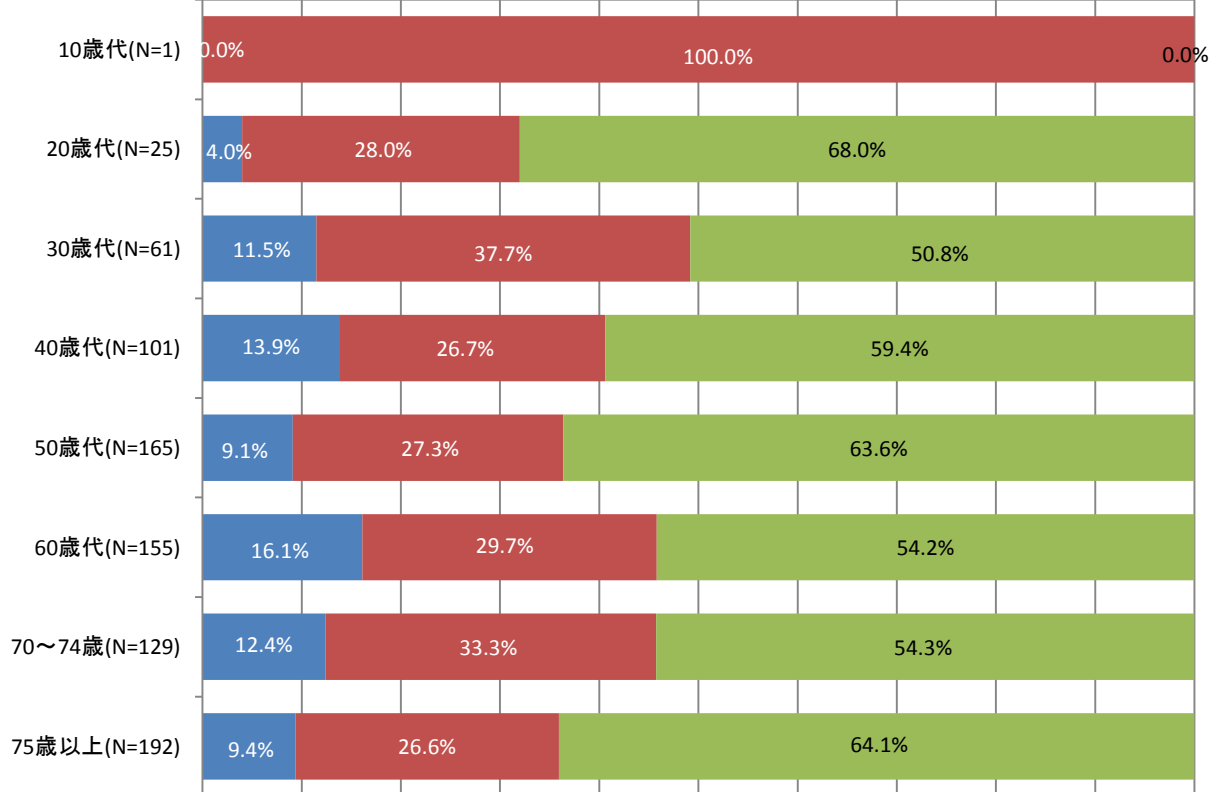
回答=829人、無回答・多重回答=14人

(1) 全体 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ している ■ 興味はあるがしていない ■ していない

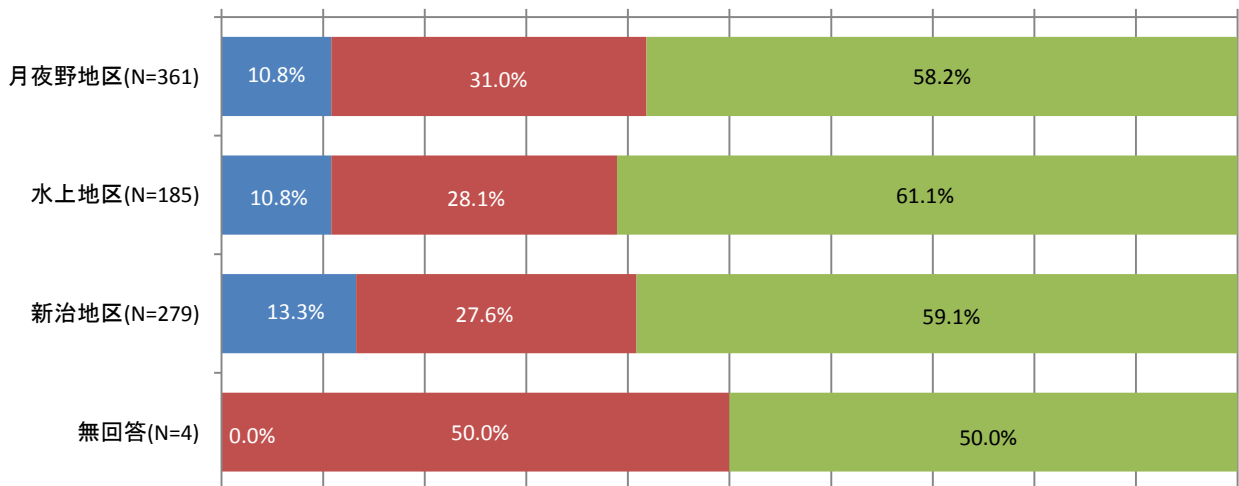
(2) 年代別 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ している ■ 興味はあるがしていない ■ していない

(3) 地区別

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

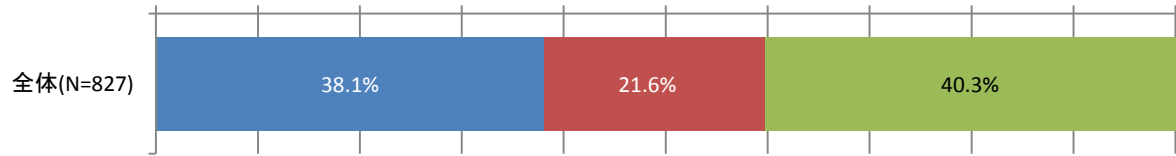


■ している ■ 興味はあるがしていない ■ していない

28-2 自然を活用したりふれあいを楽しんだりしている。

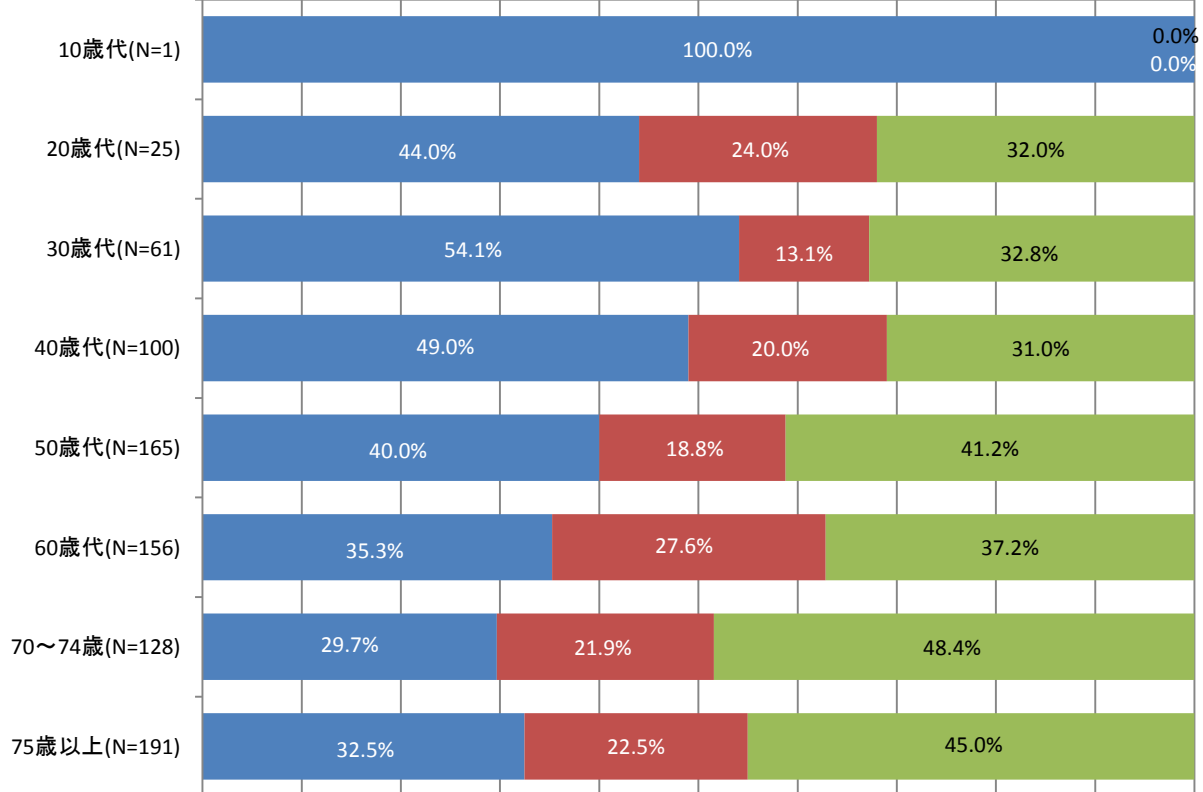
回答=827人、無回答・多重回答=16人

(1) 全体 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ している ■ 興味はあるがしていない ■ していない

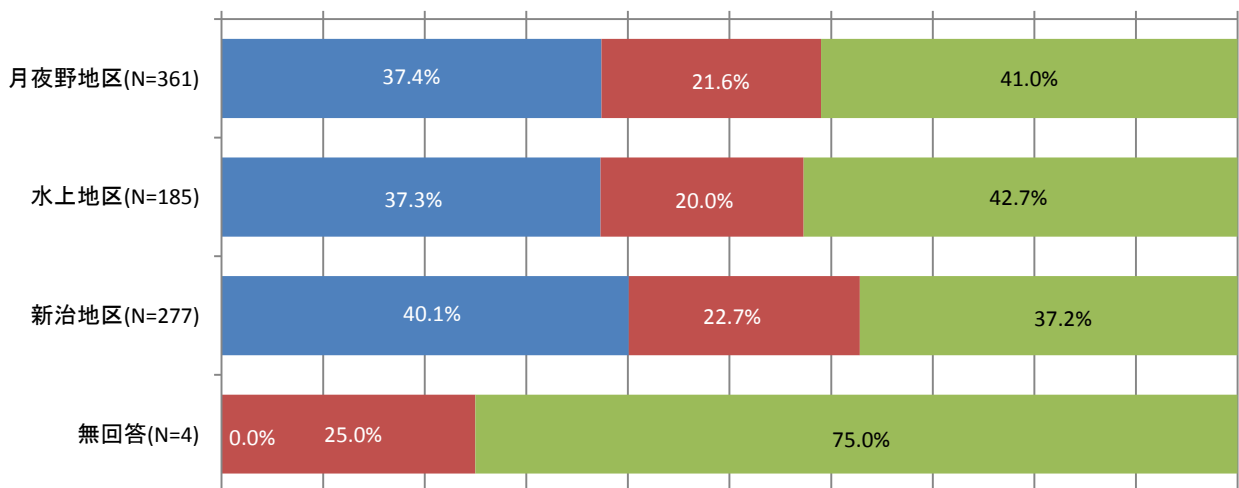
(2) 年代別 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ している ■ 興味はあるがしていない ■ していない

(3) 地区別

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

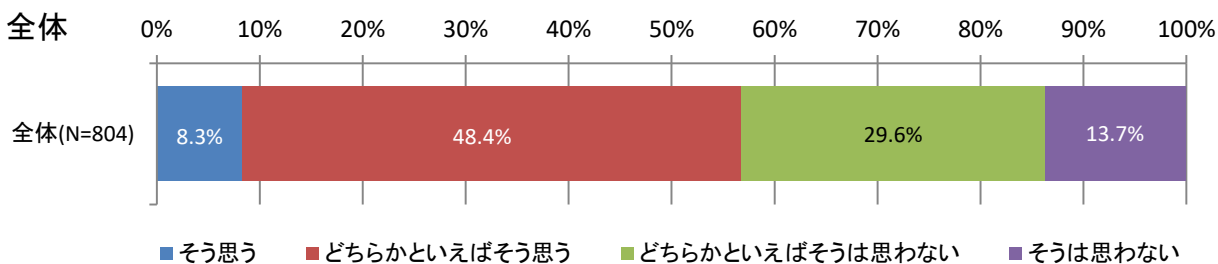


■ している ■ 興味はあるがしていない ■ していない

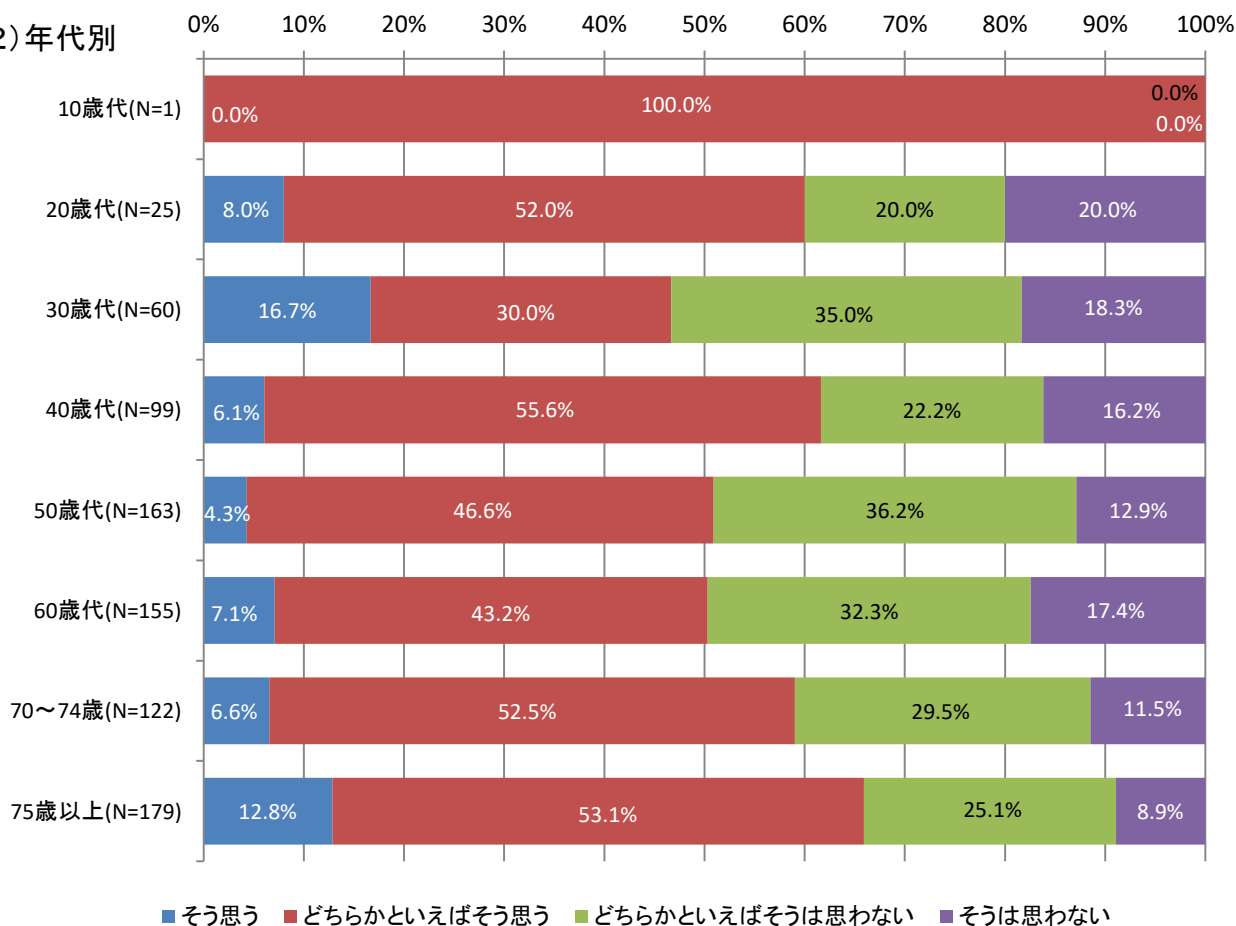
29-1 納めた税金が、行政サービスとして十分に提供されていますか。

回答=804人、無回答・多重回答=39人

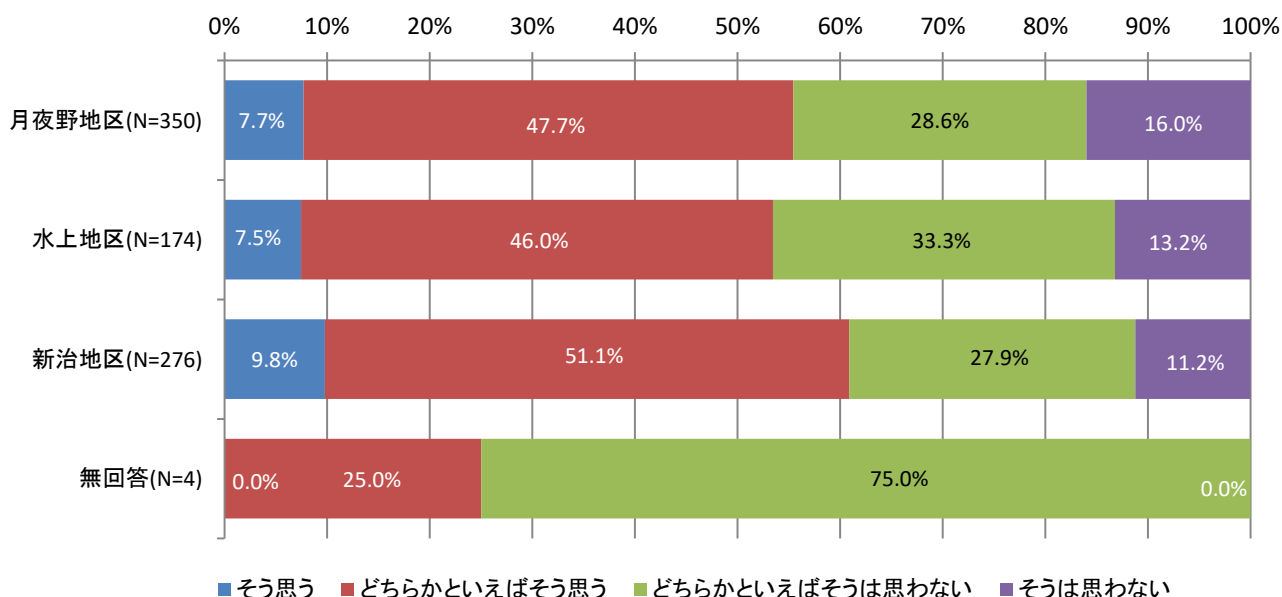
(1) 全体



(2) 年代別



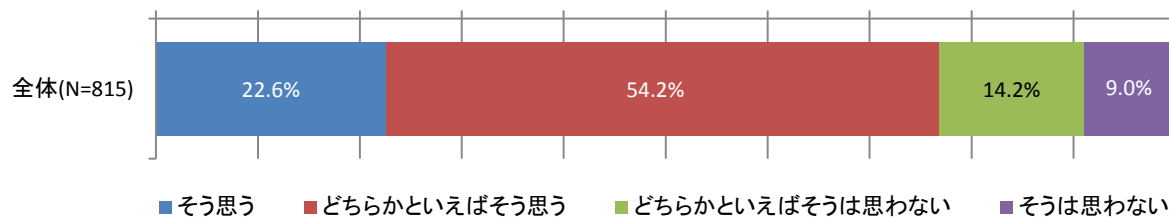
(3) 地区別



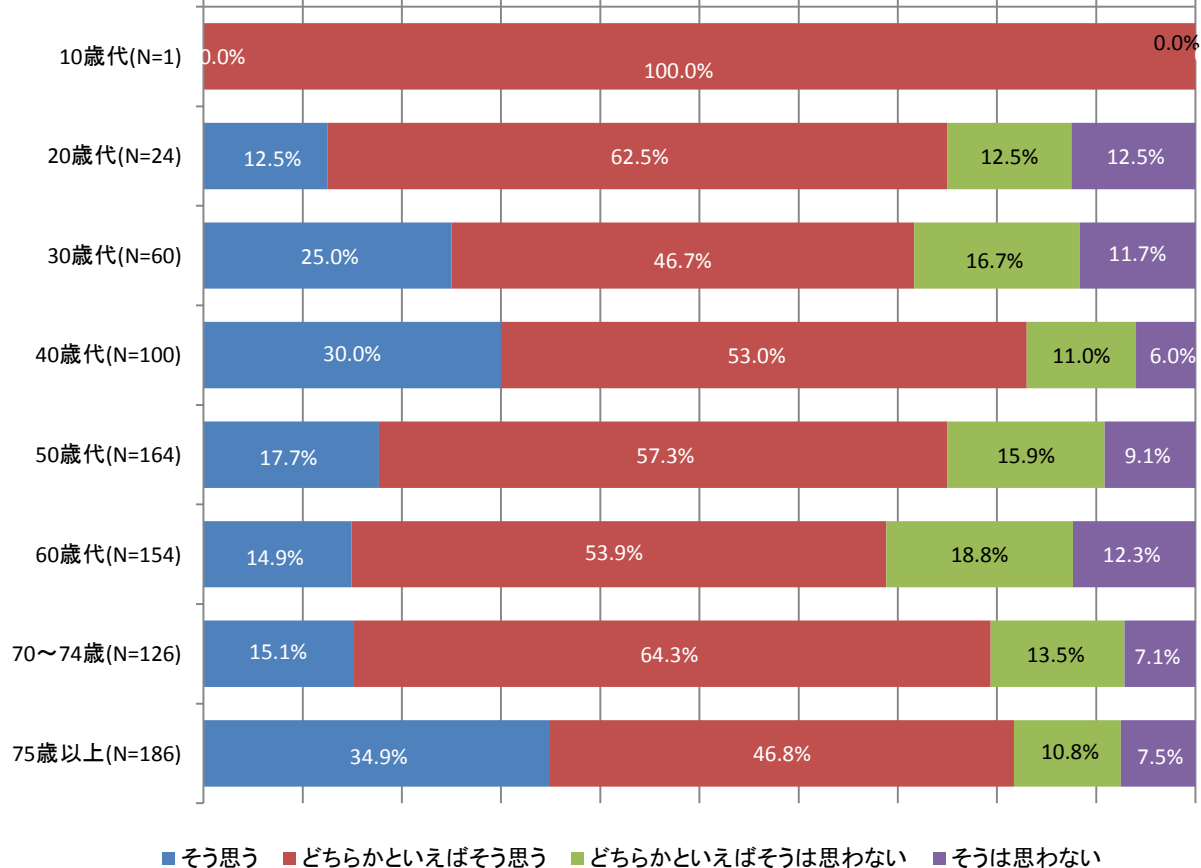
29-2 町役場職員の応対・接遇に好感が持てますか。

回答=815人、無回答・多重回答=28人

(1) 全体 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

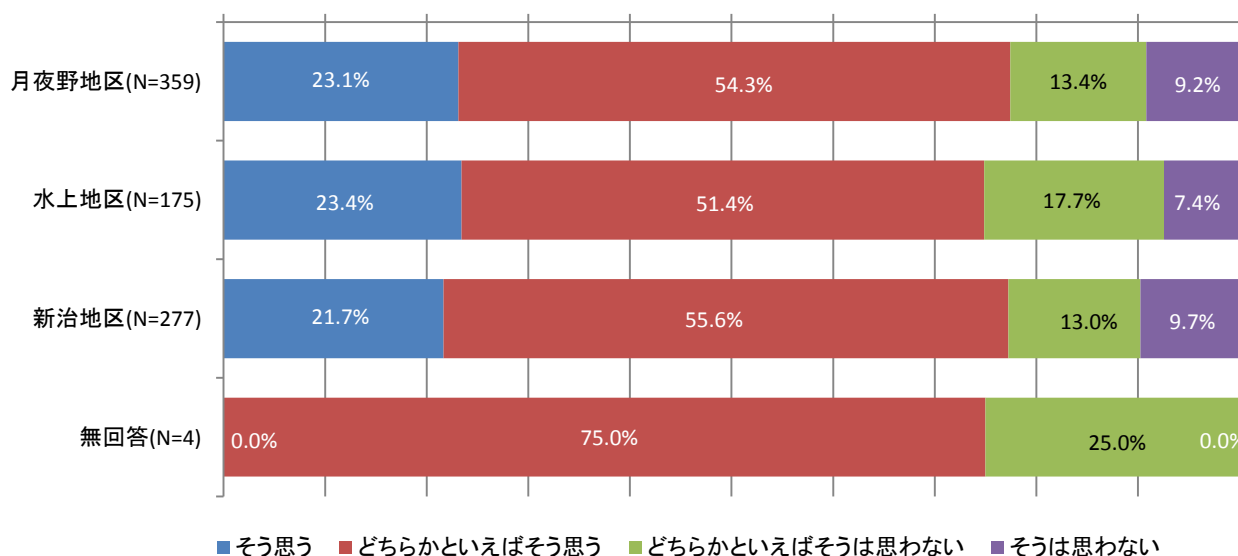


(2) 年代別 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



(3) 地区別

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



まちづくりに対する提案や意見を自由に記述していただいたところ、264人の方々から回答が寄せられました。記述いただいた内容は多岐にわたりますが、項目ごとに整理したところ次の表のとおりとなりました。なお、1人の回答が複数の内容にわたる場合には、原文の内容の趣旨を損なわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類しました。

紙面の都合上、すべての回答を掲載することはできませんが、意見の多い上位10項目については、一部抜粋して内容を掲載します。

(1) 自由回答の項目順位と主な内容

順位	項目	主な内容	件数
1	観光の振興	観光開発、温泉街の振興、イベントの企画 など	51
2	道路の安全性と利便性の確保	道路の除雪、道路の整備 など	33
3	商工業の振興	企業誘致、起業支援、MINAKAMI HEART Pay加盟店の拡大 など	25
4	移住定住の促進	移住支援、空き家の活用 など	23
5	こども・子育て支援の充実	子育て支援の拡充、こどもの遊び場の整備 など	18
6	公共交通の維持・確保	公共交通の利便性向上、二次交通の確保 など	17
7	町政全般に関すること	まちづくり、行政サービスの向上	15
8	高齢者福祉の充実	高齢者が集まれる場所の設置、高齢者の移動手段の確保 など	14
〃	健全な財政運営	物価高対策、経済支援、町有施設の利活用 など	14
10	生活安全対策の推進	カーブミラーの整備、防犯対策 など	13
〃	農林業の振興	農産物のブランド化、森林整備 など	13
12	生活環境の保全	ごみの分別、下水道の整備 など	9
〃	自然環境の保全	生物多様性の保全、ユネスコエコパークの推進など	9
	その他	駅周辺の開発、獣害対策、障害福祉サービスの拡充、教育環境の整備、コミュニティ活動の推進、健康づくりの推進、町民アンケートに関すること など	89

(2) 自由回答の記述(上位10項目の一部抜粋)

■観光の振興

○小さい子ども連れや、年配の方が天気が悪くても楽しめる、観光ができる場所があると良い。みなかみの良さは自然の多いところではあるが、雨の時に行く場所がないと町外の人に言われる。(水上地区、50歳代、女性)

○インバウンドに対応できる体制づくり。温泉地がたくさんあるのに集客に生かせていない。(新治地区、60歳代、男性)

○もっと観光に力を入れたらどうですか。たとえば川場の田園プラザのように、道の駅をちゃんと整備してください。夏はラフティング、冬はスキー場等があり、観光資源はいっぱいあります。もっとうまく活用できると思います。(月夜野地区、40歳代、男性)

○県外の方が月夜野・水上インターで降りて、町にお金を使ってもらい、町の活性化につなげていただきたいと思っています。冬の湯沢町(ウィンターパス)のような高速道路の料金割引等考えてほしいです。(新治地区、40歳代、男性)

○散歩出来るコースの案内、飲食店の最新の案内できるツール等がほしいです。観光協会のホームページのイベントの案内などの発信が弱いと思います。(水上地区、50歳代、女性)

○ドラマや映画のロケを積極的に受け入れ、聖地を作る。(月夜野地区、30歳代、男性)

○みなかみ町のお祭りや花火大会などを再開できればいいなと思っています。(水上地区、60歳代、男性)

○赤谷湖畔遊歩道があるのにあまり人は歩いていない様なので、広告塔でもう少しアピールしてはどうでしょうか。(新治地区、60歳代、女性)

○道の駅、矢瀬公園にドッグランを設置したらどうでしょうか。現在の芝生エリアで犬の散歩をしている方をよく見掛けますし、私も時折犬を連れて行きますが、一般のお客さんに気兼ねしてしまいます。道の駅あがつま峡にはなかなかのドッグランがありますがそれを目当てに県外からのリピーターも多いようです。是非、ご一考下さい。(新治地区、50歳代、女性)

■道路の安全性と利便性の確保

○通学路は大人も歩いて体感すべき。特に雪の時は危なかったり、融雪水がひどくて結構過酷です。全ての親に余裕があって毎日送って行けるわけではないので、こどもが歩く道を安全にしてください。(水上地区、30歳代、女性)

○除雪の時間が遅すぎて通勤時には除雪されていたことがない。夜間の除雪は危険があるとは思いますが、除雪されていない方がもっと危険があることを考えてほしい。除雪費用にもっと予算を増やすべきだと思う。(月夜野地区、50歳代、男性)

○県外から車で観光に来たと思われる車が、信号前で道路の矢印が消えかけてる場所で、迷ってからギリギリで車線変更してるのを見たことがあります。車でくる観光客が多いと思うので、事故防止や観光客の満足度向上のために、普段やってくれてはいますが道路をなるべく劣化させないようにしてほしいです。(月夜野地区、40歳代、女性)

○降雪時の消雪パイプによる水溜りが危険に感じる。(水上地区、50歳代、男性)

○道路にはみ出ている木の枝などを整備してほしいです。(新治地区、70～74歳、男性)

○大雪の時は除雪車を2回出動して、観光客が遊びに来たくなるようにした方がいい。(水上地区、75歳以上、女性)

○月夜野地区内で感应式ではない信号機があり、車が通らないのに赤信号で停まることが多くあります。見直しをしてほしい。(新治地区、50歳代、女性)

○消雪パイプは、水が出すぎて身体にかかったりする。もう少し良い方法はないのか。また、その水が凍ってしまい、時には転倒しそうになるので、冬場は町外に住む家族のところに住んでいる。(水上地区、75歳)

■商工業の振興

○みなかみ町として事業等に参入できる機会はかなりある。PRや宣伝活動も低予算で可能である。町の方針や案の受け入れ先が不明なのでプレゼンや提案ができない。(月夜野地区、50歳代、男性)

○観光だけでなく、地域の発展に役立つ企業誘致活動を町で頑張してほしい。(月夜野地区、60歳代、男性)

○この町の良さ(魅力)を再発見すること。地方ではどこも少子高齢化が進んでいます。有能な希少な子ども達がこの町に安心して住み続けられるような、楽しく生き甲斐の持てるような職業の場を提供できますように。中野区との連携も何か役に立つとよいと思います。(新治地区、75歳以上、男性)

○エールみなかみ商品券を、年2回ほど販売してほしいです。(ベイシアや、カワチ等の大型店舗でも使えるようにしてほしいです。)今は物価が高く、商品券で惣菜等買えると、子育てする親や、高齢者も助かります。(新治地区、40歳代、女性)

○空き家活用し、企業を誘致してほしい。(水上地区、50歳代、男性)

○町がスーパーマーケットやガソリンスタンドを新治地区に誘致してほしい。(新治地区、70～74歳、男性)

○ベイシア、カインズ、カワチ薬品のチェーン店を是非ともMINAKAMI HEART加盟店に加えていただけるようお願いします。(新治地区、60歳代、男性)

○スターバックスコーヒーやコメダ珈琲のような若い人が集まったり、ゆっくりできる場所を作してほしい。(月夜野地区、40歳代、女性)

■移住定住の促進

○移住を増やすために、空き家バンクをもっと活用する。空き家は沢山あるし、手入れがされていないと防犯面でも心配。町民に対して空き家バンクへの登録をもっと促してほしい。(月夜野地区、40歳代、女性)

○移住促進は、とても大事な施策だと思いますが、地元出身の優秀な子どもたちが流出したのでは、イタチごっこでもあると思います。進学・就職でみなかみを出たまま戻ってこない現状を打開するため、Uターン促進型の奨学金を増強してはいかがでしょうか。(月夜野地区、50歳代、男性)

○同級生はじめ同世代はほぼ町内にはおらず、上京などで引っ越してしまいました。若い世代の多くが町を出てしまっていると思うので、10～30代くらいに優しい政策をして、町外に出てしまった人たちが戻ってきたり、今町内に住んでいる若者が町外に流出しないようにする対策が必要ではないかと考えます。(新治地区、20歳代、女性)

○人口減少対策として移住促進にもっと力を入れて、充実した各種補助金制度を確立した方がよいと思う。目先の変化よりも、この先の10年20年先を見据えて、移住者が移住者を呼ぶような制度ができれば素晴らしいと思う。移住の町といえば”みなかみ町”といわれるように！(月夜野地区、60歳代、女性)

○小中学校の統廃合が進む中、子育て世代をメインの移住者として呼び込むのは厳しいと感じる。会社への通勤に縛られない働き方をしているDINKSや個人事業主など、働き盛りの層へ向けて「ワーケーションを日常に」のような切り口で、働く大人が楽しめる環境の良さを推していくのがよいと思う。(新治地区、40歳代、女性)

○移住促進のために「みなかみ町のくらし体験」のバスツアーを企画し、移住者にガイドをしてもらうのはいかがですか。今群馬県は移住のホットスポットなのでチャンスです！！(水上地区、50歳代、女性)

○進学や就職で一度は町外へ出た子どもたちが、またUターンしたいと思えるような町にしてください！(新治地区、40歳代、女性)

○町内あちこちにある空き家を町が譲り受けて、リノベーション等を行い、移住者等に貸せるように整備する。人口UPにつながるのではないかと。(月夜野地区、60歳代、男性)

■こども・子育て支援の充実

○こどもの給食費の無償化。物価高騰により生活に負荷がかかっている。(月夜野地区、30歳代、女性)

○土日、祝日でこどもを預けられる学童や託児所などをもっと増やしてほしい。(水上地区、30歳代、女性)

○子連れで楽しめる施設や公園が増えたら嬉しいです。(新治地区、20歳代、女性)

○こどもが少なくなっているのに、こどもがいる世帯に優しくない。子育て広場や児童館や学童など使えない。科学館などこどもが学べる環境を整えて欲しい。祖父母に頼れる人がいないとみなかみ町での子育てはとても困難。親が病気で入院しても安心して治療をサポートできるように、緊急一時保育を整えてほしい。(水上地区、40歳代、女性)

○子育て応援の一部に、チャイルドシート貸し出し(単月契約)があれば重宝します。(月夜野地区、30歳代、男性)

○子育て支援が不十分だと感じる。祖父母が近くにいる前提での施策やサービス。移住者が増えている現状と移住推進の町政を鑑み、一時預かりやベビーシッター制度などを増やしてほしい。民生委員の中には、こどもが好きな方や、元保育士などの経験者もいそう。(新治地区、40歳代、女性)

■公共交通の維持・確保

○公共交通機関が発達すると良いと思います。特に夜になると帰宅できなくなり、町内でも宿泊せざるを得なくなるためです。(新治地区、40歳代、男性)

○自動車以外で来られた観光客の方がアクセスが悪く困っています。タクシーがない、バスや電車の本数が少ないなど。(水上地区、40歳代、女性)

○なるべく車移動を減らしたいと思っても、便の少なさや最終バスが早いなどの理由で実現できていない。日常的に乗る人が少ないからバス代も高く便数も増やせないという悪循環に陥っているように感じる。マイクロバスくらいの大きさと30分ごとに走らせれば利用が増えるのではないか。(新治地区、40歳代、女性)

○日中時間帯の路線バスが減便され、不便になった。小さなバスでも良いので、1時間毎のダイヤを確保できないか。(新治地区、60歳代、男性)

○観光地の二次交通の課題もあると聞きました。自動運転車を導入し、交通事故を防ぎつつ、観光地の足としても使えたらとても素敵だと思います。現在、色々な自治体が自動運転車の導入をしています。導入することで視察なども増え、視察費用で稼ぐこともできます。未来の町のためにぜひご検討ください。(月夜野地区、30歳代、女性)

○通院は病院の送迎バスを使ってできるが、買い物にはいけない。バスカードを出してもらってもバス停まで歩くと1時間もかかる。(新治地区、60歳代、女性)

■町政全般に関すること

○行政サービスについて具体的な事はあまり知られていない感じがする。今の時代の流れで仕方ないと思うが、インターネットや機械に任せきりの部分があり、人の温かみがなく感じる。(新治地区、70～74歳、女性)

○地域に存在する魅力的ではあるが利活用されていない自然や景観を使って、地方と都市部の住民相互の交流を、今まで以上に活発に行う施策を実施して下さい。都市部と農山村部は相互に補完関係であり、共に発展する方策が地域の持続に不可欠と考えています。(新治地区、60歳代、男性)

○小さく周遊する経済圏の構築。国からの交付金は今後全く期待できないと言っていい。地方は地方で自助独立の精神で自立しなければならない。(月夜野地区、50歳代、男性)

○他県の市町村に比べ、住民支援が少ない。税金の使い方に納得がいかない。大自然を生かした積極的な取り組みを、専門家の意見を取り入れながら行うことで、企業誘致や人口増加に繋げる必要がある。(月夜野地区、60歳代、女性)

○申請書類等の住所など、前年度のデータを元に記入されているようにしてほしい。申請時の手間が省けるのでお願い致します。(新治地区、60歳代、男性)

■高齢者福祉の充実

○1人暮らしの高齢者への声掛けをたくさんしてほしい。(月夜野地区、50歳代、女性)

○今年は雪が多くすごく大変でしたが、一人暮らしのため、役場の方が何回も雪かきをして下さいました。本当に助かりました。ありがとうございました。(水上地区、75歳以上、女性)

○交通網に恵まれず、また、高齢者の割合が多いので、足としての自動車は必需品です。自動運転車や自動ブレーキ機能付きの自動車に対する補助金を、高齢者に多く、優先的に提供してほしい。(月夜野地区、75歳以上、女性)

○みなかみ町は他所にくらべると福祉が行き届いていると思う。これから高齢者が増えて、何でもスマホやネット処理をするというのは難しくなると思う。それに対応する高齢者が不自由をするのではないかと考えちゃう。(新治地区、75歳以上、女性)

○車を持たない高齢者は、町内のイベントやサロン活動に参加を！と言われても、会場に行けない、デマンドバスやタクシーなど使いやすい形で整備していただきたい。(月夜野地区、75歳以上、女性)

■健全な財政運営

○少子化に伴い小・中学校が統合され、使われなくなった学校施設が増えている。どう有効活用するかをこれまで以上に考えていただきたい。(新治地区、60歳代、男性)

○定期券の補助金等もありがたいが、税金の使い道の優先順位が違う気がします。温泉施設の閉館や児童館の閉館、地元の方がもっと安心して暮らせる環境整備が大事だと思います。(水上地区、40歳代、女性)

○人口と年齢の比率を見て公共物をつくっているとは思えない。今なぜ小学校なのか。10年先を見れば答えは明か。計画性がないと思う。その予算をもっと他に分散して、行政を活性化すればおのずと良い町になる。目先にとらわれている。誰が考えても疑問に思うことをしているように見える。一時的な補助ではなく、先につながる補助金政策を望む。無駄を省き、あるべきところに予算をまわす。(新治地区、50歳代、答えたくない)

○上毛高原駅を利用して都内に通勤していますが、月極駐車場が満車で契約できず、困っています。雪の無い時期は町の無料駐車場でも良いと思いますが、積雪が多くなると利用できなくなる。近隣の有料駐車場を使うと、月2万円超の出費になります。移住して都内に勤めるという選択枝を守るためにも、通年利用できる管理された町営(立体)駐車場建設をお願いしたい。(水上地区、50歳代、女性)

○駅前駐車場は夏場に雑草が多く困っています。管理会社を通して維持できないでしょうか。(月夜野地区、75歳以上、女性)

■生活安全対策の推進

○戸別受信機のアナウンスですが、災害、火災発生時の地区名が聞き取りづらい。町名と地区名を一気に言うので、肝心な地区名が聞き取りにくい。(月夜野地区、70～74歳、男性)

○暗い道が多いので街灯を増やしてほしい。過去に自分も暗くて道が見えず、歩きにくかったり、怖い思いをしたため、こどもが小学校へ行くのに心配です。(月夜野地区、30歳代、女性)

○カーブミラーが見づらいことを役場に伝えたが改善、されず悪天候の日は対向車が分かりづらい。町民税は何に使われているのでしょうか？(水上地区、75歳以上、女性)

○他の行政機関では専用のアプリを使って住民にマンホールの写真を投稿してもらい、何万個もあるマンホールの実態を把握していた。マンホールだけではなく道路の陥没破損、水道の漏水などを写真を投稿してもらい、迅速な保守点検に役立ててもらいたい。(新治地区、50歳代、男性)

○高齢者が多くなり防犯対策も年代に合わせた工夫が必要。(月夜野地区、50歳代、女性)

■その他

○上毛高原駅構内や周辺を観光客に喜んでもらえるよう整備してほしい。また、地域住民にも利用できるような商業施設を誘致してほしい。みなかみ町は住みやすい地域だと感じています。高齢化が進みまちづくりも大変かと思いますが、こどもたちがみなかみ町に住み続けたいと思うようなまちづくりの推進をお願いします。(月夜野地区、50歳代、女性)

○この何年かで、地域でのイベントが少しずつ行なわれなくなっていることが気になります。住民の「めんどくさい」、「つまらない」等が理由でしょうか。住民同士の交流が少なくなったような気がします。自分でもどうしたら良いのかわかりませんが、何か良い方法があったらいいなと思います。(月夜野地区、70～74歳、男性)

○旧健康づくり事業でヨガ教室などがありますが、実施が平日日中の時間帯で興味があっても参加出来ないのが実情です。夜間や休日開催は難しいのでしょうか。健康診断の項目に高齢者向けとして認知機能検査、聴覚検査(難聴診断)を追加してほしい。早期発見で対策ができれば発症の抑制に繋がると思う。(月夜野地区、50歳代、女性)

○最近除草剤の使用が増えてきているようです。草刈りの手間がないのかもしれませんが。除草剤を散布すると必要以上に枯らしてしまうので殺伐とした感じがして、景観としてよくないと思います。除草剤の使用について見直す、少なくすることも考えてみることはできないでしょうか。自然環境への影響も懸念されます。自然と共生する取り組みの前に、私たちを守り生かしてください。自然に感謝することを忘れないようにしたいです。(新治地区、50歳代、女性)

○世代を幅広く設定して、意見を出しあったり、日頃感じている暮らしへの不都合や逆に良いところなどをヒアリングする委員会のような仕組みを作ったらどうか。(新治地区、50歳代、女性)

○昨年、熊の出没の知らせが連日続いて不安をおぼえた。駆除の情報も載せた方がいいのではないかな。少しは安心材料になる。(新治地区、60歳代、男性)

○役場職員をもっと民間企業で働かすべき。何もわかっていない。育成を強く望む。県などの派遣ではなく、民へ。(新治地区、50歳代、答えたくない)

○広報みなかみ等は、紙での配布をやめてスマホ等で見る方法にしてほしい。(水上地区、50歳代、女性)

○人口が減少していく中で、学校・消防団などは統合したりしているが、行政区は現状のままなので、交流を深める意味でも合併などをご検討いただきたい。(水上地区、50歳代、男性)

○保護犬・猫の活動をお願いします。(水上地区、75歳以上、女性)

○本アンケートを活用した政策が実施されるのであれば、もっと設問を増やせばいいと思う。ただ、政策に反映されないのであれば、アンケートを回答する側、実施する側ともに無駄な労力になるのでやめた方がいいと思います。(月夜野地区、30歳代、男性)

○利根商をもっと違う形で活用する。地域のインクルーシブ教育の拠点とすることで移住も増える。(月夜野地区、40歳代、女性)

○地区の道路愛護は継続して行っていきたいが区長や伍長システムは無くしてほしい。仕事をしているので時間の調整や配り物の仕分けなど軒数が少ないとはいえ負担である。(月夜野地区、30歳代、女性)

○赤谷プロジェクトがどれほど凄い事をしているか、最近やっと理解しました。もっと町をあげて取り組んでいくと良いと感じます。この活動がみなかみ町で行われていることがすでにラッキーでしかないです。誇りに思います。(新治地区、40歳代、女性)

○野菜を作っていますが、サルやシカに荒されて困っています。獣害対策のパトロールの方が巡回していますが、車に乗ってパトロールしているだけでは何の意味もありません。税金の無駄遣いでは。年金暮らしでは、電柵を買う余裕などありません。(新治地区、75歳以上、女性)

○行政区内での人の繋がりが希薄になっているように感じる。大変かも知れないが地域サロンや地域食堂のような活動を行政がサポートする仕組みを作ればと思います。(新治地区、50歳代、男性)

○ユネスコエコパークに登録していることや、町の財産として自然を残す取り組みとしても、景観は大切だと思います。太陽光パネルは景観を損ない、一度壊された景観や自然を元に戻すことは難しいと思います。太陽光パネルの設置規制を強化して頂きたいと思います。(月夜野地区、50歳代、女性)

IV 調査票

調査票ご記入にあたって

1

アンケートには無記名でお答えいただき、結果はすべて統計的に処理しますので、個人を特定することや目的以外に使用することは一切ありません。

2

質問には、封筒の宛名となっているご本人がお答えください。ただし、事情によってご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。

3

アンケート用紙は全部で9ページです。回答には黒の鉛筆やボールペン等を使用して、当てはまる項目をチェックするか、記述欄に回答を記入してください。

あなた自身についておたずねします。

Q1. あなたの性別をお答えください。(該当する1つに✓)

☐ 男性

☐ 女性

☐ 答えたくない

Q2. あなたの年齢は、次のどの区分に該当しますか。(該当する1つに✓)

☐ 10歳代

☐ 20歳代

☐ 30歳代

☐ 40歳代

☐ 50歳代

☐ 60歳代

☐ 70歳～74歳

☐ 75歳以上

Q3. あなたのお住まいの地区は、次のうちどれに該当しますか。(該当する1つに✓)

☐ 月夜野地区

☐ 水上地区

☐ 新治地区

☐ お住まいの地区が分からない⇒(行政区:)

Q4. あなたの職業は、次のうちどれに該当しますか。(該当する1つに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| ☐ 会社員・公務員 | ☐ パート・アルバイト | ☐ 経営者・役員 |
| ☐ 派遣・嘱託・契約社員 | ☐ 自営業・家族従事者 | ☐ 家事専業 |
| ☐ 学生 | ☐ 無職 | ☐ その他() |

Q5. **【就学・就労している人に伺います。】**
あなたの就学先・勤務先は、次のうちどれに該当しますか。(該当する1つに✓)

- | | |
|---|---|
| ☐ みなかみ町内 | ☐ 利根郡(町内を除く)・沼田市 |
| ☐ 群馬県内(利根郡・沼田市を除く) | ☐ その他の地域() |

Q6. あなたのみなかみ町(合併前の旧町村を含む)での通算居住年数は、何年になりますか。(該当する1つに✓)

- | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| ☐ 1年未満 | ☐ 1～3年 | ☐ 4～9年 |
| ☐ 10～19年 | ☐ 20年以上 | |

Q7. あなたは現在結婚していますか。(該当する1つに✓)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 既婚 | ☐ 独身(未婚・離別・死別) |
|-----------------------------|---------------------------------------|

Q8. あなたの家族構成(同居)は、次のうちどれに該当しますか。(該当する1つに✓)

- | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ 単身世帯 | ☐ 一世代世帯(夫婦のみ) | ☐ 二世帯世帯(親と子) |
| ☐ 三世帯世帯(親と子と孫) | ☐ その他() | |

Q9. あなたは次の方と同居されていますか。(該当する全てに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|
| ☐ 未就学児(7歳未満) | ☐ 小学生 | ☐ 中学生 |
| ☐ 高校生 | ☐ 高齢者(65歳以上) | |

あなたの生活習慣についておたずねします。

Q10. あなたは日頃、地域で支え合う福祉活動を行っていますか。(該当する**全て**に✓)

- | | |
|--|---|
| ☐ 見守りや安否確認の声かけをする | ☐ 困り事などの相談相手・話し相手になる |
| ☐ 買い物や通院など、外出を手伝う | ☐ 家事や介護、雪かきなどを手伝う |
| ☐ こどもを短時間預かる | ☐ ボランティア活動へ参加する |
| ☐ 行政区の活動へ参加する | ☐ 特に行っていない |
| ☐ その他() | |

あなたは日頃、運動やスポーツなど、身体を動かすことに取り組んでいますか。

Q11. (該当する**1つ**に✓)

※「運動やスポーツなど、身体を動かすこと」には、散歩や体操、レクリエーションスポーツなど、軽度の運動を含みます。

- | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--|
| ☐ ほぼ毎日 | ☐ 週に2～3回程度 | ☐ 週に1回程度 |
| ☐ 月に1回程度 | ☐ 年に数回程度 | ☐ 以前はしていたが、現在はしていない |
| ☐ 以前も現在もしていない | | |

Q12. あなたは日頃、意識的に健康づくりに取り組んでいますか。(該当する**全て**に✓)

- | | | |
|---|---------------------------------------|------------------------------------|
| ☐ 食事や栄養に気を付ける | ☐ 規則正しい生活を送る | ☐ 適度に運動をする |
| ☐ 酒やたばこを控える | ☐ 定期的に健康診断を受ける | ☐ ストレスを解消する |
| ☐ 特に取り組んでいない ☐ その他() | | |

Q13. あなたは日頃、町内の公共交通(バス・新幹線・在来線・タクシーなど)を利用していますか。(該当する**1つ**に✓)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ ほぼ毎日 | ☐ 週に1回程度 |
| ☐ 月に1回程度 | ☐ ほとんど利用していない |

Q14. あなたは日頃、災害に対する備えをしていますか。(該当する全てに✓)

- | | |
|--|--|
| ☐ 消火器を設置する | ☐ 火災警報器を設置する |
| ☐ 家具などの転倒防止対策を行う | ☐ 水や食糧を備蓄する |
| ☐ 非常持ち出し用品を準備する | ☐ 身内との連絡方法を確認する |
| ☐ 避難経路や避難場所を確認する | ☐ 防災訓練などへ参加する |
| ☐ 以前はしていたが、現在特に備えはしていない | |
| ☐ 以前も現在もしていない | ☐ その他() |

**Q15. あなたは日頃、省エネ・地球温暖化対策に取り組んでいますか。
(該当する全てに✓)**

- | | |
|--|---|
| ☐ 節電や節水を心掛ける | |
| ☐ 自家用車の利用を控えたり、エコドライブを心がけたりする | |
| ☐ 環境に配慮した商品を選んで購入する | ☐ 太陽光発電など、自然エネルギーを活用する |
| ☐ 特に取り組んでいない | ☐ その他() |

**Q16. あなたは日頃、意識的にごみの減量に取り組んでいますか。
(該当する全てに✓)**

- | | |
|---|--|
| ☐ マイバックを利用するなどして、包装やレジ袋の利用を抑える | |
| ☐ 不用品をリサイクル店に出すなど、再使用を進める | |
| ☐ 雑がみ(不要なチラシなど)を分別し、資源収集に出す | |
| ☐ プラスチック資源を分別し、資源ごみとして出す | ☐ 使い捨て商品の利用を抑える |
| ☐ 飲料用パックや食品トレイなどを店頭回収に出す | ☐ 生ごみを堆肥化する |
| ☐ 特に取り組んでいない | ☐ その他() |

あなたは日頃、農産物を購入する際に、以下の各項目についてどのくらい

Q17. 重視していますか。(該当する1つに✓)

※地産地消とは、農林水産物を生産された地域内において消費する取り組みです。

	非常に重視 している	やや重視 している	あまり重視 していない	全く重視 していない
1. 環境に配慮した農法(該当する1つに✓) 有機農法、減農薬農法、減化学肥料農法	☐	☐	☐	☐
2. 地産地消(該当する1つに✓) みなかみ町産、群馬県産	☐	☐	☐	☐
3. 見た目の良さ(該当する1つに✓)	☐	☐	☐	☐
4. 味の良さ(該当する1つに✓)	☐	☐	☐	☐
5. 価格の安さ(該当する1つに✓)	☐	☐	☐	☐

Q18. あなたは、みなかみ町産や群馬県産の農産物についてどのようなイメージをお持ちですか。(該当する全てに✓)

- | | | | |
|-----------------------------------|---|----------------------------------|-----------------------------------|
| ☐ 鮮度が良い | ☐ 鮮度が良くない | ☐ 見た目が良い | ☐ 見た目が良くない |
| ☐ 味が良い | ☐ 味が良くない | ☐ 価格が安い | ☐ 価格が高い |
| ☐ 種類が豊富 | ☐ 種類が少ない | ☐ 調理がしやすい | ☐ 調理がしにくい |
| ☐ 安心・安全である | ☐ 輸送距離が短く、環境負荷が少ない | | |
| ☐ 特にない | ☐ その他() | | |

**Q19. あなたは過去1年間に、地域づくり活動を行ったことがありますか。
(該当する全てに✓)**

- | | |
|---|--|
| ☐ 地域で行う道路清掃(道普請など) | ☐ 行事やイベント(地域のお祭りなど)の手伝い |
| ☐ 登下校の見守り | ☐ 景観整備(花木の植栽、管理など) |
| ☐ 特に行っていない | ☐ その他() |

Q20. あなたは日頃、美しい景観の保全・形成へ向けた取り組みを行っていますか。
(該当する**全て**に✓)

- | | |
|--|--|
| ☐ 地域や家庭で花や緑を増やす | ☐ 公園や道路の清掃活動に参加する |
| ☐ 建物の屋根や壁の色・形などを周囲の景観に調和させる | |
| ☐ 景観を守るためのルールづくりやその運営にたずさわる | |
| ☐ 特に行っていない | ☐ その他() |

あなたは心の豊かさや自他の向上のために、講座(自治体や団体、民間会社
Q21. が主催する教養講座)などを受講したり、自分で学習したりしていますか。
(該当する**1つ**に✓)

- | | |
|--|---|
| ☐ 自分で学習し、講座も受講している | ☐ 講座を受講している |
| ☐ 講座は受講せず、自分で学習している | ☐ 学習する意欲はあるが取り組んでいない |
| ☐ 学習する意欲がなく取り組んでいない | |

Q22. あなたは、地域の歴史や伝統芸能に触れたり、関わったりしていますか。
(該当する**全て**に✓)

- | | |
|---|---|
| ☐ 神楽や獅子舞など伝統芸能活動に参加する(地区役員や会場係としての参加も含む) | |
| ☐ 歴史ガイドなどの文化ボランティア活動をする | ☐ 文化財関連イベントに参加する |
| ☐ 資料館や史跡、天然記念物を訪れる | ☐ 興味はあるが取り組んでいない |
| ☐ 興味がなく取り組んでいない | ☐ その他() |

日常生活であなたの感じていることについておたずねします。

Q23. 以下の項目について、あなたの状況に最も近いものを選んでください。
(該当する1つに✓)

1	過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいかない思いをしたことがありますか。	はい ☐	いいえ ☐
2	過去1年間に、差別や虐待、名誉毀損などの人権侵害を受けたことがありますか。	はい ☐	いいえ ☐

Q24. あなたは今住んでいる場所に、これからも住み続けたいと思いますか。
(該当する1つに✓)

- ☐ (可能な限り)今の場所に住み続けたい ☐ (可能であれば)町内の別の場所に住みたい
- ☐ (可能であれば)町外へ移り住みたい ☐ どちらともいえない・わからない

Q25. あなたは以下の各項目について、どのように感じていますか。(該当する1つに✓)

下記の各項目ごとに 該当する1つを✓	感じている	どちらかといえ ば感じている	どちらかといえ ば感じていない	感じていない
1. 日常生活で生きがいを感じていますか。	☐	☐	☐	☐
2. 身近で犯罪にあう不安を感じていますか。	☐	☐	☐	☐
3. 町内の道路に不便を感じていますか。	☐	☐	☐	☐
4. 自分の住む地域が美しい景観であると感じていますか。	☐	☐	☐	☐
<u>50歳未満の方で かつ 18歳未満のお子さんがいる方に伺います</u>				
5. 自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じますか。	☐	☐	☐	☐

町や町政についておたずねします。

Q26. あなたはSDGs(持続可能な開発目標)という名前や内容を知っていますか。
(該当する1つに✓)

☐ 知っている ☐ 聞いたことはあるが内容はわからない ☐ 知らない

あなたは町が「ユネスコエコパーク」へ登録されたことを知っていますか。
Q27. また、「ユネスコエコパーク」の趣旨(自然と人間社会が共生する持続可能なまちづくりに率先して取り組む地域をユネスコが認定する)についても知っていますか。(該当する1つに✓)

☐ 登録されたことと趣旨を知っている ☐ 登録されたことは知っている ☐ 知らない

Q28. あなたは日頃、町内において自然と共生する取り組み(まもる・いかす・ひろめる)を行っていますか。(該当する1つに✓)

下記の各項目ごとに 該当する1つを✓	している	興味はあるが していない	していない
1. 里山などの森林整備や野生動物・植物の 保全活動をしている。 例: 竹林の手入れをした。自伐型林業をした。 自然観察会に参加した。	☐	☐	☐
2. 自然を活用したりふれあいを楽しんだり している。 例: 温泉につかった。登山をした。 自然散策会やエコツアーに参加した。	☐	☐	☐

Q29. 以下の各項目について、あなたの考えを選んでください。(該当する1つに✓)

下記の各項目ごとに 該当する1つを✓	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそうは思わない	そうは思わない
1. 納めた税金が、行政サービスとして十分に提供されていますか。	☐	☐	☐	☐
2. 町役場職員の対応や接遇に好感が持てますか。	☐	☐	☐	☐

Q30. 今後のまちづくりに対する提案(アイデア)や意見をお持ちでしたら、どんなことでも結構ですので記入してください。

以上で、アンケートは全て終了です。

調査票は同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
令和7年4月14日(月)までに、ポストに投函するか、
 みなかみ町役場本庁舎または水上・新治各支所の窓口にご持参ください。

資料名称	令和 7 年度町民アンケート報告書
発行年月	令和 7 年 6 月
発 行 者	みなかみ町企画課
住 所	群馬県利根郡みなかみ町後閑 318 番地
電 話	0278(62)2111 (代表)
	0278(25)5030 (ダイヤルイン)